

# 一宮市 在宅介護アンケート

～第8期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けて～

## 【調査結果報告書】

令和2年3月

一宮市



## 目次

1	調査の概要	1
	ア. 調査の目的	2
	イ. 調査概要	2
	ウ. 報告書の見方	2
2	調査結果の概要	3
	ア. 要介護・要支援認定や介護保険サービス、介護者に関する調査のまとめ	4
	イ. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討	10
3	調査結果	13
	ア. あなたとご家族について	14
	イ. 要介護認定について	19
	ウ. 介護保険サービスについて	24
	エ. その他のサービスについて	29
	オ. 防災について	33
	カ. 今後の介護保険サービスについて	36
	キ. 介護者について	41
	ク. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	54
4	調査票	69





I

## 調査の概要

---

## ア. 調査の目的

本調査は、「第8期一宮市高齢者福祉計画（介護保険事業計画を含む）」を策定するにあたり、在宅で生活をしていて要支援・要介護認定を受けている皆さん方の介護保険サービスにかかる利用状況や利用意向、また介護者の方の実態を把握し、計画づくりや施策の立案に活用することを目的として実施しました。

## イ. 調査概要

調査対象者：在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている市民 800 人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収（調査票による本人記入方式）

調査期間：令和2年1月24日（金）～令和2年2月10日（月）

回収率：63.0%（回収数：504件）

## ウ. 報告書の見方

- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。  
複数回答のグラフ表記については以下のとおりです。  
MA% (Multiple Answer) : 選択肢から当てはまるものすべてを回答する場合  
3LA% (Limited Answer) : 選択肢から当てはまるものを3つまで回答する場合
- 図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中における「圏域」とは日常生活圏域を指し、区分けは以下のとおりです。  
中・西地区 : 宮西・神山・今伊勢町・奥町連区  
北地区 : 葉栗・北方町・木曾川町連区  
北・東地区 : 貴船・西成・浅井町連区  
南・東地区 : 大志・向山・富士・丹陽町・千秋町連区  
南地区 : 大和町・萩原町連区  
南・西地区 : 起・小信中島・三条・大徳・朝日・開明連区
- 本文中の「前回」とは、平成29年3月に実施した「一宮市 在宅介護アンケート」のことを指します。
- 本文中の「介護者」とはアンケート対象者の介護を主に行っている人を指します。
- 図表中における設問の選択肢については簡略化している場合があります。
- 集計表の網掛けについては以下の通りです（無回答を除いた順）。  
《最も割合の高いもの》網掛けと太文字 《2番目に割合が高いもの》網掛け

## 2

## 調査結果の概要

---

## ア. 要介護・要支援認定や介護保険サービス、介護者に関する調査のまとめ

### (1) あなたとご家族について

- アンケート対象者（要介護・要支援認定を受けている方）については、女性の方が多く、約6割となっています。年齢（4区分）については、「85歳以上」が46.2%と最も高く、次いで、「75～84歳」が34.3%、「65～74歳」が11.1%、「65歳未満」が2.0%となっています。また、要介護度別では《要支援1・2》、《要介護1・2》、《要介護3以上》のいずれにおいても「女性」の割合が高く、「85歳以上」が最も高くなっています。
- 世帯構成は、「単身世帯」が20.4%、「夫婦のみの世帯」が22.8%となっており、「単身世帯」、「夫婦のみの世帯」とも前回より減少傾向にあります（前回：単身世帯21.7%、夫婦のみの世帯26.5%）。
- 居住地区については、「北・東地区」、「中・西地区」の順で割合が高くなっています。
- 近所づきあいの状況を要介護度別でみると、《要支援1・2》でのみ『親しくつきあっている』（「とても親しくつきあっている」＋「わりと親しくつきあっている」）の割合が4割を超えています。また、『親しくつきあっている』の割合は要介護度が上がるほど低くなり、《要介護度3以上》では40.7%の人が近所とのつきあいをほとんどまたは全くしていないと回答しています。圏域別でみると、『親しくつきあっている』の割合は、《北地区》、《南・西地区》で4割以上となっていますが、《北・東地区》、《南・東地区》での割合が低く、2割台となっています。

### (2) 要介護認定について

- 要介護度は、前は「要介護2」が最も高かったのに対し、今回は「要介護1」が最も高く、18.3%となっています。3区分でみると、「要支援1・2」が27.8%、「要介護1・2」が32.5%、「要介護3以上」が29.8%となっています。圏域別でみると、「要介護3以上」の割合は《南・東地区》で最も高く、約4割となっています。
- 訪問診療（医師の訪問）については、「利用している」が19.6%、「利用していない」が69.8%となっていますが、「利用している」の割合は前回より増加傾向にあります（前回：14.5%）。また、「利用している」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要介護3以上》では41.3%と、4割以上が利用している状況です。特に《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけて利用者が大きく増加する傾向がみられます。世帯構成別では、《単身世帯》での利用が少なく、17.5%となっています。利用していない理由としては、「利用する必要がない」が約6割を占めています。
- 現在抱えている病気は「認知症」（26.8%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（23.0%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（20.0%）の割合が高くなっています。「認知症」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」については年齢区分が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、特に「認知症」は増加の幅が大きく、《～74歳》では15.2%であるのに対し、《75～84歳》では24.3%、《85歳以上》では35.2%となっています。一方、「脳血管疾患（脳卒中）」、「糖尿病」については、年齢区分が下がるほど割合が高くなる傾向にあり、《～74歳》では3割以上となっています。また、《～74歳》では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合も高く、約3割となっています。

- 現在抱えている病気を要介護度別で見ると、「認知症」の割合は、《要介護1・2》から大きく増加し、《要支援1・2》では1割未満であるのに対し、《要介護1・2》では29.3%、《要介護3以上》では48.7%となっています。「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」については、《要支援1・2》、《要介護1・2》での割合が高い傾向にあり、約3割となっています。また、《要支援1・2》では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（28.6%）と「変形性関節疾患」（19.3%）の割合が、《要介護3以上》では「脳血管疾患（脳卒中）」（27.3%）の割合が、他の区分に比べて高い傾向にあります。

### （3）介護保険サービスについて

- 介護保険サービスを利用した人は全体の55.4%となっていますが、要介護度が上がるほど増加し、《要支援1・2》では42.9%、《要介護1・2》では66.5%、《要介護3以上》では69.3%となっています。
- 介護保険サービスでは、無回答を除くと、《通所介護（デイサービス）》の利用者が最も多く、8割を超えています（83.4%）。そのほかでは、《通所リハビリテーション（デイケア）》（50.7%）、《訪問看護》（40.4%）での利用が多くなっています。また、ほとんどのサービスで、前回より利用が増えている傾向にあり、特に、《訪問看護》、《訪問リハビリテーション》については大きく増加しています（《訪問看護》今回：40.4%、前回：26.1%、《訪問リハビリテーション》今回：30.8%、前回：17.3%）。
- 介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高く、前回から増加し33.1%となっています（前回：20.0%）、《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけて割合が急減し、《要支援1・2》では53.7%であるのに対し、《要介護1・2》では17.9%、《要介護3以上》では3.1%となっています。また、《要介護1・2》では「本人にサービス利用の希望がない」（21.4%）が最も高くなっています。《要介護3以上》では「その他」（37.5%）が最も高く、その他の回答は、「入院中」もしくは「入所中」となっています。
- 施設など（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、グループホーム、介護付有料老人ホームなど）へすでに入所・入居の申し込みをしている人は前回より増加し、10.9%となっています（前回：8.4%）、検討中の人と合わせると21.8%で、前回よりも減少傾向にあります（前回：24.7%）。また、《要介護3以上》では26.7%の人が、すでに入所・入居の申し込みをしていると回答し、検討中の人と合わせると38.0%となっています。世帯構成別で見ると、申し込み済みまたは検討中の割合は《単身世帯》で高く、32.1%となっています。

### （4）その他のサービスについて

- 地域包括支援センターを知っている人（「知っているし、利用したこともある」＋「知っているが、利用したことはない」）は61.5%となっています。利用したこともある割合は、要介護度別では《要介護1・2》で最も高く、43.3%となっています。また、圏域別で見ると、《南・東地区》では、知っている割合、利用したこともある割合ともに高く、他の地区の値を大きく上回っています（知っている：78.5%、利用したこともある：49.4%）。一方、《南地区》では利用している割合が他の地区に比べて低い傾向にあり、27.8%となっています。

- 成年後見制度を言葉も内容も知っている人は前回より増加し、36.5%となっています（前回：31.5%）。「言葉も内容も知っている」割合は《要介護3以上》でのみ4割を超え、47.3%となっています。
- 介護保険以外の支援・サービスを利用している人は全体の24.0%で、前回から減少傾向にあります（前回：28.3%）。要介護度別、世帯構成別でも、介護保険以外の支援・サービスを利用していない人の方が多く、世帯構成が《その他》の場合は7割以上となっています。
- 介護保険以外の支援・サービスで利用しているものをみると、《要支援1・2》、《要介護1・2》では「配食」、《要介護3以上》では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高くなっていますが、すべて1割台となっています。また、どの区分でも「配食」、「掃除・洗濯」は上位となっています。世帯構成別でみると、《単身世帯》、《夫婦のみの世帯》では、「配食」を利用している割合が高い傾向にあり、単身世帯では2割台半ば、夫婦のみの世帯では2割弱となっています。《単身世帯》については、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」を利用している割合も比較的高く、1割以上となっています。
- 在宅生活の継続に必要と感じる介護保険以外の支援・サービスについて、全体では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物など）」、「配食」の順で割合が高く、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」については前回から割合が増加しています（今回：23.6%、前回：21.3%）。要介護度別でみると、《要介護3以上》での「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高く、37.3%となっています。また、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」はどの区分でも上位となっていますが、《要介護1・2》では「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」の割合も比較的高く、「見守り・声かけ」については、「外出同行」に次いで割合が高くなっています。また、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」については、どの介護度でも現在の利用と希望の差も大きくなっています。また、《要介護1・2》では、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」での差も大きい傾向にあります。
- 在宅生活の継続に必要と感じる介護保険以外の支援・サービスについて、世帯構成別でみると、どの区分でも、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっていますが、《単身世帯》では「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」の割合も高い傾向にあります。また、要介護度別と同様に、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」では現在の利用と希望の差が大きくなっています。《単身世帯》については、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」での差も大きい傾向にあります。

## （5）防災について

- 災害時の避難等対策を何もしていない人は前回より増加し、56.0%となっています（前回53.9%）。特に《要支援1・2》、《要介護1・2》での割合が高く、6割以上となっています。
- 災害時の避難場所の認知状況は、「知っている」が58.1%、「知らない」が32.3%となっています。また、認知度は要介護度が上がるほど高くなるものの、《要介護1・2》、《要介護3以上》でも6割強にとどまっています。圏域別では、《南・西地区》での認知度が高く、ほとんどの地区が5割台後半から6割台前半であるのに対し、《南・西地区》での値は7割以上となっています。

- 避難方法や安否確認の方法について、家族と話し合っている人は前回から増加しているものの26.2%と、3割未満となっています（前回：12.4%）。要介護度別でも、家族と話し合っている人はどの区分も2割台後半となっており、多くの人が避難方法や安否確認の方法を家族で決めていないと回答しています。

## （6）今後の介護保険サービスについて

- 今後の介護サービスと介護保険料負担のあり方については、「保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべき」が34.3%と最も高くなっていますが、前回からは減少傾向にあります（前回：37.8%）。また、「わからない」の割合も比較的高く、26.4%となっています。
- 今後、どこで過ごしたいかについては、前回と同様に、「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が最も高く、48.6%となっています（前回：49.5%）。「施設や病院などには入所せず、ずっと自宅で暮らしたい」については27.0%となっています（前回：27.2%）。要介護度別でも同様の傾向にあり、どの区分も「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が最も高くなっています。圏域別でも、ほとんどの地区で「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が最も高くなっていますが、《北・東地区》でのみ、「施設や病院などには入所せず、ずっと自宅で暮らしたい」が最も高くなっています。
- 人生の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が44.6%と最も高くなっていますが、前回からは減少傾向にあります（前回：47.7%）。要介護度別、圏域別ともに、どの区分でも「自宅」と回答する人が最も多くなっており、今後、過ごしたい場所でも自宅を希望する人が多いことから、できるだけ自宅で過ごしたいと考える人が多いことがうかがえます。
- 今後、充実していく必要があると考えるサービスは、「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」が26.8%と最も高くなっていますが、前回からは減少傾向にあります（前回：31.2%）。そのほか「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」、「短期入所（ショートステイ）」、「特別養護老人ホーム」の割合も2割台となっていますが、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」のみ前回から割合が増加しています（今回：24.2%、前回：22.9%）。
- 今後、充実していく必要があると考えるサービスについて要介護度別で見ると、《要支援1・2》、《要介護1・2》では、「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」の割合が高いのに対し、《要介護3以上》では「短期入所（ショートステイ）」、「特別養護老人ホーム」の割合が高くなっています。また、圏域別で見ると、ほとんどの地区で、「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」、「短期入所（ショートステイ）」の割合が高い傾向にありますが、《南地区》では「短期入所（ショートステイ）」の割合が他の地区に比べて低い傾向にあります。また、《北地区》、《南・東地区》では「特別養護老人ホーム」、「介護医療院」の割合も高くなっています。

## (7) 介護者について

- 介護頻度をみると、全体の48.4%が「ほぼ毎日」と回答していますが、前回からは減少しています（前回：52.5%）。「ほぼ毎日」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では32.9%であるのに対し、《要介護1・2》では57.3%、《要介護3以上》では64.7%となっています。
- 介護者は、対象者の子どもである場合が最も多く、47.9%となっています。次に多いのは「配偶者」で30.6%となっていますが、前回と比較すると、子どもの割合は増加し、配偶者の割合は減少している傾向にあります（前回：子ども39.9%、配偶者39.2%）。
- 介護者の性別は女性が6割台半ばと、女性の方が多くなっています。
- 介護者の年齢を要介護度別、要介護者の年齢別でみると、どの区分も『50歳以上』が大半を占めており、《要支援1・2》、《要介護3以上》では「50代」が最も高く、《要介護1・2》では「60代」が最も高く、いずれも3割以上となっています。
- 介護者のうち要介護認定を受けている人は前回より減少し、18.4%となっています（前回：20.4%）。また、補助的な介護者はいないと回答する人は42.1%と、前回より大きく増加しており（前回：23.7%）、一人で介護をしている人が増加している傾向にあります。
- 現在、介護者が行っている介護については、身体介護に関する項目はほとんどが《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけて大きく増加する傾向にあります。また、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎など」については、《要介護1・2》で最も高くなっています。また、「外出の付き添い、送迎など」はどの区分でも割合が高い傾向にあります。また、「入浴・洗身」については、最も割合が高い《要介護1・2》でも2割台となっています。
- 現在の生活を継続していくにあたって、介護者が不安に感じている介護については、《要支援1・2》では「外出の付き添い、送迎など」や「夜間の排泄」、「食事の準備（調理など）」の順で割合が高くなっています。《要介護1・2》、《要介護3以上》では、「日中の排泄」や「夜間の排泄」、「認知症状への対応」の割合が上位となっていますが、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」とも《要介護1・2》での割合の方が高く、《要介護1・2》での「夜間の排泄」、「認知症状への対応」の割合は、2割台後半となっています。
- アンケート対象者の介護を理由として、過去1年間に仕事を辞めた・転職した人は全体の13.9%で、前回から増加傾向にあります（前回：9.7%）。また、仕事を辞めた・転職した人の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要介護3以上》では18.4%となっています。
- 介護者の就労状況については、「働いていない」が最も高く39.6%となっていますが、前回から大きく減少し（前回：54.5%）、働いている人が増加しています（今回：42.9%、前回：32.1%）。また、「働いていない」の割合は、介護者が配偶者では5割を超え、子や子の配偶者では3割台半ばとなっています。
- 介護を続ける上で効果的な勤め先からの支援は、前回と上位2位が入れ替わり、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.5%と最も多く、割合も増加しています（前回：28.6%）。次に割合が高いのが、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が29.9%（前回：29.4%）、「制度を利用しやすい職場づくり」が27.9%となっており、「制度を利用しやすい職場づくり」については前回から大きく増加しています（前回：17.5%）。



- 介護者のうち、介護のために何らかの働き方の調整を行っている人は前回から増加し、62.4%となっています（前回：59.5%）。行っている調整としては、労働時間の調整や休暇（年休や介護休暇など）の利用が多くなっています。
- 働いている人のうち、『仕事を続けていくのは難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）と回答している人は全体の17.5%で、前回から増加傾向にあります（前回：12.7%）。仕事を続けていくのは難しいと感じている人は、要介護度が上がるほど多くなり、《要支援1・2》、《要介護1・2》では1割台半ばであるのに対し、《要介護3以上》では2割台半ばとなっており、《要介護3以上》から、仕事との両立が難しくなっていることがうかがえます。
- 介護するうえで困っていることは、前回と同様に、「心身の疲労が大きい」、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」、「経済的負担が大きい」の順で割合が高くなっていますが、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」については40.9%と、前回から大きく増加しており（前回：34.1%）、自分の生活に充実感を感じている人が少なくなっていることがうかがえます。また、「心身の疲労が大きい」、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」、「経済的負担が大きい」とも、要介護度が上がるほど割合が高くなる傾向にあります。
- アンケート対象者の認知症の状況については、「ある（重い）」が9.9%、「ある（軽い）」が31.2%で、認知症の症状がある人（「ある（重い）」＋「ある（軽い）」）は41.1%となっており、前回から増加傾向にあります（前回：38.7%）。認知症の症状がある人の割合は、要介護度が上がるほど増加し、《要介護3以上》では58.7%となっています。また、「ある（重い）」については《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけて割合が大きく増加する傾向にあり、《要支援1・2》、《要介護1・2》では数パーセントであるのに対し、《要介護3以上》では26.0%となっています。

## イ. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討

### (1) 介護者・要介護者の属性

- 要介護者が「単身世帯」の割合は、介護者の就労状況が《フルタイム》の場合で約3割と最も高く、「夫婦のみの世帯」については《働いていない》での割合が2割台半ばで最も高くなっています。
- 介護者は「子」である場合が多くなっていますが、介護者が《働いていない》場合には「配偶者」の割合も高くなっています。
- 介護者の年齢は《フルタイム》と《パートタイム》では「50代」と「60代」に集中している傾向にあります。《働いていない》では「60代」が最も多いものの、「50代」、「60代」、「70代」、「80歳以上」が約2割から3割強と、「50代」～「80歳以上」の間で分布している傾向にあります。また、《働いていない》では『70歳以上』が4割台半ばとなっています。
- 介護者の性別については、《フルタイム》では「男性」と「女性」が同率となっていますが、《パートタイム》、《働いていない》では「女性」の割合が7割台と高くなっています。
- 要介護者の介護度が『要介護3以上』は、介護者が《働いていない》場合での割合が最も高く、約4割となっています。

### (2) 主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

- 家族等による介護の頻度は、介護者の就労状況にかかわらず、「ほぼ毎日」の割合が最も高く、《働いていない》では約8割となっています。
- 介護者が行っている介護について介護者の就労状況別でみると、介護者の就労状況にかかわらず、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が最も高く、7割台後半となっています。そのほかについては「外出の付き添い、送迎など」や「食事の準備」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっていますが、《フルタイム》では他に比べて「食事の準備」の割合が低い傾向にあります。
- 介護者の就労継続見込みについては、《フルタイム》、《パートタイム》とも、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く、約6割となっていますが、『続けていくのは、難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）の割合は《パートタイム》の方が高く、約2割となっています。

### (3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

- 介護保険サービスを利用した割合は、介護者が《フルタイム》より《パートタイム》である場合の割合が高く、約8割となっています。介護者の就労継続見込み別でみると、《続けていくのは、難しい》で最も高く、約8割となっています。

- 介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続見込み別で見ると、「問題はあるが、何とか続けていける」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」の割合が高く、特に「夜間の排泄」は約4割となっています。「続けていくのは、難しい」では、「夜間の排泄」と「外出の付き添い、送迎など」、「認知症状への対応」の割合が高い傾向にあります。

#### (4) 介護保険以外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況

- 現在利用しているサービスは、「フルタイム」、「パートタイム」とも「利用していない」の割合が最も高くなっています。それ以外では「フルタイム」、「パートタイム」とも、「配食」「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が上位となっていますが、利用の割合は1割前後となっています。
- 在宅生活の継続に必要と感じるサービスについても、「配食」、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は上位となっていますが、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」の割合も高い傾向にあります。「フルタイム」については「ゴミ出し」の割合も高くなっています。また、在宅生活の継続に必要と感じるサービスについてはどの項目も「フルタイム」での割合が高い傾向にあります。
- 訪問診療を利用している割合は、介護者の就労状況にかかわらず、どの区分も2割台となっています。
- 要介護者の入所・入居の検討状況を見ると、どの区分も「入所・入居を検討していない」の割合が最も高くなっています。申し込み済みまたは検討中の割合は、「フルタイム」で最も高く、約3割となっています。

#### (5) 介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

- 介護のための働き方の調整方法を就労状況別で見ると、「フルタイム」、「パートタイム」とも、介護のために、労働時間を調整しながら働いている人や、休暇（年休や介護休暇など）を取りながら働いている人が多くなっていますが、休暇を取りながら働いている人の割合は、「パートタイム」で低い傾向にあります。介護者の就労継続見込み別で見ると、「問題はあるが、何とか続けていける」、「続けていくのは、難しい」では「問題なく、続けていける」に比べて、労働時間を調整しながら働いている人や休暇を取りながら働いている人が多く、その割合は「続けていくのは、難しい」で高い傾向にあります。
- 介護を続ける上で効果的な勤め先からの支援について、介護者の就労状況にかかわらず、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「制度を利用しやすい職場づくり」が上位3位となっていますが、「フルタイム」での「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合は「パートタイム」での割合を大きく上回り、約4割となっています。介護者の就労を継続見込み別で見ると、「問題はあるが、何とか続けていける」、「続けていくのは、難しい」とも、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が高い傾向にあります。「続けていくのは、難しい」では「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が最も高く、その割合も4割台半ばと、他の区分の値を大きく上回っています。



### 3

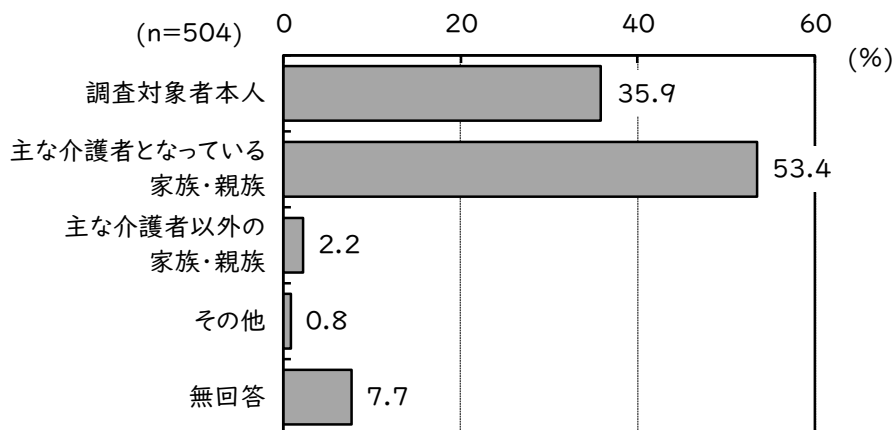
## 調查結果

---

## ア. あなたとご家族について

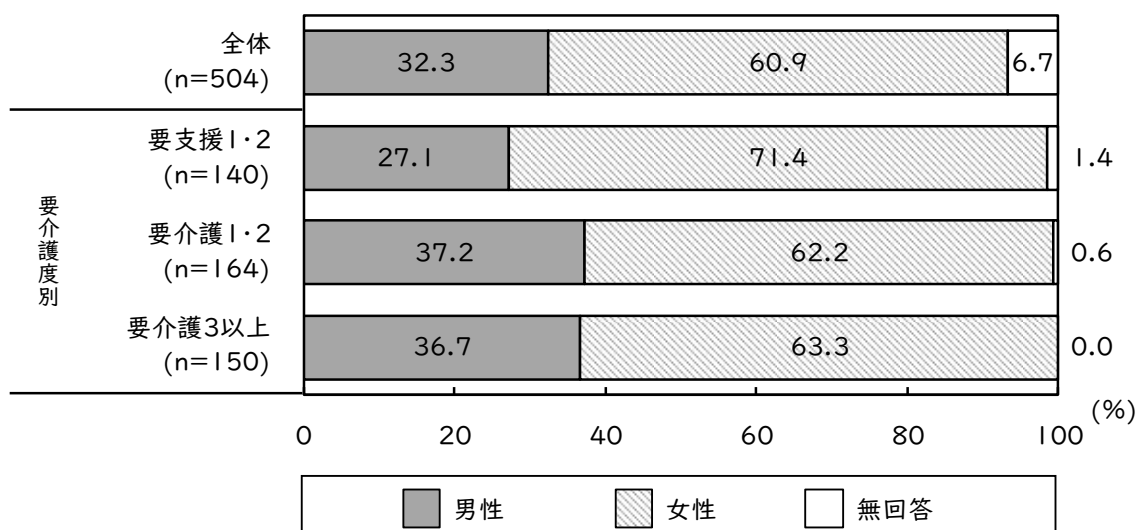
問1. 現在、この調査票にご回答いただいているのは、どなたですか。(○は1つだけ)

「主な介護者となっている家族・親族」が53.4%と最も高く、次いで、「調査対象者本人」が35.9%となっています。



問2. あなた（あて名の方で、要介護認定を受けている方 以下同じです）の性別はどちらですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「男性」が32.3%、「女性」が60.9%となっています。  
要介護度別でみると、どの区分も「女性」の方が高くなっています。

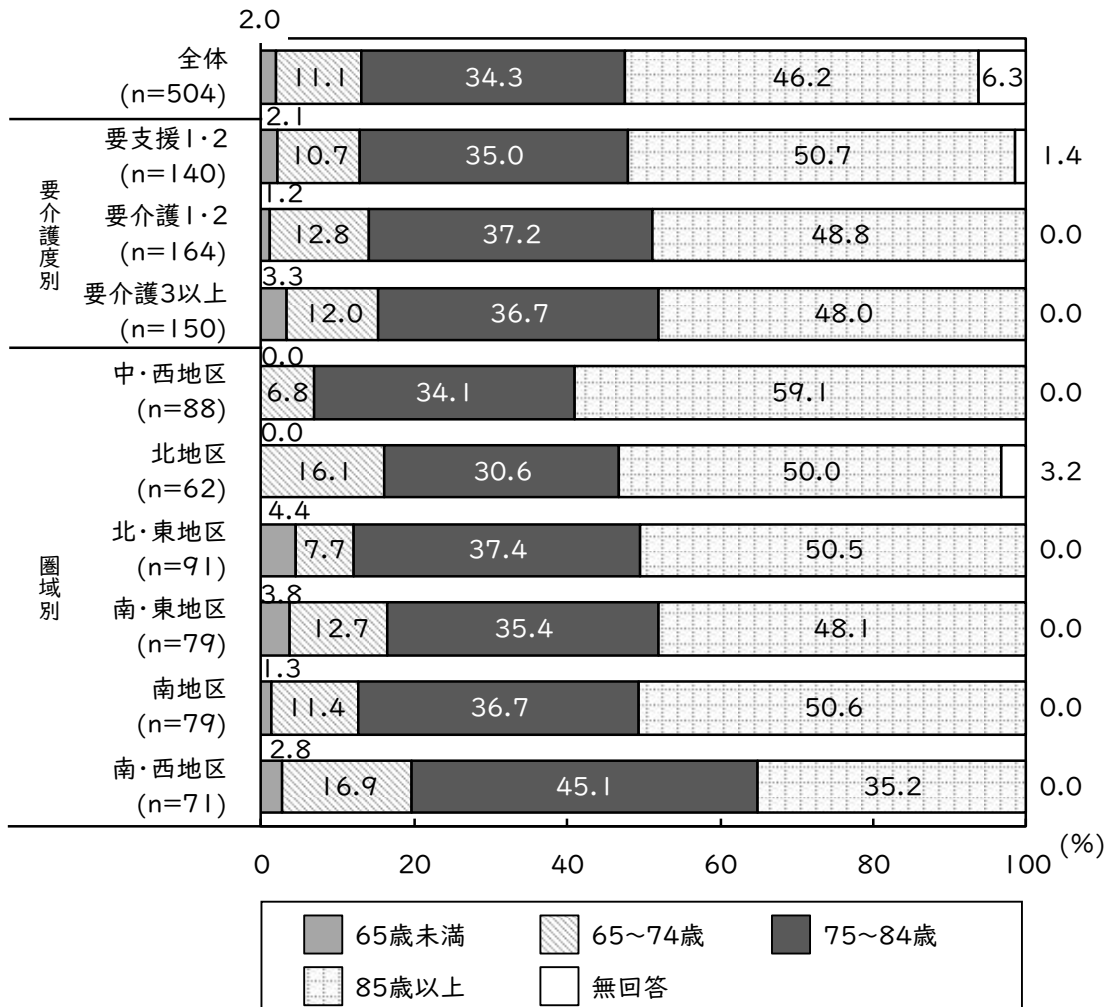
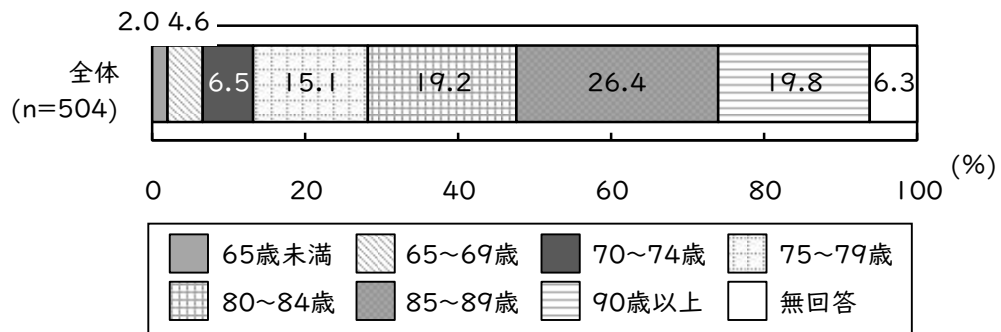


問3. あなたの年齢は、おいくつですか。(〇は1つだけ)

《全体》では、「85～89歳」が26.4%と最も高く、次いで、「90歳以上」が19.8%、「80～84歳」が19.2%となっています。

年齢区分別（4区分）でみると、「85歳以上」が46.2%と最も高く、次いで、「75～84歳」が34.3%、「65～74歳」が11.1%となっており、要介護度別でも「85歳以上」が最も高くなっています。

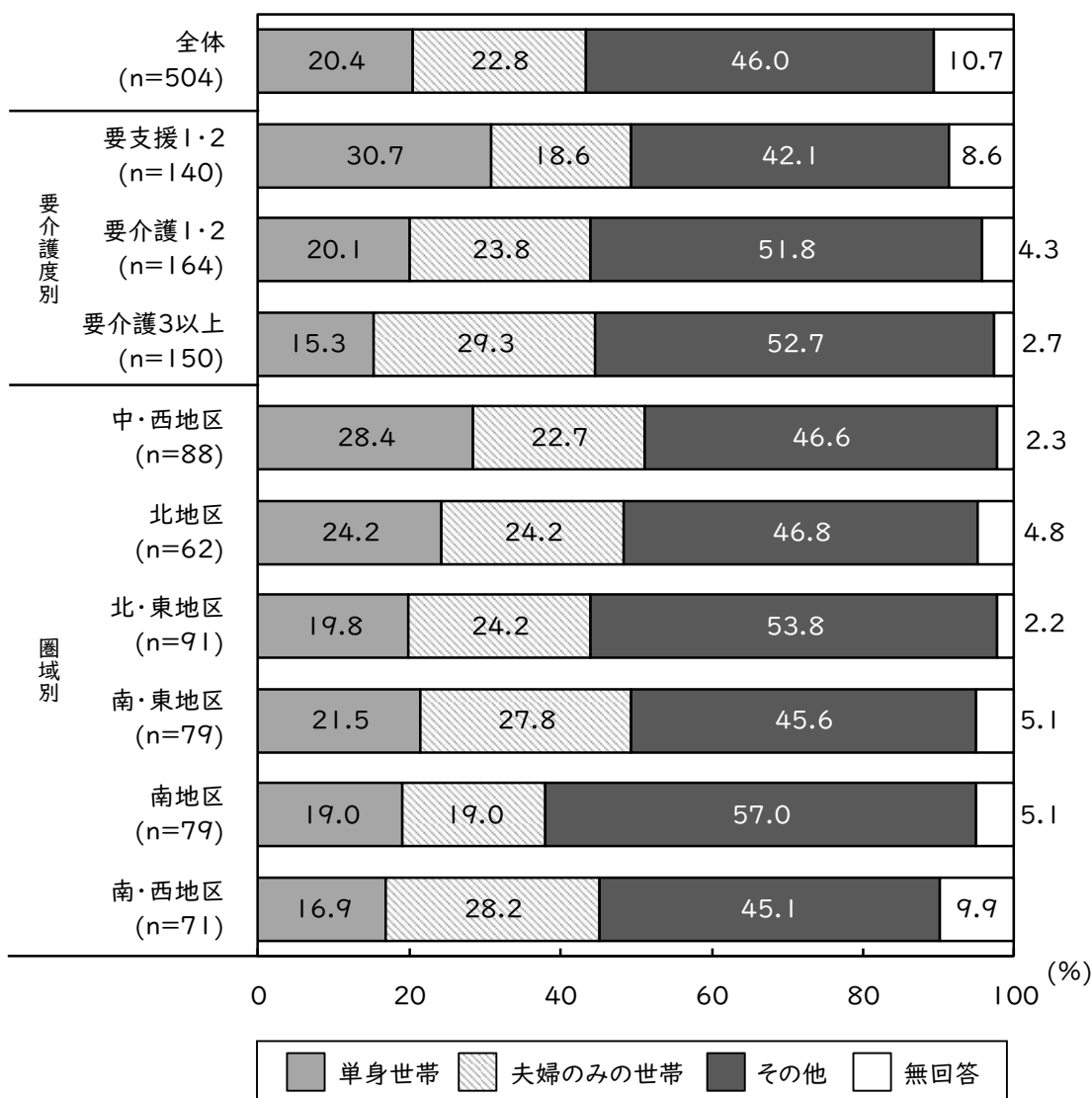
圏域別でみると、ほとんどの地区で「85歳以上」が最も高くなっていますが、《南・西地区》では、「85歳以上」は3割台で、「75～84歳」が最も高くなっています。



問4. あなたの世帯は次のどれですか。(〇は1つだけ)

《全体》では、「単身世帯」が20.4%、「夫婦のみの世帯」が22.8%、「その他」が46.0%となっています。

「単身世帯」の割合は介護度が上がるほど低くなり、《要介護度3以上》では15.3%となっています。圏域別でみると、《中・西地区》での割合が最も高く、約3割となっています。

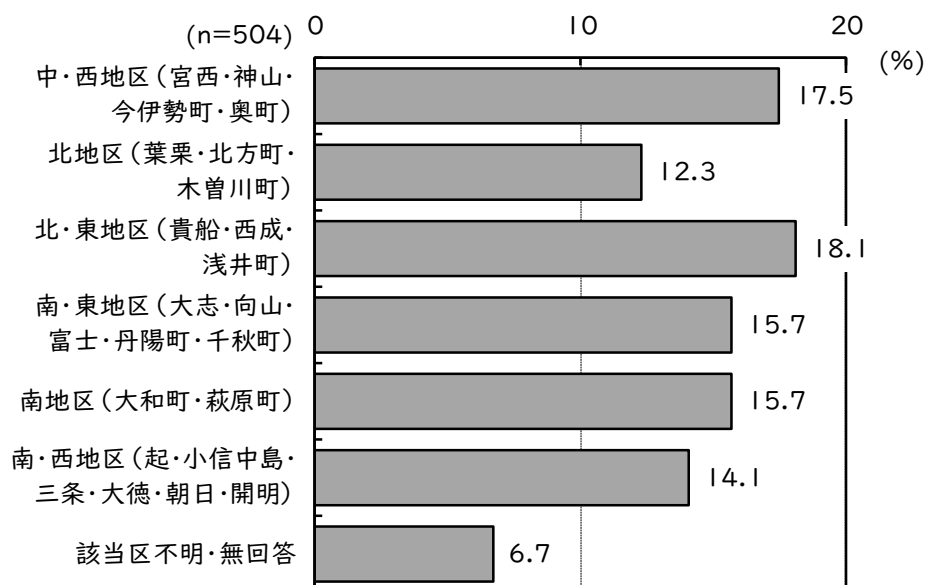
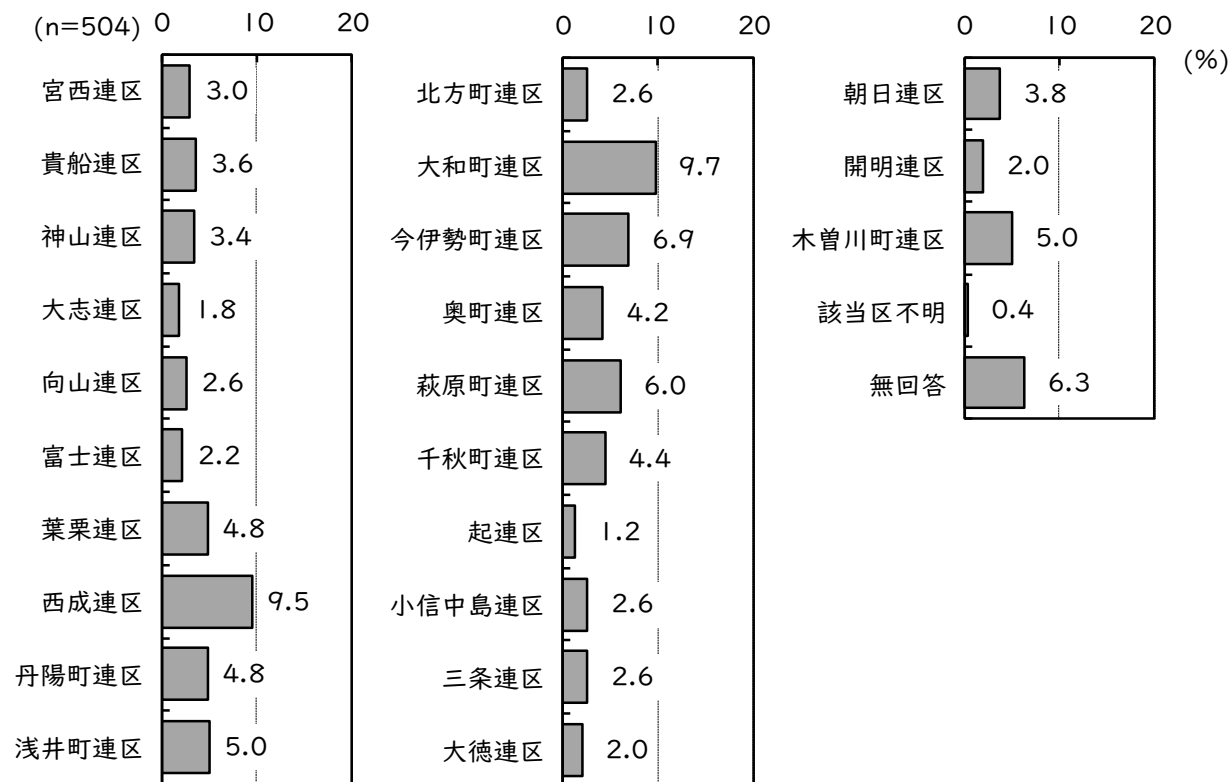




問5. あなたは、どちらにお住まいですか。(○は1つだけ)

連区で見ると、「大和町連区」が9.7%と最も高く、次いで、「西成連区」が9.5%、「今伊勢町連区」が6.9%となっています。

圏域で見ると、「北・東地区（貴船・西成・浅井町）」が18.1%と最も高くなっています。

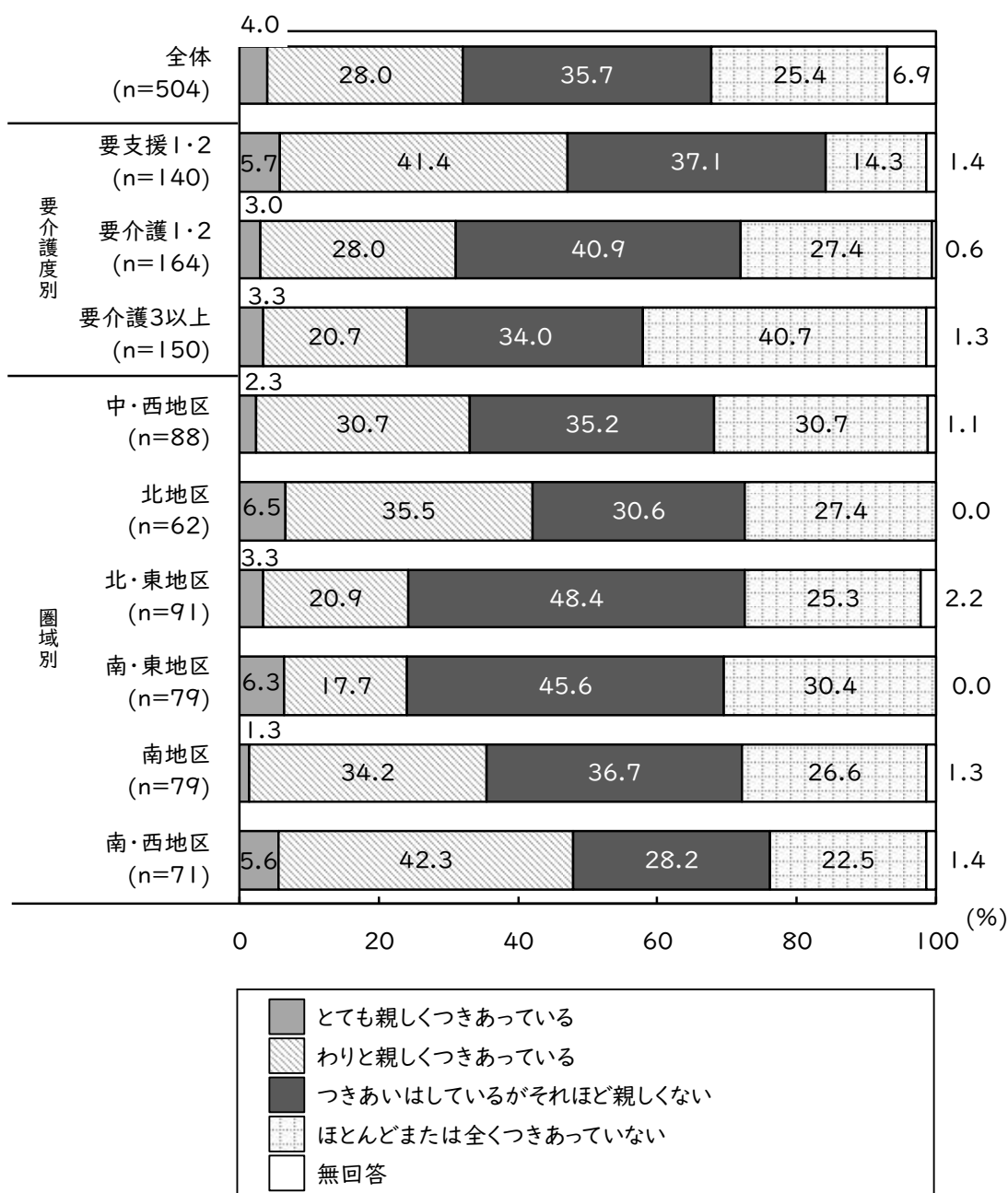


※割合は実数から計算しているため、連区の割合の合計と地区の割合は一致しない。

問6. あなたは近所のつきあいをどの程度していますか。(〇は1つだけ)

《全体》では、「つきあいはしているがそれほど親しくない」が35.7%と最も高く、次いで、「わりと親しくつきあっている」が28.0%、「ほとんどまたは全くつきあっていない」が25.4%となっています。『親しくつきあっている』（「とても親しくつきあっている」+「わりと親しくつきあっている」）の割合については、32.0%となっています。

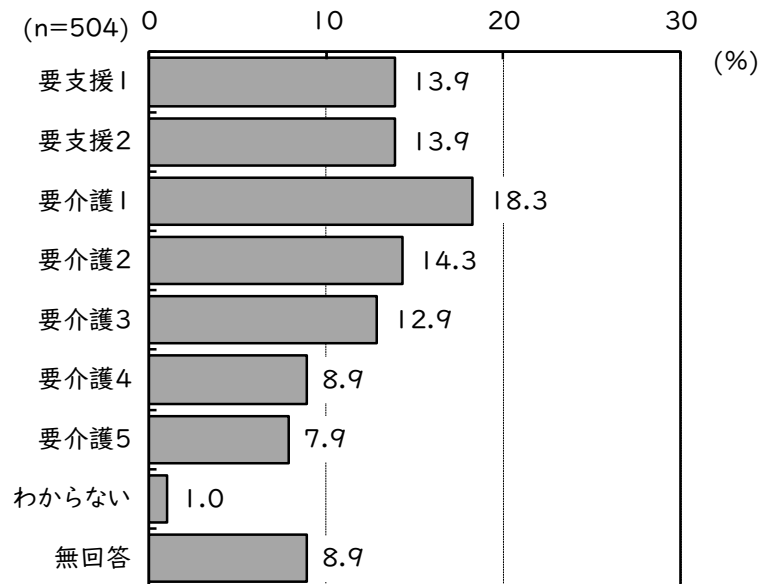
『親しくつきあっている』の割合は要介護度が上がるほど低くなり、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての減少が大きく、《要支援1・2》では47.1%であるのに対し、《要介護1・2》では31.0%、《要介護3以上》では24.0%となっています。圏域別でみると、《南・西地区》での割合が最も高く、47.9%となっています。



## イ. 要介護認定について

問1. あなたの要介護度は、次のどれに該当しますか。(○は1つだけ)

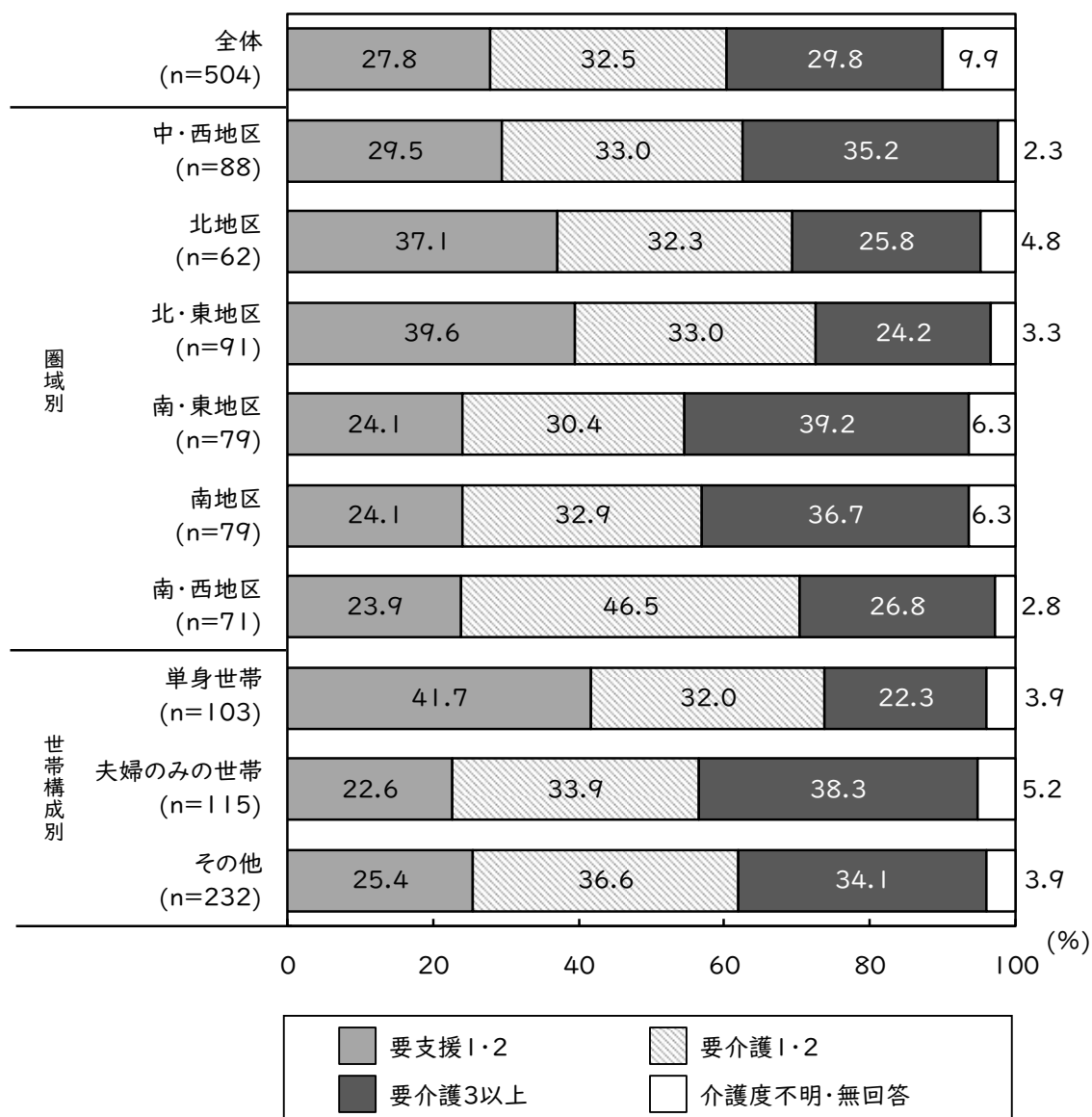
「要介護1」が18.3%と最も高く、次いで、「要介護2」が14.3%、「要支援1」、「要支援2」がそれぞれ13.9%となっています。



要介護度を3区分で見ると、「要支援1・2」が27.8%、「要介護1・2」が32.5%、「要介護3以上」が29.8%となっています

圏域別で見ると、「要介護3以上」の割合は《南・東地区》で最も高く、39.2%となっています。また、《中・西地区》、《南地区》での割合も高く、3割台半ばとなっています(中・西地区:35.2%、南地区:36.7%)。

世帯構成別で見ると、「要介護3以上」の割合は《夫婦のみの世帯》で最も高く、38.3%となっています。



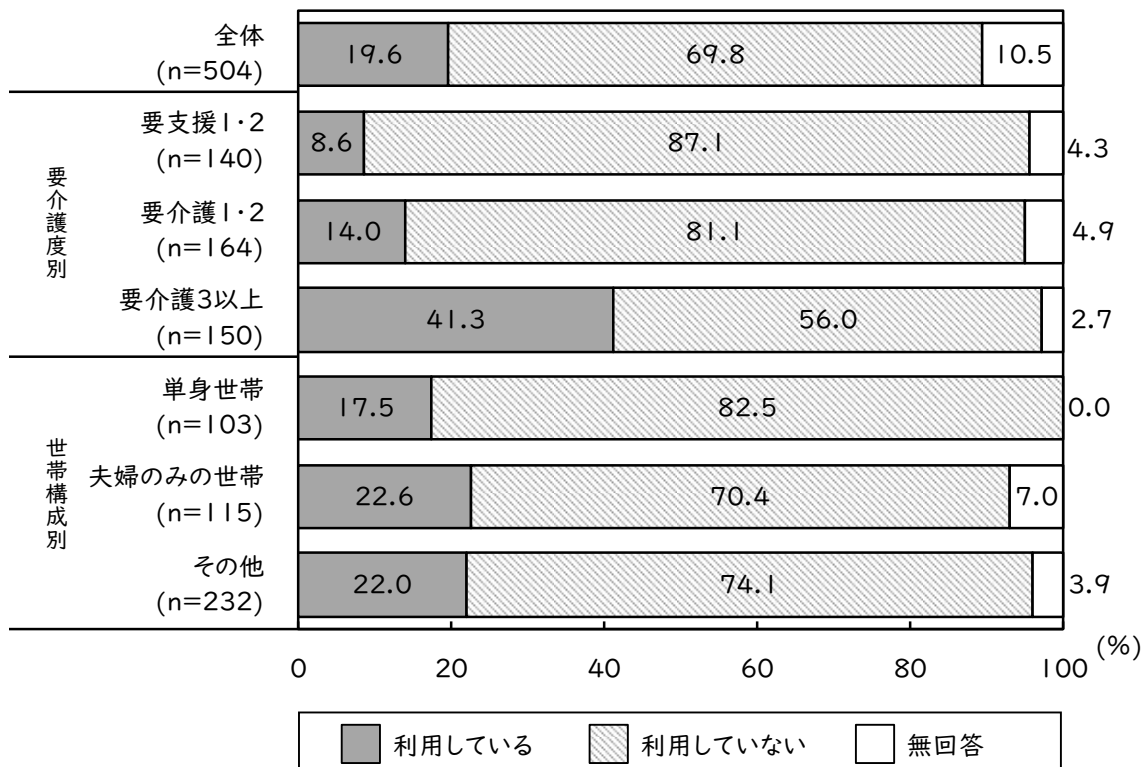
※割合は実数から計算しているため、PI9の要支援・要介護区分の割合の合計と一致しない。

問2. 訪問診療（医師の訪問）を利用していますか。（○は1つだけ）

《全体》では、「利用している」が19.6%、「利用していない」が69.8%となっています。

「利用している」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、特に《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけての増加が大きく、《要介護1・2》では14.0%であるのに対し、《要介護3以上》では41.3%となっています。

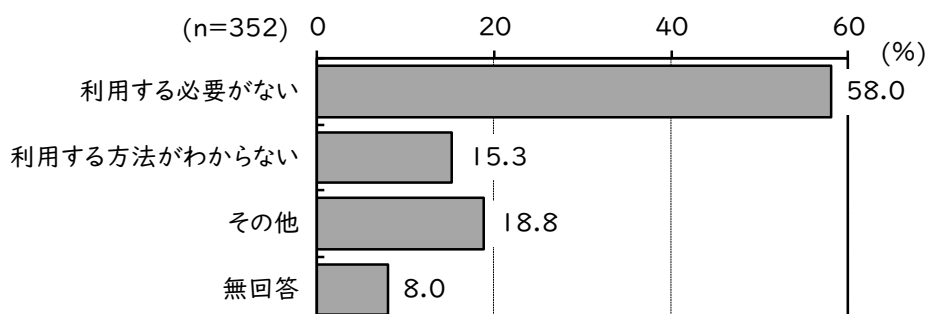
世帯構成別でみると、「利用している」の割合は、《単身世帯》でのみ1割台となっており（17.5%）、《夫婦のみの世帯》、《その他》では2割強となっています（夫婦のみの世帯：22.6%、その他：22.0%）。



〈訪問診療を利用していない方のみ〉

問3. 訪問診療を利用していない理由は何ですか。（○は1つだけ）

「利用する必要がない」が58.0%、「利用する方法がわからない」が15.3%となっています。



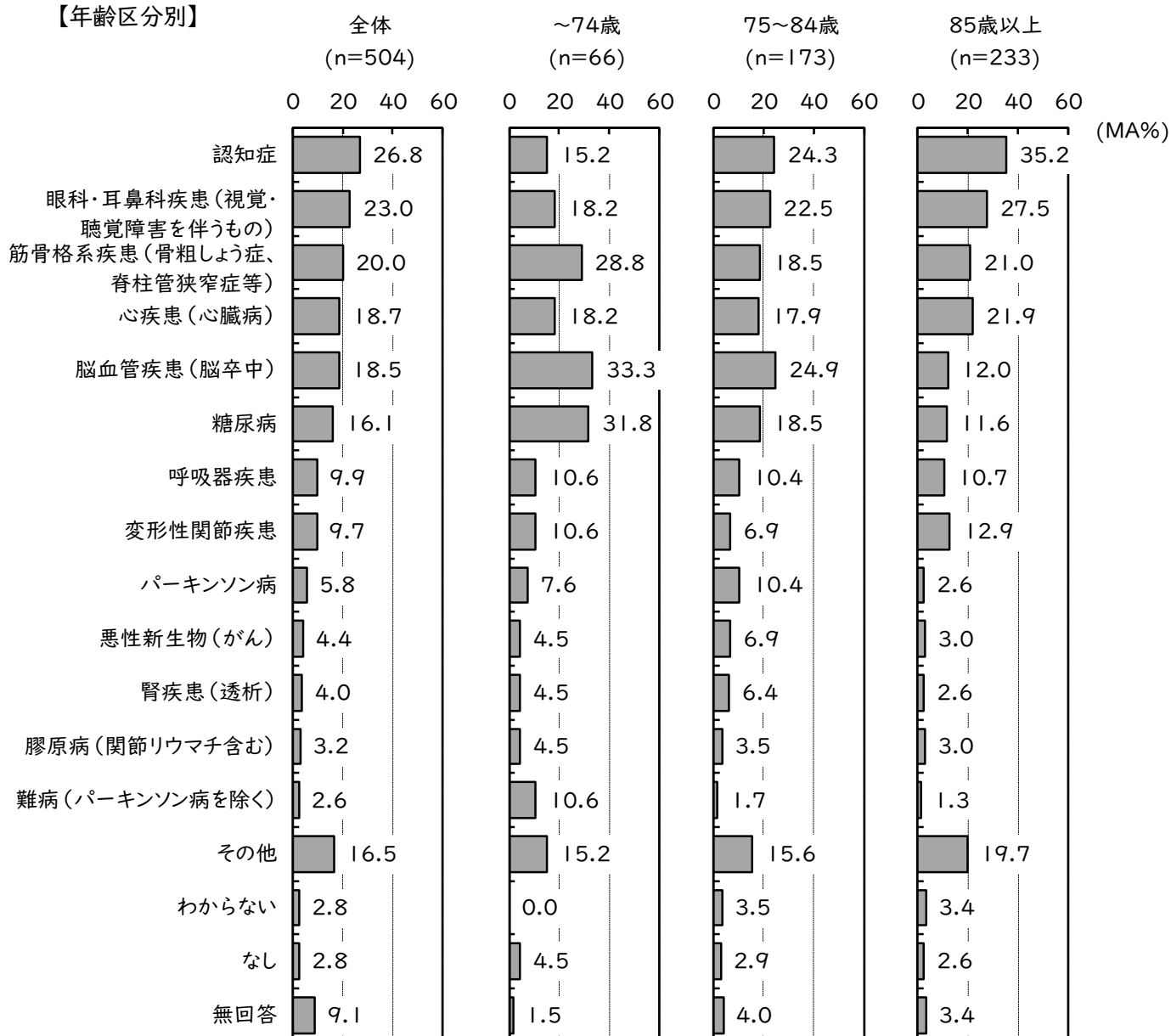
問4. あなたが、現在抱えている病気はありますか。(〇はいくつでも)

《全体》では、「認知症」が26.8%と最も高く、次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が23.0%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が20.0%となっています。

年齢区分別（3区分）で見ると、「認知症」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」は年齢区分が上がるほど高くなっています。特に「認知症」については増加の幅が大きく、《～74歳》では15.2%であるのに対し、《75～84歳》では24.3%、《85歳以上》では35.2%となっています。

一方、「脳血管疾患（脳卒中）」、「糖尿病」については、年齢区分が下がるほど割合が高くなり、《～74歳》では3割以上となっています（脳血管疾患：33.3%、糖尿病：31.8%）。また、《～74歳》では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合も高く、約3割となっています。

【年齢区分別】



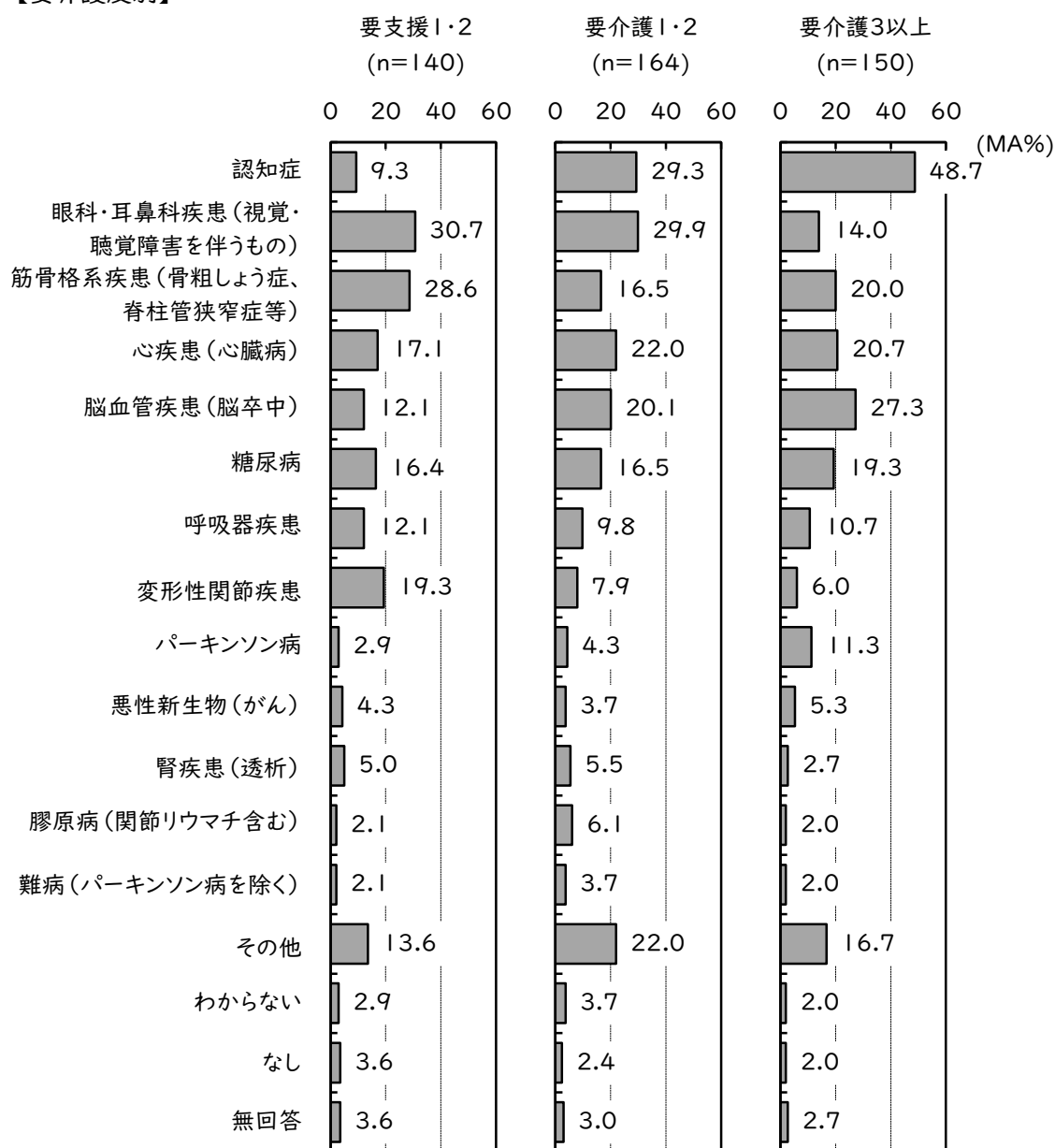
要介護度別でみると、「認知症」の割合は、要介護度が上がるほど高くなり、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きく、《要支援1・2》では1割未満であるのに対し、《要介護1・2》では29.3%、《要介護3以上》では48.7%となっています。

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」については、《要支援1・2》、《要介護1・2》では約3割と割合が高いのに対し（要支援1・2：30.7%、要介護1・2：29.9%）、《要介護3以上》では1割台となっています（14.0%）。

「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」については、《要介護1・2》から割合が低くなる傾向にあり、《要支援1・2》では28.6%であるのに対し、《要介護1・2》では16.5%、《要介護3以上》では20.0%となっています。

そのほか、《要支援1・2》では「変形性関節疾患」の割合（19.3%）が、《要介護3以上》では「脳血管疾患（脳卒中）」の割合（27.3%）が、他の区分に比べて高い傾向にあります。

### 【要介護度別】



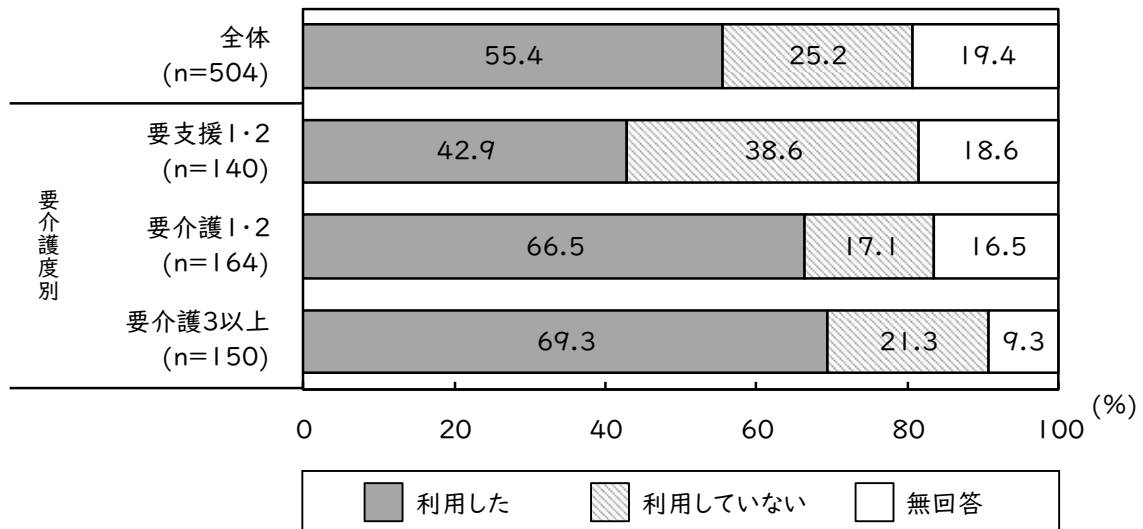
※選択肢の並びは全体でみた場合の割合が高いもの順。

## ウ. 介護保険サービスについて

問1. あなたは、令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つだけ)

《全体》では、「利用した」が55.4%、「利用していない」が25.2%となっています。

「利用した」の割合は、要介護度が上がるほど高くなり、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きく、《要支援1・2》では42.9%であるのに対し、《要介護1・2》では66.5%、《要介護3以上》では69.3%となっています。

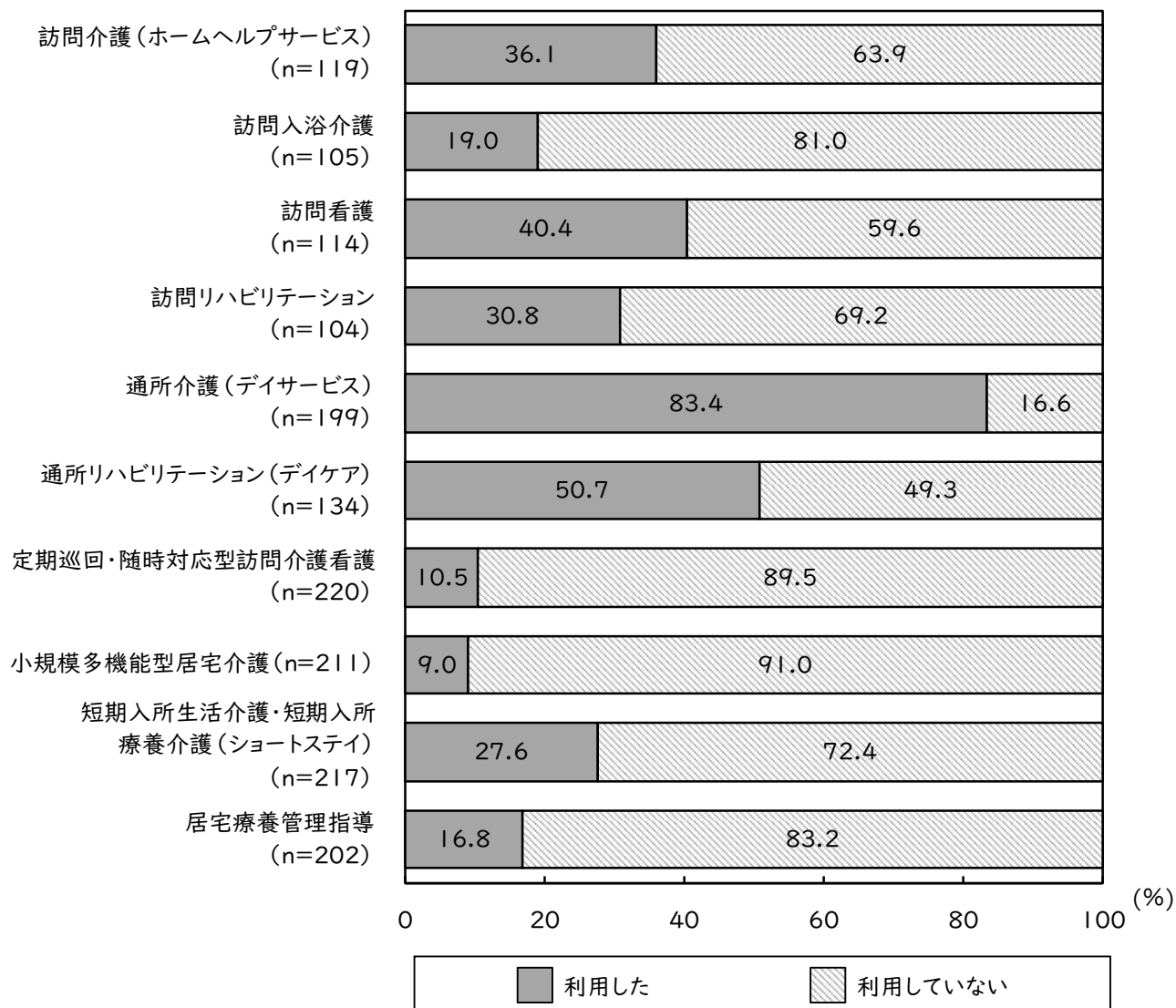




〈介護サービスを利用した方のみ〉

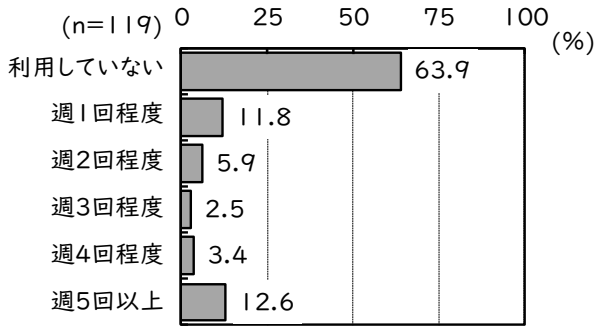
問2. 介護サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をお答えください。

「利用した」の割合は《通所介護（デイサービス）》で83.4%と最も高く、次いで《通所リハビリテーション（デイケア）》が50.7%、《訪問看護》が40.4%、《訪問介護（ホームヘルプサービス）》が36.1%、《訪問リハビリテーション》が30.8%、《短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）》が27.6%となっています。それ以外については、2割未満となっています。

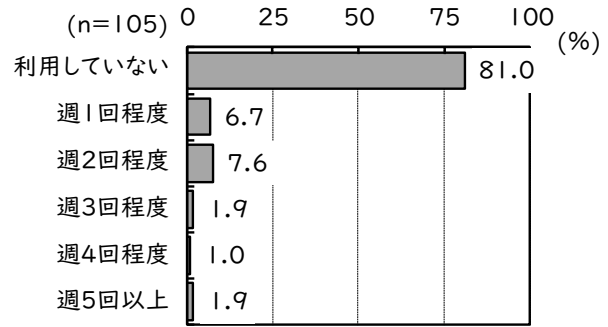


※無回答を除く。

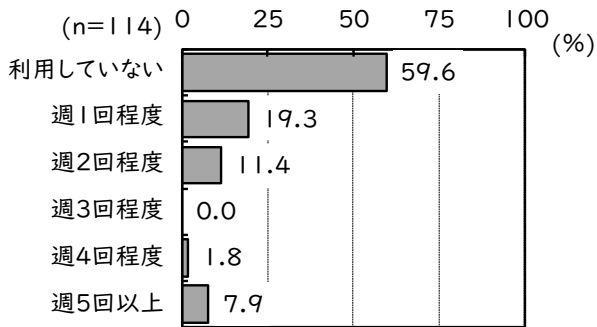
■訪問介護（ホームヘルプサービス）



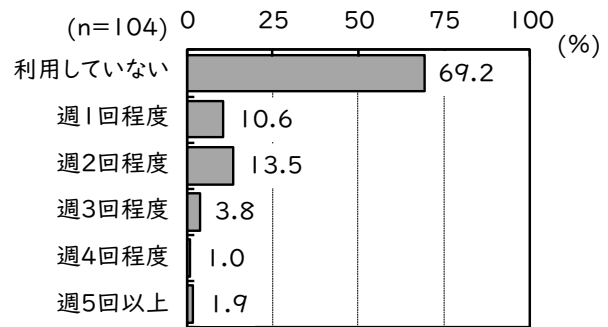
■訪問入浴介護



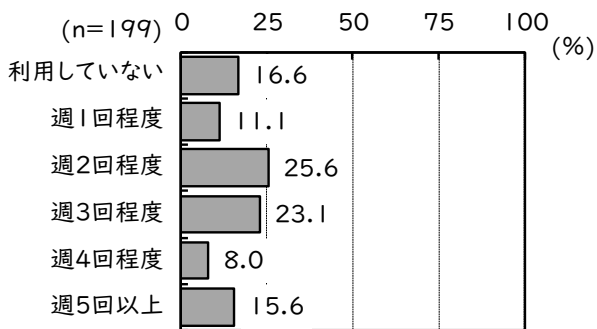
■訪問看護



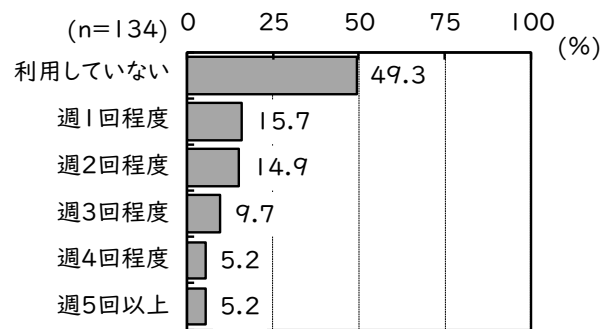
■訪問リハビリテーション



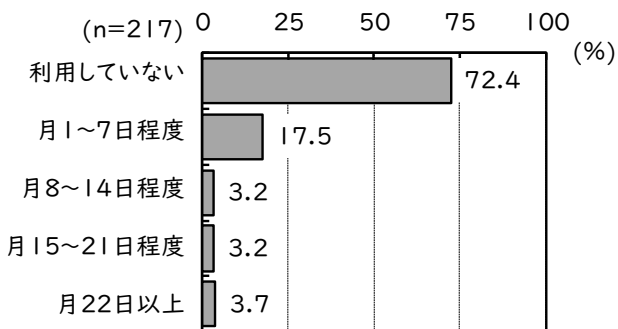
■通所介護（デイサービス）



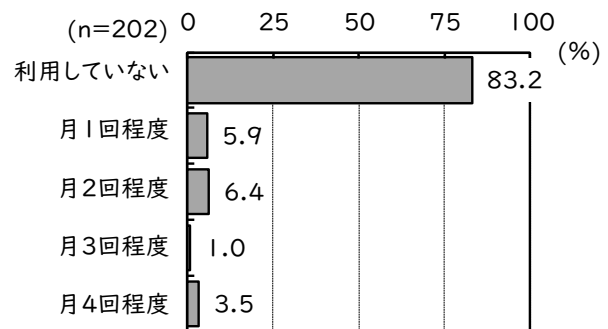
■通所リハビリテーション（デイケア）



■短期入所生活介護・短期入所療養介護  
（ショートステイ）



■居宅療養管理指導



※無回答を除く。

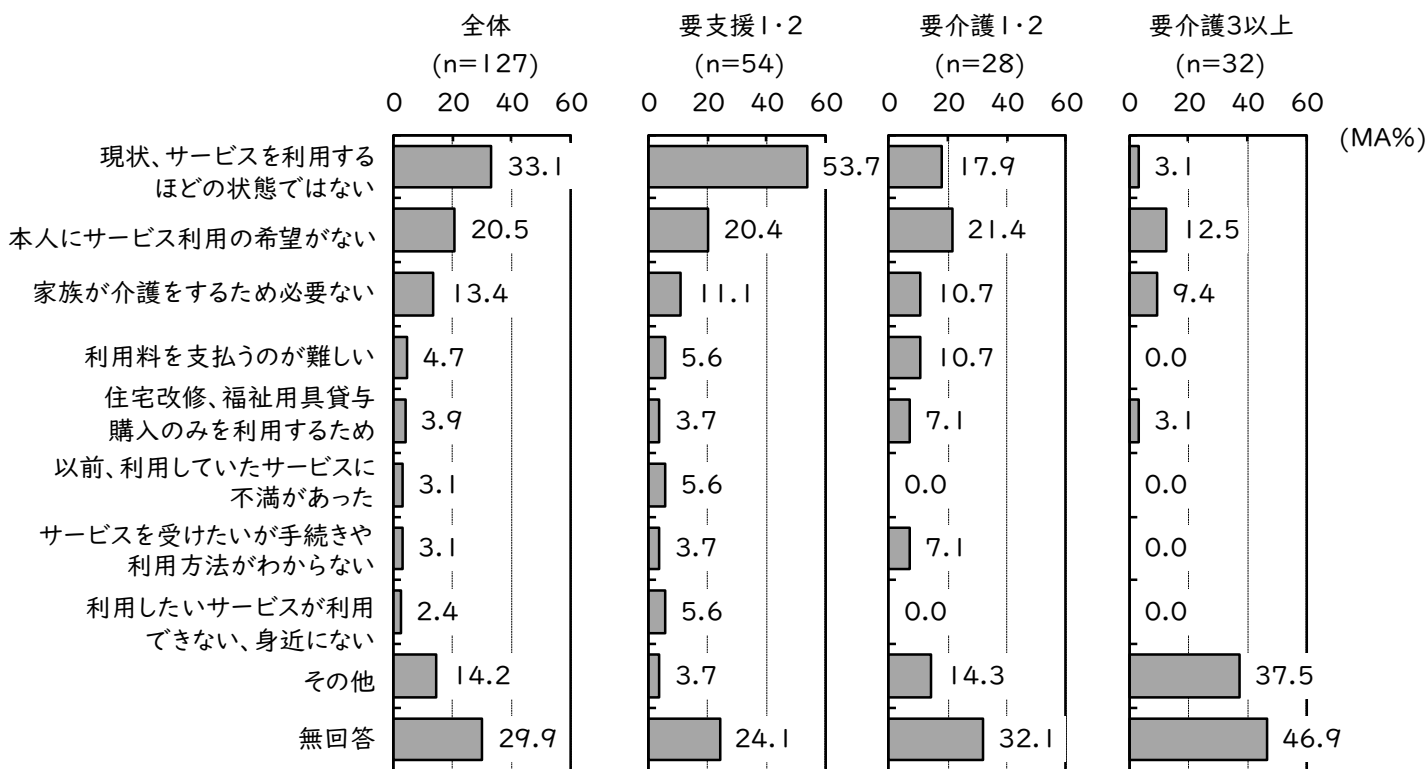
問3. 〈介護サービスを利用していない方のみ〉

介護サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

《全体》では、「その他」を除くと、「現状、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.1%と最も高く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が20.5%、「家族が介護をするため必要ない」が13.4%となっています。

要介護度別でみると、《要支援1・2》では「現状、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.7%で、最も高いのに対し、《要介護1・2》、《要介護3以上》では、「その他」を除くと「本人にサービス利用の希望がない」が最も高くなっています(要介護1・2:21.4%、要介護3以上:12.5%)。「その他」については、「入院中」、「入所中」、「体調を崩して、12月は利用できなかった」の回答がありました。

【要介護度別】



■その他の内容

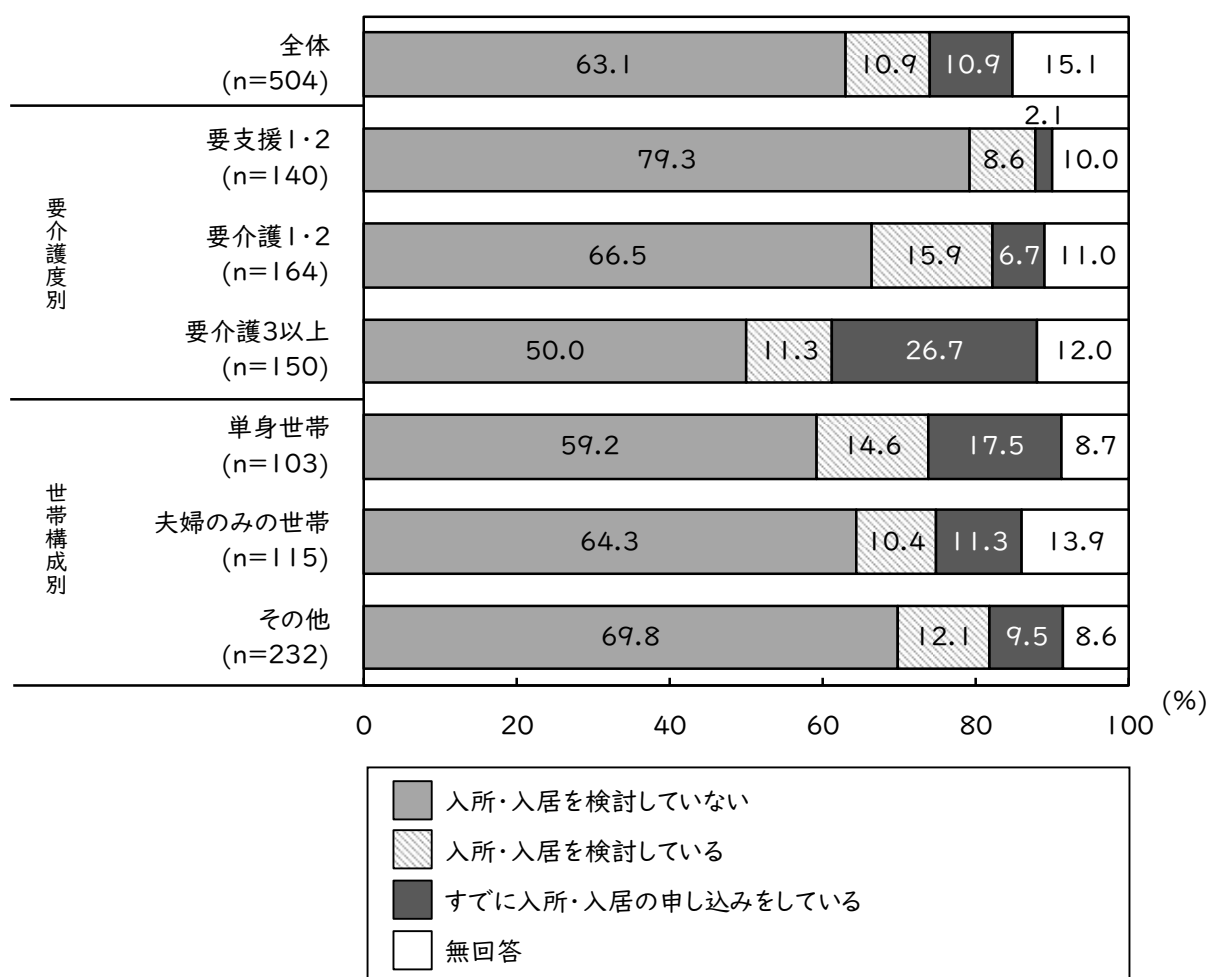
要介護度別	その他回答	件数
要支援1・2	どんなサービスがあるかわからない	1件
要介護1・2以上	体調を崩して、12月は利用できなかった	2件
	入院中	1件
要介護3以上	入院中	6件
	入所中	2件

問4. 現時点での、施設など（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、グループホーム、介護付有料老人ホームなど）への入所・入居の検討状況についてお聞きます。（〇は1つだけ）

《全体》では、「入所・入居を検討していない」が63.1%、「入所・入居を検討している」が10.9%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が10.9%となっています。

「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合は、要介護度が上がるほど高くなり、特に《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけての増加が大きく、《要介護1・2》では1割未満であるのに対し、《要介護3以上》では26.7%となっています。「入所・入居を検討している」の割合については《要介護1・2》で最も高く、15.9%となっています。

世帯構成別でみると、「すでに入所・入居の申し込みをしている」、「入所・入居を検討している」の割合ともに《単身世帯》で最も高く、それぞれ17.5%、14.6%となっています。



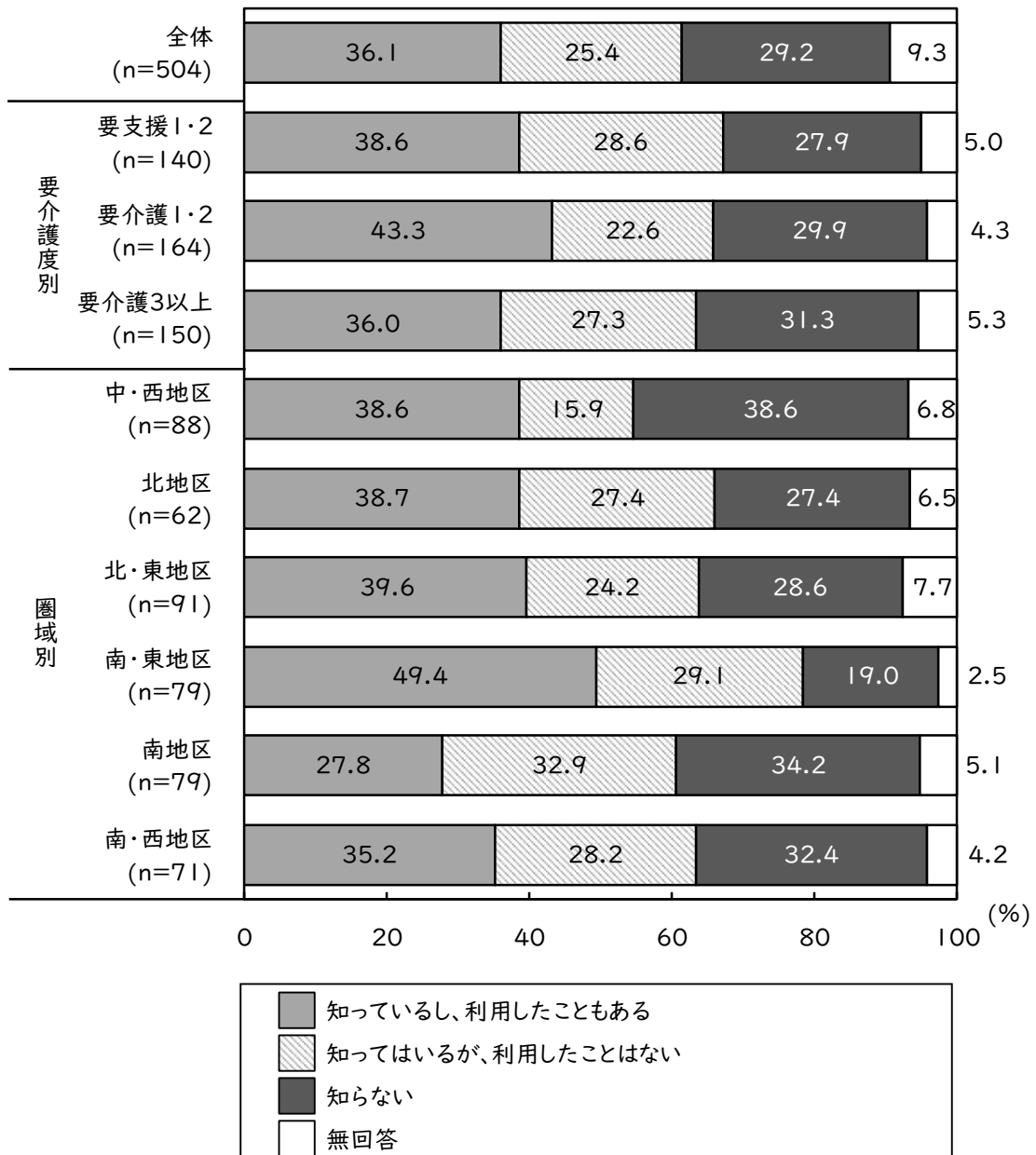
## エ. その他のサービスについて

問1. 「地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「知っているし、利用したこともある」が36.1%、「知っているが、利用したことはない」が25.4%、「知らない」が29.2%となっており、『知っている』（「知っているし、利用したこともある」+「知っているが、利用したことはない」）については、61.5%となっています。

要介護度別でみると、『知っている』の割合はどの区分でも6割台となっていますが、要介護度が上がるほど低くなり、《要介護度3以上》では63.3%となっています。また、「知っているし、利用したこともある」の割合は《要介護1・2》で最も高く、43.3%となっています。

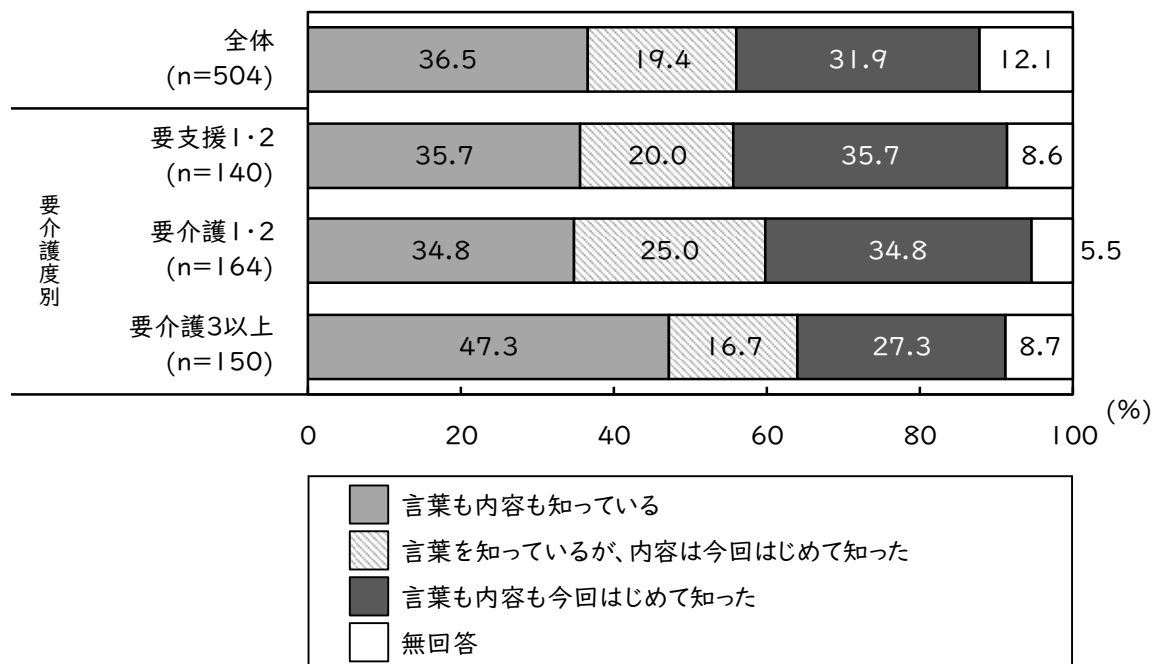
圏域別でみると、『知っている』の割合は《南・東地区》で最も高く、他の地区の値を大きく上回り78.5%となっています。また、《南・東地区》では「知っているし、利用したこともある」の割合も高く、49.4%となっています。一方、《南地区》では利用している割合が他の地区に比べて低い傾向にあり、27.8%となっています。



問2. 「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「言葉も内容も知っている」が36.5%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が19.4%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が31.9%となっています。

要介護度別でみると、「言葉も内容も知っている」割合は《要介護3以上》で最も高く、47.3%となっています。



問3. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。  
(〇はいくつでも)

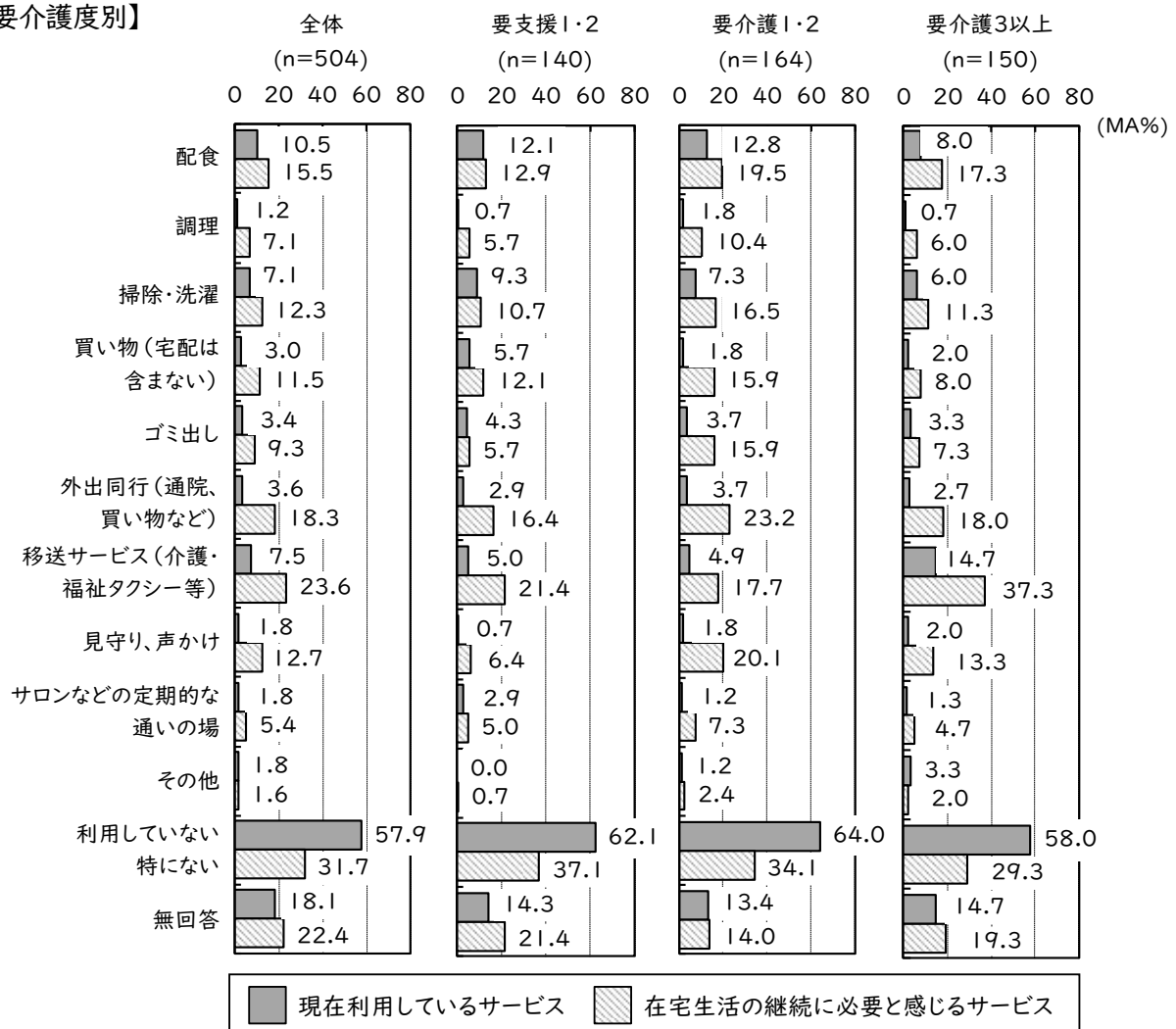
問4. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在利用しているサービスは、どの区分でも「利用していない」の割合が最も高くなっていますが、それ以外についてみると、《全体》では、「配食」(10.5%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(7.5%)、「掃除・洗濯」(7.1%)の順、在宅生活の継続に必要と感じるサービスについては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(23.6%)、「外出同行(通院、買い物など)」(18.3%)、「配食」(15.5%)の順で高くなっています。

要介護度別でみると、利用しているサービスは、《要支援1・2》と《要介護1・2》では、「配食」(要支援1・2:12.1%、要介護1・2:12.8%)「掃除・洗濯」(要支援1・2:9.3%、要介護1・2:7.3%)の順、《要介護3以上》では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(14.7%)、「配食」(8.0%)の順で高くなっています。

在宅生活の継続に必要と感じるサービスについては、どの区分も「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「外出同行(通院、買い物など)」、「配食」の割合が高く、特に《要介護3以上》での「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合は37.3%と高くなっています。また、《要介護1・2》では「見守り、声かけ」の割合も高く、20.1%となっています。

【要介護度別】



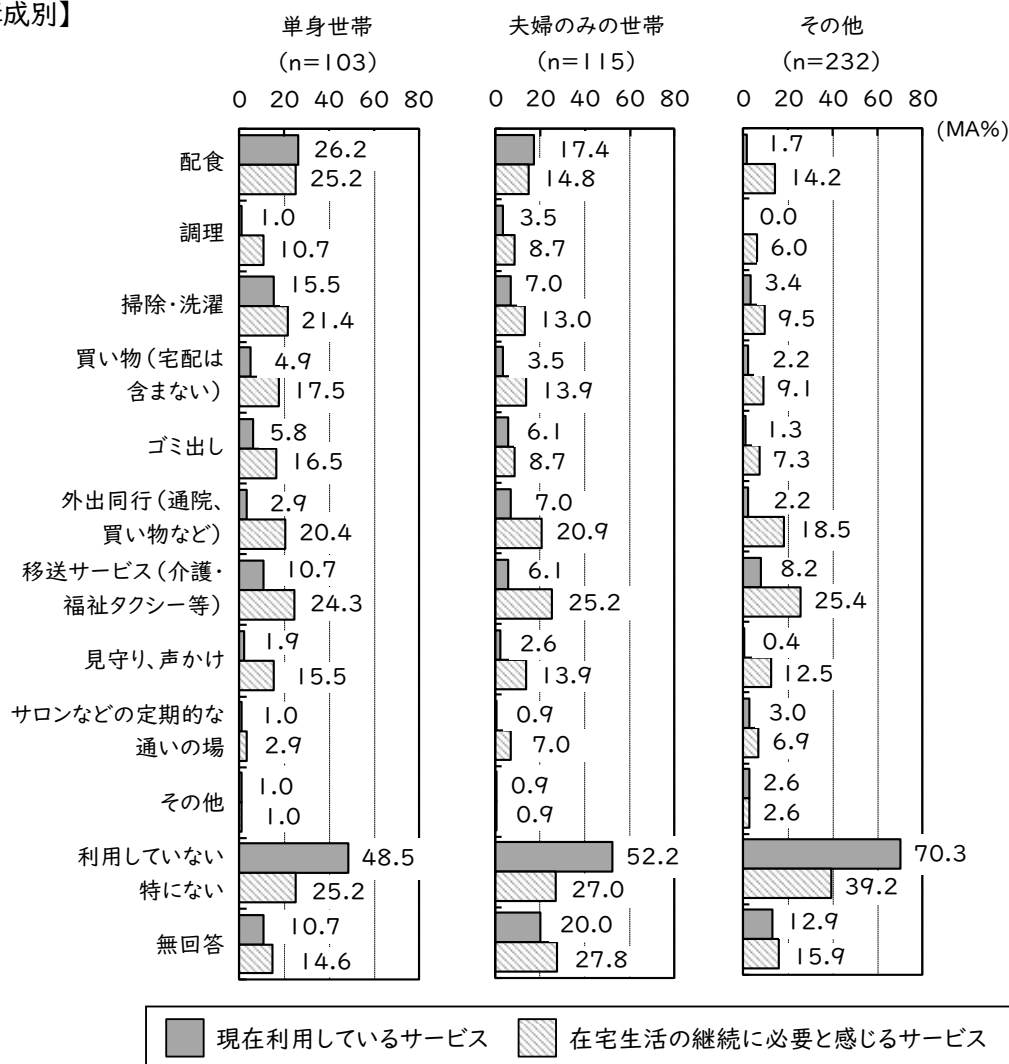
現在利用しているサービスについて、世帯構成別で見ると、どの区分でも「利用していない」の割合が最も高くなっています。特に《その他》では割合が高く、70.3%となっています。

そのほかについてみると、《単身世帯》、《夫婦のみの世帯》では、「配食」が他の割合を大きく上回り、《単身世帯》で26.2%、《夫婦のみの世帯》で17.4%となっています。《単身世帯》については、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合も1割以上となっています（掃除・洗濯：15.5%、移送サービス：10.7%）。

在宅生活の継続に必要と感じるサービスについては、《夫婦のみの世帯》、《その他》では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が2割台半ばで最も高くなっていますが（夫婦のみの世帯：25.2%、その他：25.4%）、《単身世帯》では「配食」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに2割台半ばとなっています（配食：25.2%、移送サービス：24.3%）。

また、どの区分でも、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっていますが、《単身世帯》では「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」の割合も高い傾向にあります。

### 【世帯構成別】





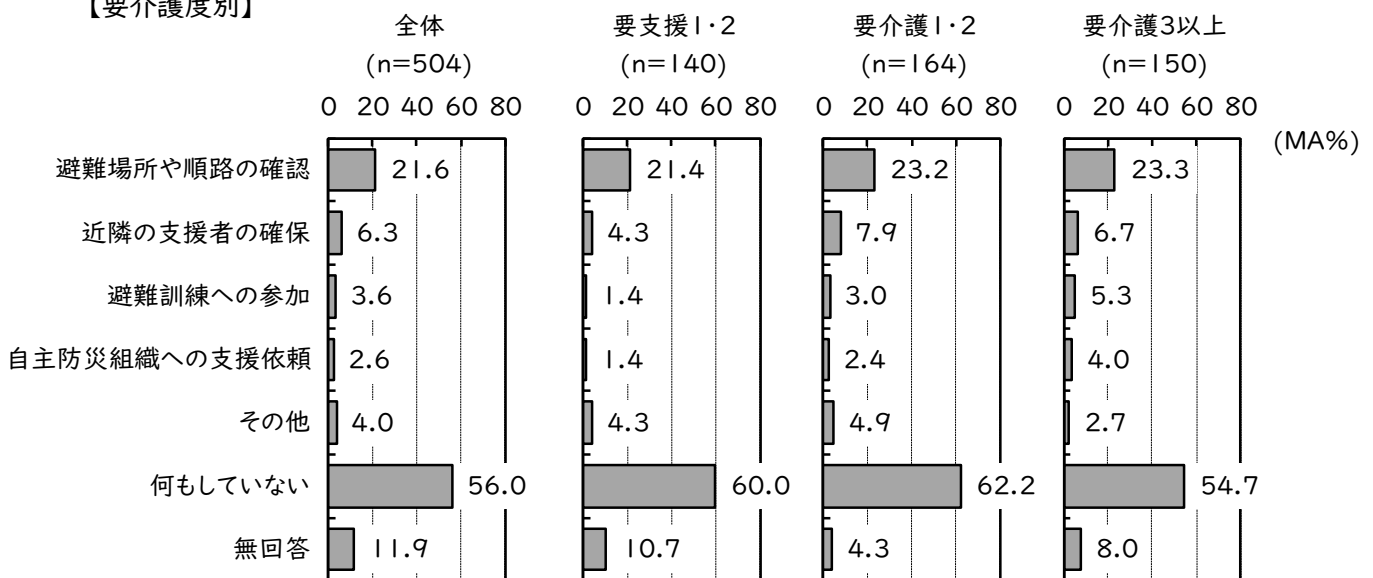
## オ. 防災について

問1. 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

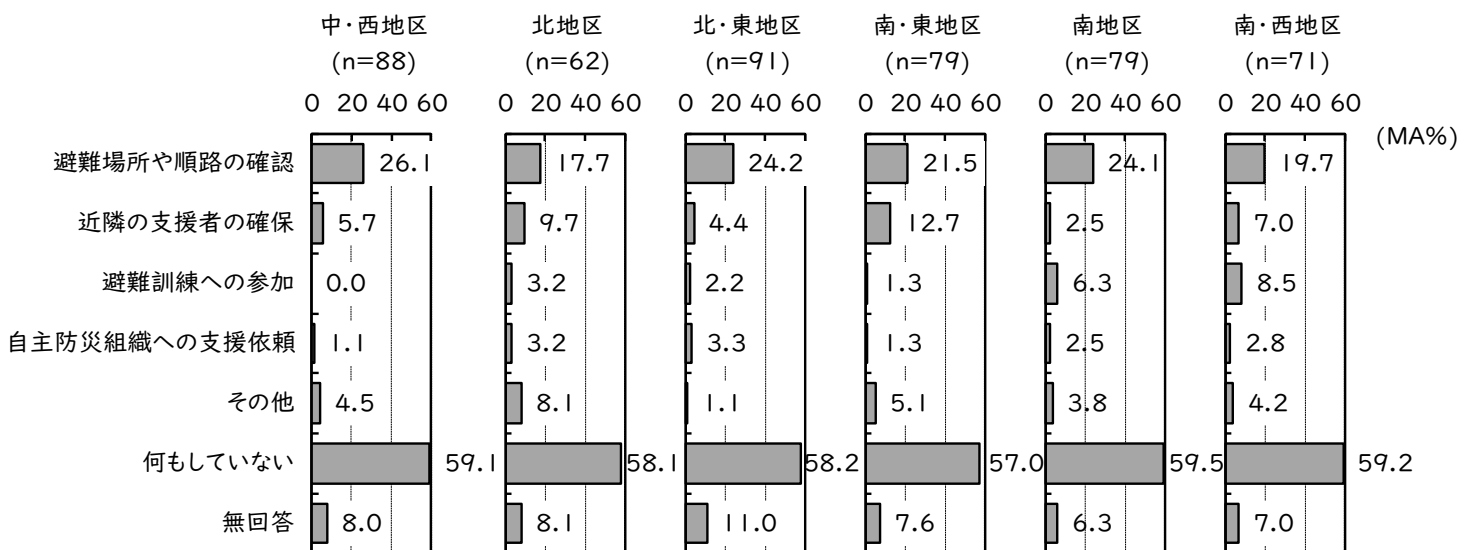
《全体》では、「何もしていない」を除くと、「避難場所や順路の確認」が21.6%と最も高く、次いで、「近隣の支援者の確保」が6.3%となっています。「何もしていない」については、56.0%となっています。

要介護度別で見ると、「何もしていない」の割合は、《要介護1・2》で最も高く、62.2%となっています。圏域別では、どの地区も5割台後半となっています。

### 【要介護度別】



### 【圏域別】

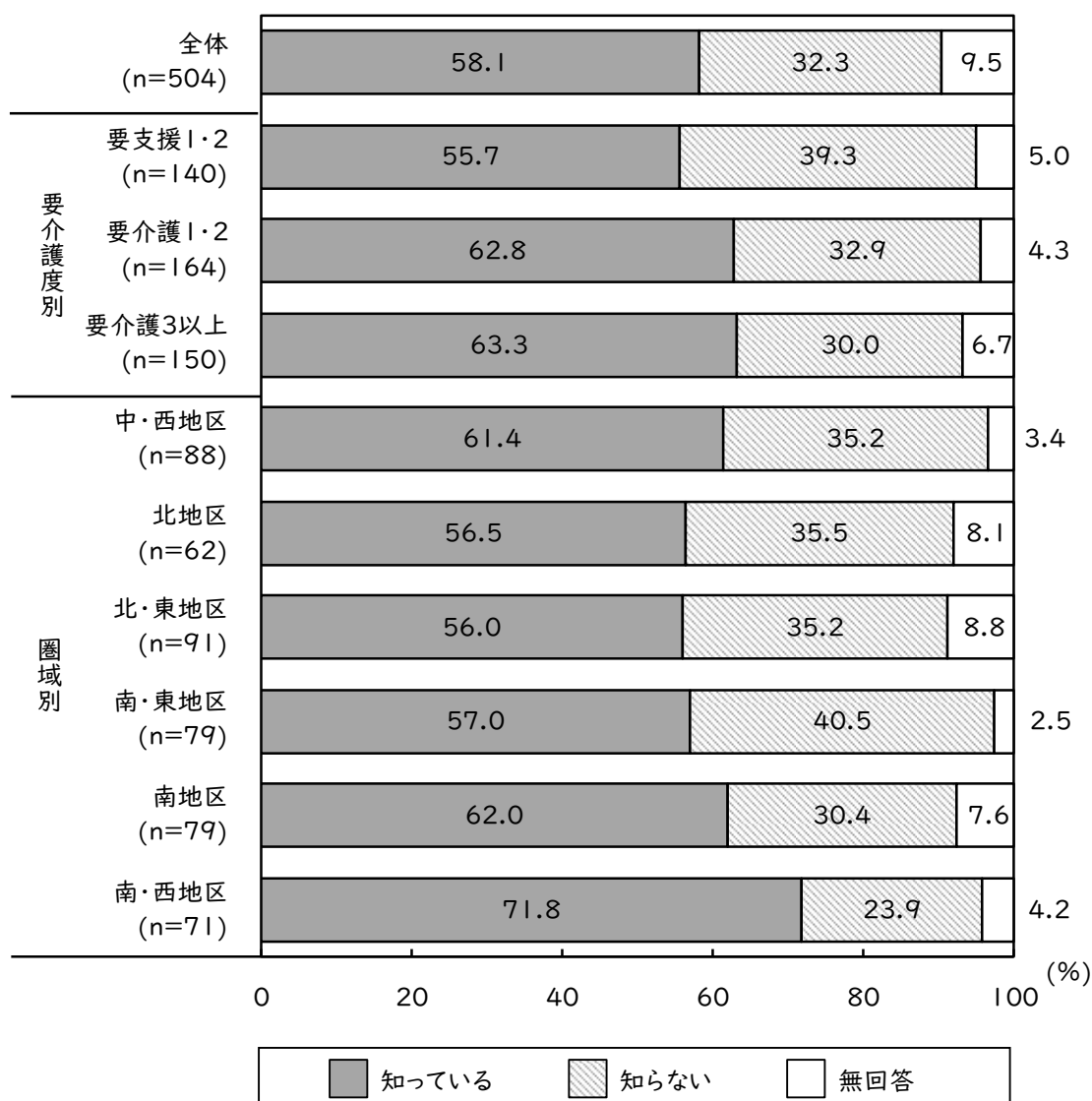


問2. 地震などの災害がおこった場合の避難場所を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「知っている」が58.1%、「知らない」が32.3%となっています。

「知っている」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要介護1・2》、《要介護3以上》では6割以上となっています(要介護1・2:62.8%、要介護3以上:63.3%)。

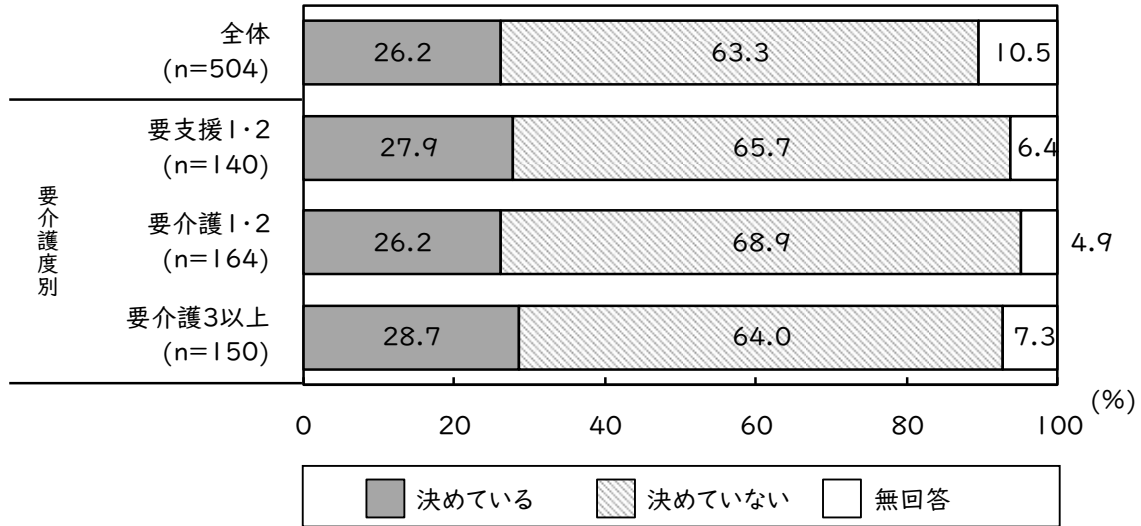
圏域別でみると、「知っている」の割合は、《南・西地区》で最も高く、71.8%となっています。



問3. 避難方法や安否確認の方法について、家族と話し合っていますか。(○は1つだけ)

「決めている」が26.2%、「決めていない」が63.3%となっています。

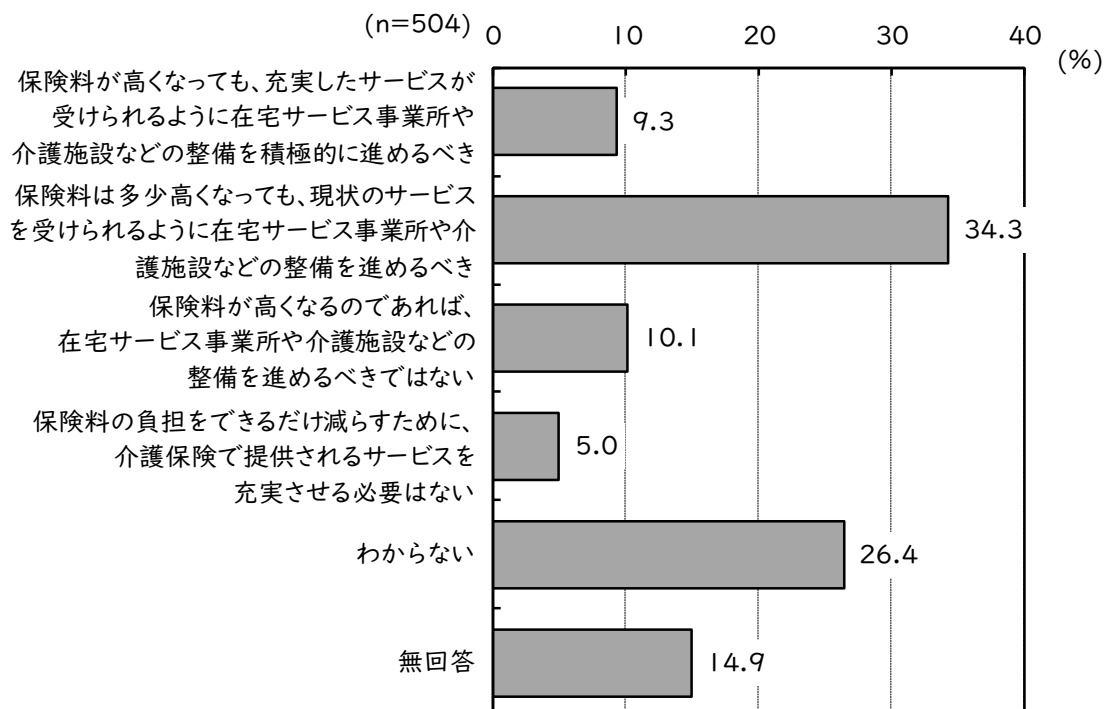
「決めている」の割合は、《要介護3以上》で最も高くなっていますが、どの区分でも2割台後半となっています（要支援1・2：27.9%、要介護1・2：26.2%、要介護3以上：28.7%）。



## カ. 今後の介護保険サービスについて

問1. 今後の介護サービスと介護保険料負担のあり方について、あなたの考え方に最も近いのはどれですか。(○は1つだけ)

「わからない」を除くと、「保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべき」が34.3%と最も高く、次いで、「保険料が高くなるのであれば、在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべきではない」が10.1%となっています。「わからない」については、26.4%となっています。



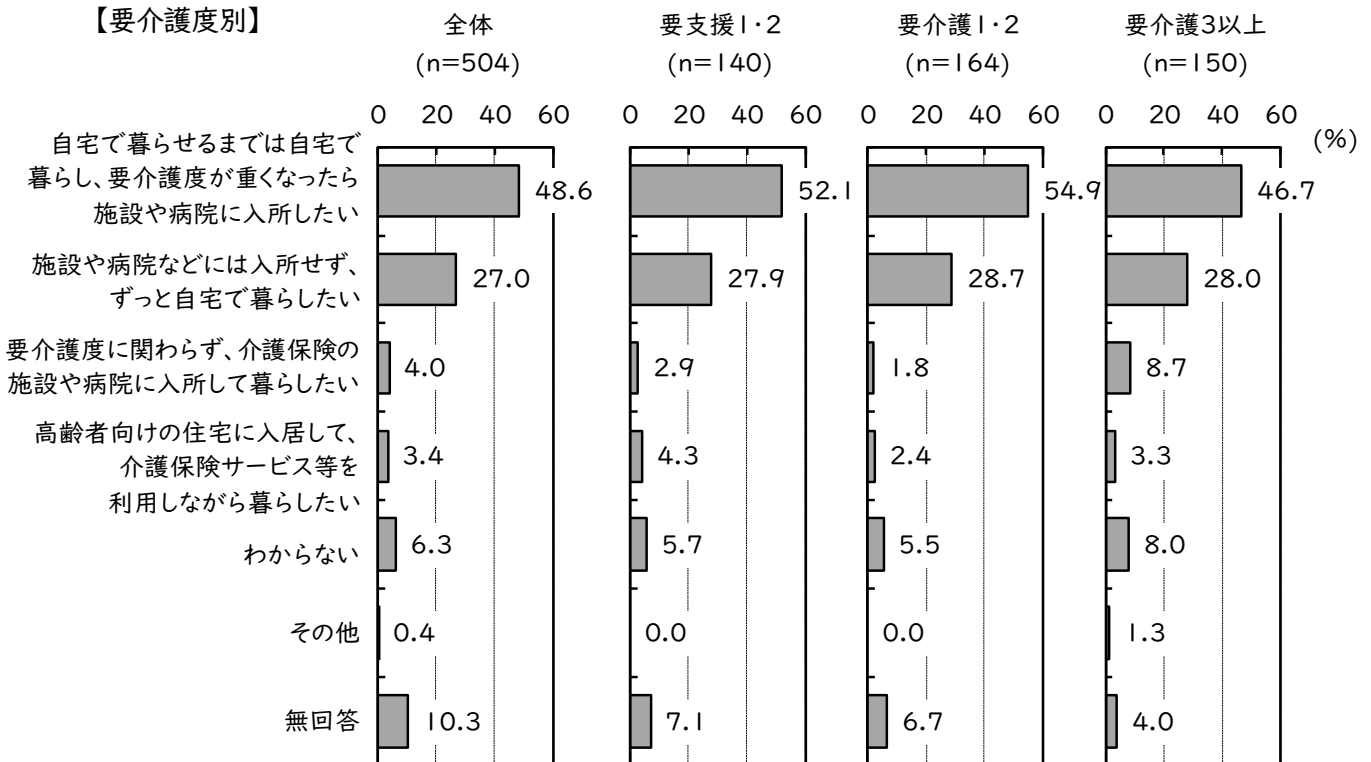
問2. 今後どこでどのように暮らしたいとお考えですか。(〇は1つだけ)

《全体》では、「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が48.6%と最も高く、次いで、「施設や病院などには入所せず、ずっと自宅で暮らしたい」が27.0%となっています。

要介護度別でも、どの区分も「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が最も高くなっており、《要支援1・2》で52.1%、《要介護1・2》で54.9%、《要介護3以上》で46.7%と、《要介護1・2》での割合が最も高くなっています。

圏域別でも、ほとんどの地区で「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が最も高く、約5割から6割となっていますが、《北・東地区》では「施設や病院などには入所せず、ずっと自宅で暮らしたい」が最も高く、約4割となっています。

【要介護度別】



【圏域別】

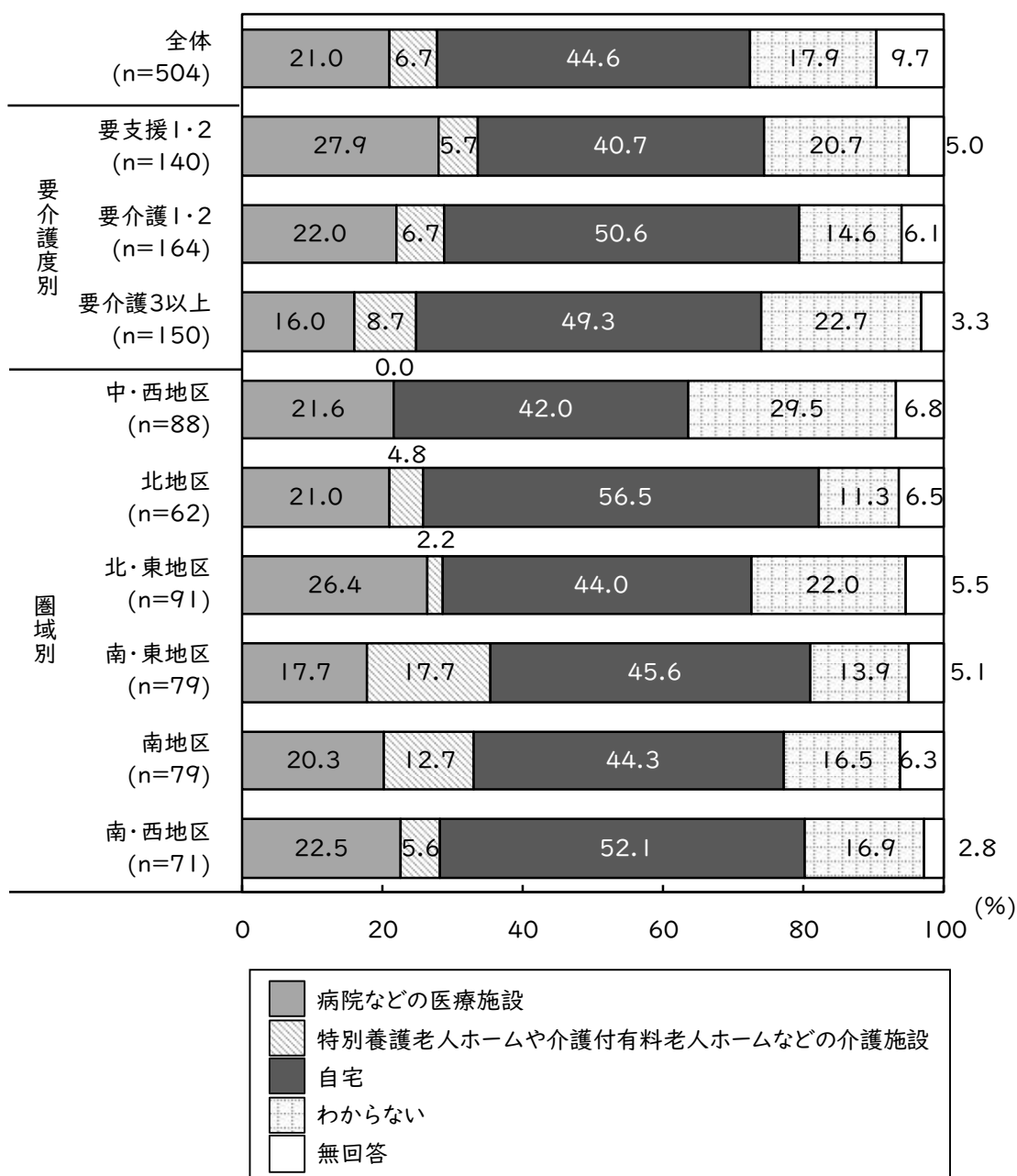
上段:件数、 下段:%	調査数	施設や病院などには入所せず、ずっと自宅で暮らしたい	自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい	要介護度に関わらず、介護保険の施設や病院に入所して暮らしたい	高齢者向けの住宅に入居して、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい	わからない	その他	無回答
中・西地区	88 100.0	21 23.9	<b>52</b> <b>59.1</b>	5 5.7	1 1.1	6 6.8	-	3 3.4
北地区	62 100.0	16 25.8	<b>36</b> <b>58.1</b>	2 3.2	-	3 4.8	1 1.6	4 6.5
北・東地区	91 100.0	<b>36</b> <b>39.6</b>	34 37.4	4 4.4	2 2.2	7 7.7	-	8 8.8
南・東地区	79 100.0	19 24.1	<b>39</b> <b>49.4</b>	4 5.1	5 6.3	5 6.3	-	7 8.9
南地区	79 100.0	18 22.8	<b>40</b> <b>50.6</b>	4 5.1	5 6.3	5 6.3	1 1.3	6 7.6
南・西地区	71 100.0	20 28.2	<b>40</b> <b>56.3</b>	1 1.4	3 4.2	4 5.6	-	3 4.2

問3. 人生の最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「自宅」が44.6%と最も高く、次いで、「病院などの医療施設」が21.0%となっています。

要介護度別でも、どの区分も「自宅」が最も高くなっており、《要支援1・2》で40.7%、《要介護1・2》で50.6%、《要介護3以上》で49.3%と、《要介護1・2》での割合が最も高くなっています。

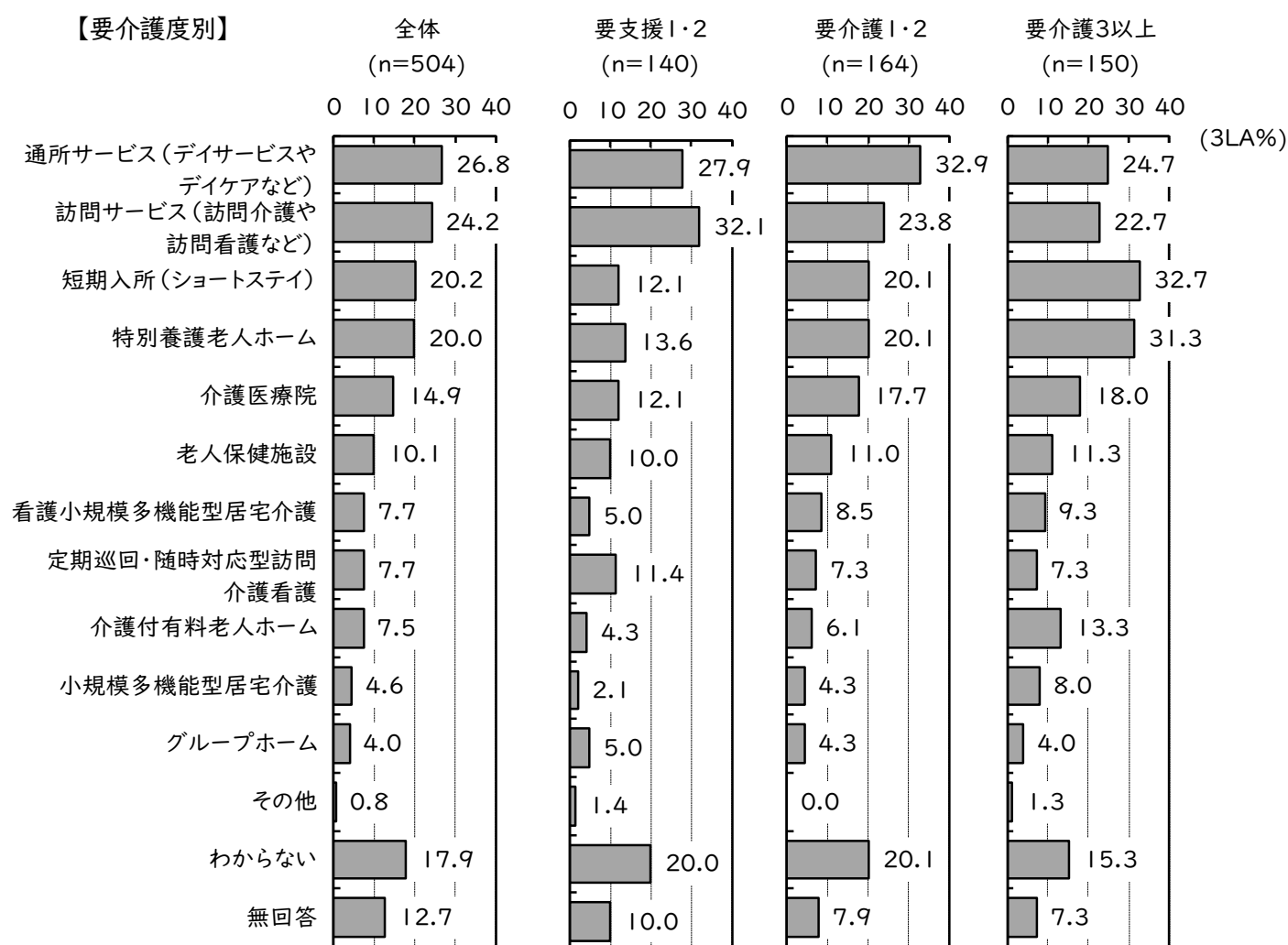
圏域別でも、どの区分も「自宅」が最も高くなっていますが、その割合は《北地区》で最も高く、56.5%となっています。



問4. 今後、どのようなサービスを充実していく必要があると考えられますか。(〇は3つまで)

《全体》では、「通所サービス(デイサービスやデイケアなど)」が26.8%と最も高く、次いで、「訪問サービス(訪問介護や訪問看護など)」が24.2%、「短期入所(ショートステイ)」が20.2%、「特別養護老人ホーム」が20.0%となっています。

要介護度別でみると、《要支援1・2》、《要介護1・2》では、「通所サービス(デイサービスやデイケアなど)」(要支援1・2:27.9%、要介護1・2:32.9%)、「訪問サービス(訪問介護や訪問看護など)」(要支援1・2:32.1%、要介護1・2:23.8%)の割合が高いのに対し、《要介護3以上》では「短期入所(ショートステイ)」(32.7%)、「特別養護老人ホーム」(31.3%)の割合が高くなっています。



圏域別で見ると、ほとんどの地区で、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」、「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」、「短期入所（ショートステイ）」の割合が高い傾向にありますが、《南地区》での「短期入所（ショートステイ）」の割合は、他の地区に比べて低い傾向にあります。また、《北地区》、《南・東地区》では「特別養護老人ホーム」が上位にあげられており、「介護医療院」の割合も他の地区に比べて高い傾向にあります。

【圏域別】

上段:件数、 下段:%	調査数	訪問サービス (訪問介護や 訪問看護など)	通所サービス (デイサービスや デイケアなど)	短期入所 (ショートステイ)	小規模 多機能 型居宅 介護	看護小 規模多 機能型 居宅介 護	定期巡 回・随時 対応型 訪問介 護看護	グルー プホーム	介護付 有料老 人ホーム	特別養 護老人 ホーム	老人保 健施設	介護医 療院	その他	わから ない	無回答
中・西地区	88 100.0	23 26.1	<b>29</b> <b>33.0</b>	21 23.9	2 2.3	6 6.8	5 5.7	1 1.1	5 5.7	20 22.7	8 9.1	9 10.2	1 1.1	19 21.6	6 6.8
北地区	62 100.0	13 21.0	<b>17</b> <b>27.4</b>	12 19.4	2 3.2	5 8.1	2 3.2	6 9.7	3 4.8	14 22.6	4 6.5	13 21.0	1 1.6	7 11.3	10 16.1
北・東地区	91 100.0	23 25.3	<b>27</b> <b>29.7</b>	23 25.3	2 2.2	5 5.5	13 14.3	7 7.7	3 3.3	14 15.4	7 7.7	12 13.2	-	19 20.9	7 7.7
南・東地区	79 100.0	<b>26</b> <b>32.9</b>	21 26.6	19 24.1	5 6.3	10 12.7	9 11.4	1 1.3	13 16.5	25 31.6	12 15.2	17 21.5	1 1.3	8 10.1	7 8.9
南地区	79 100.0	20 25.3	<b>21</b> <b>26.6</b>	10 12.7	5 6.3	8 10.1	6 7.6	2 2.5	7 8.9	13 16.5	11 13.9	14 17.7	1 1.3	17 21.5	8 10.1
南・西地区	71 100.0	13 18.3	<b>18</b> <b>25.4</b>	16 22.5	7 9.9	4 5.6	3 4.2	3 4.2	7 9.9	13 18.3	8 11.3	10 14.1	-	16 22.5	6 8.5



## キ. 介護者について

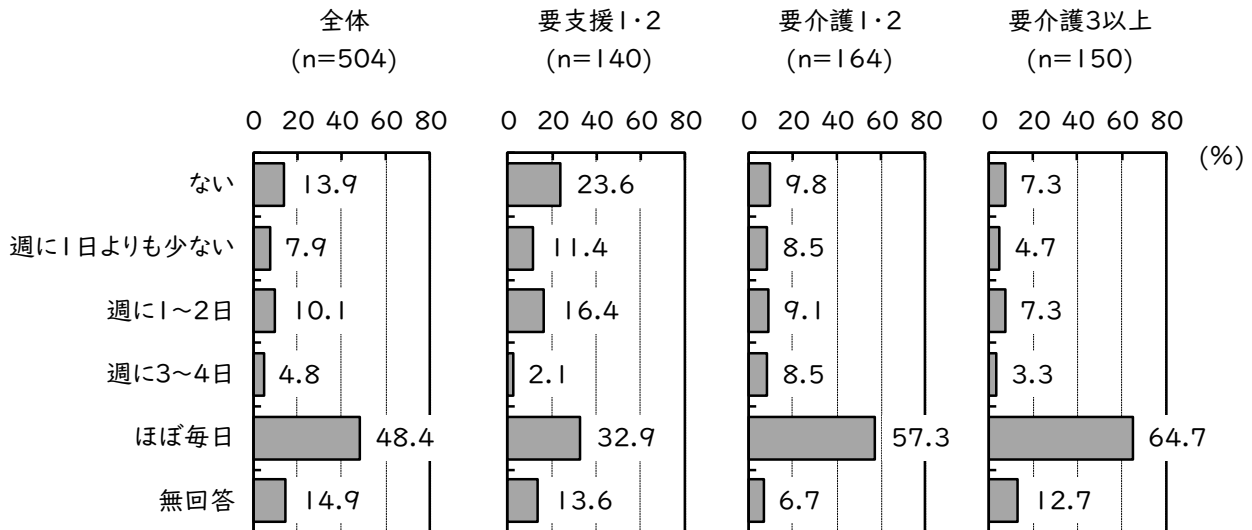
問1. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つだけ）

《全体》では、「ほぼ毎日」が48.4%と最も高く、次いで、「ない」が13.9%、「週に1～2日」が10.1%となっています。

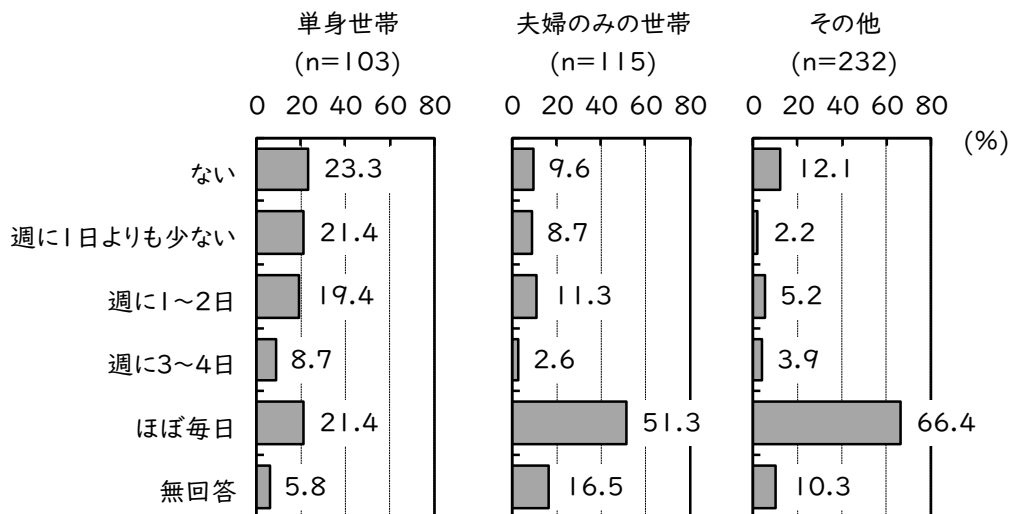
「ほぼ毎日」の割合は、要介護度が上がるほど高くなり、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きく、《要支援1・2》では32.9%であるのに対し、《要介護1・2》では57.3%、《要介護3以上》では64.7%となっています。

世帯構成別でみると、「ほぼ毎日」の割合は《その他》で最も高く、66.4%となっています。

### 【要介護度別】

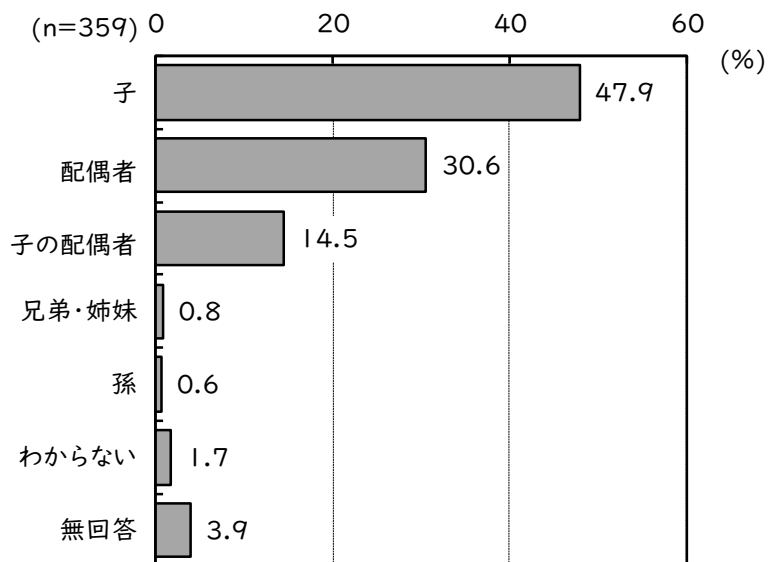


### 【世帯構成別】



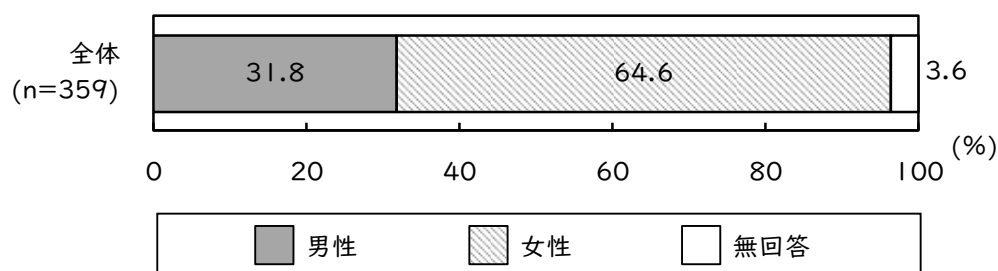
問2. ご家族の中で、主にあて名の方を介護している方はどなたですか。  
 あて名の方からみた関係でお答えください。(〇は1つだけ)

「子」が47.9%と最も高く、次いで、「配偶者」が30.6%、「子の配偶者」が14.5%となっています。



問3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇は1つだけ)

「男性」が31.8%、「女性」が64.6%となっています。



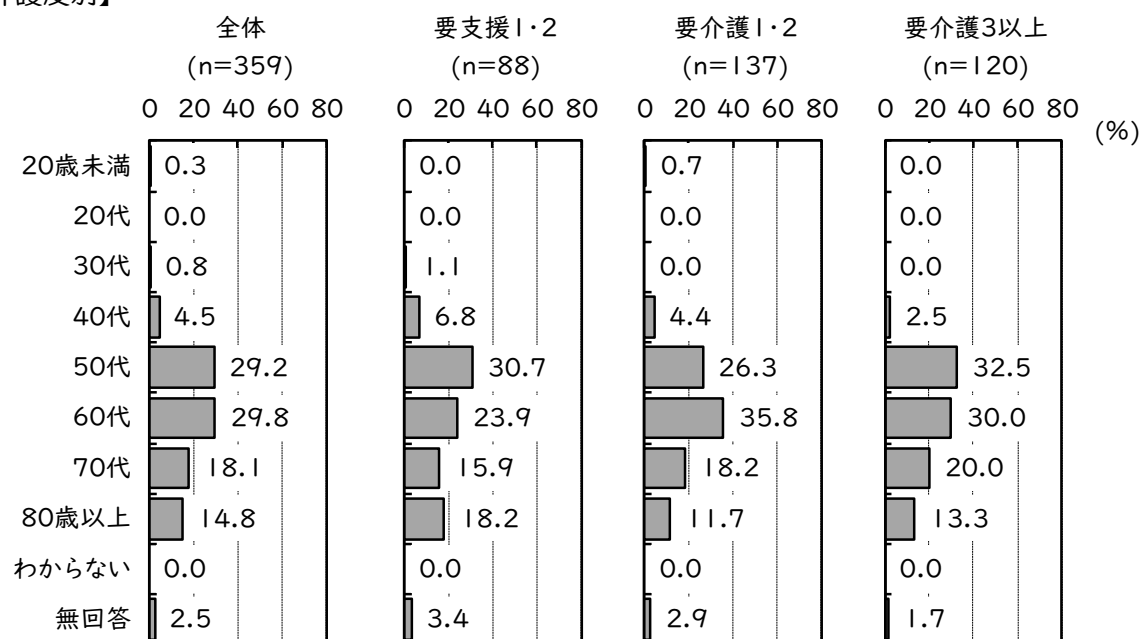
問4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つだけ)

《全体》では、「60代」が29.8%と最も高く、次いで、「50代」が29.2%、「70代」が18.1%となっています。

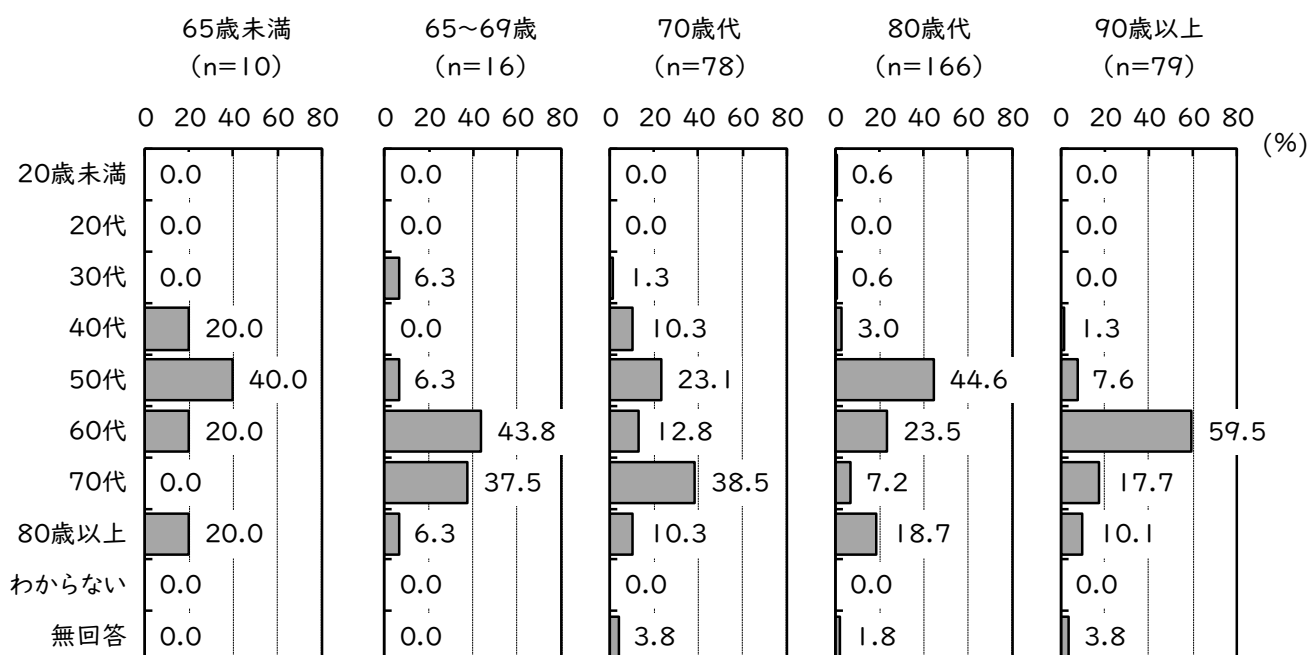
要介護度別でみると、《要支援1・2》と《要介護3以上》では「50代」が最も高く（要支援1・2：30.7%、要介護3以上：32.5%）、《要介護1・2》では「60代」が最も高くなっています（35.8%）。

要介護者の年齢別でみると、《65～69歳》、《90歳以上》では「60代」が最も高く（65～69歳：43.8%、90歳以上：59.5%）、《70歳代》では「70代」が最も高くなっています（38.5%）。《80歳代》については「50代」が最も高くなっています（44.6%）。

【要介護度別】

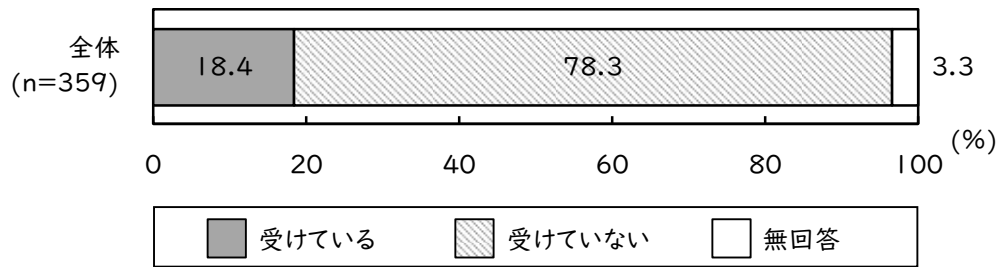


【要介護者の年齢別】



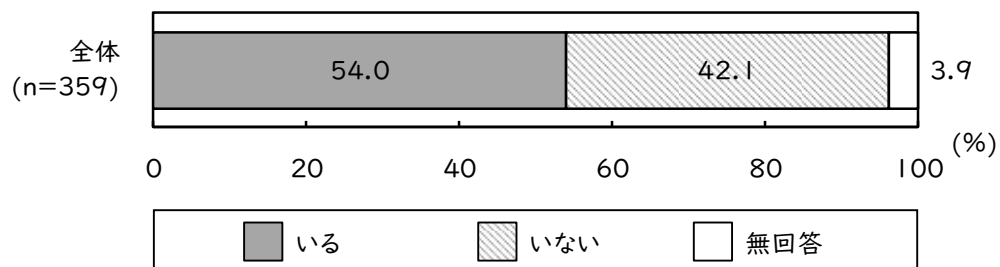
問5. 主な介護者の方は要介護認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

「受けている」が18.4%、「受けていない」が78.3%となっています。



問6. ご家族の中で、補助的な介護者はおられますか。(〇は1つだけ)

「いる」が54.0%、「いない」が42.1%となっています。

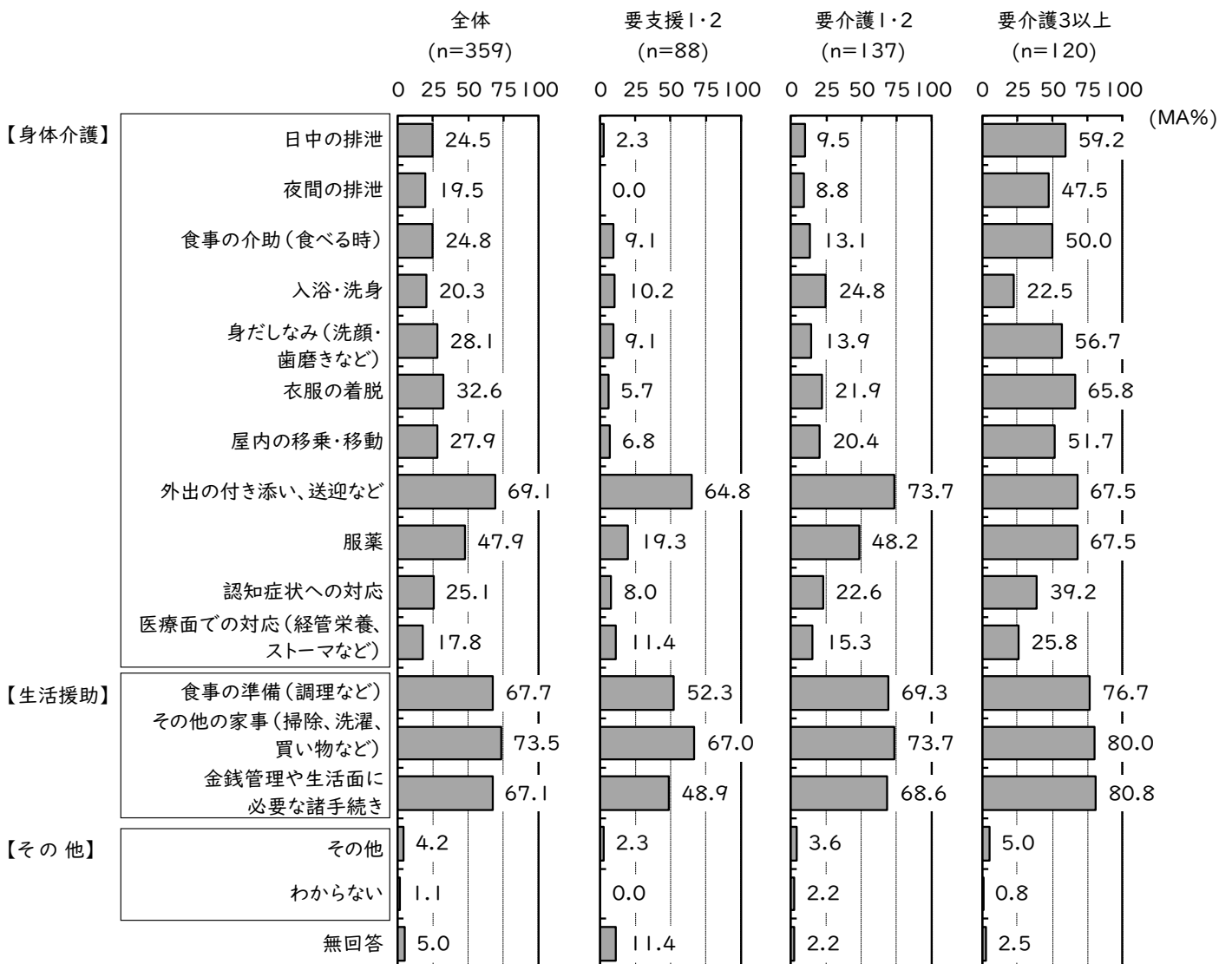


問7. 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

《全体》では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が73.5%、「外出の付き添い、送迎など」が69.1%、「食事の準備（調理など）」が67.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が67.1%となっています。

【身体介護】に関する項目はほとんどが、介護度が上がるほど割合が高くなる傾向にありますが、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎など」については、《要介護1・2》で最も高くなっています。また、「外出の付き添い、送迎など」はどの区分でも割合が高い傾向にありますが、「入浴・洗身」については、最も割合が高い《要介護1・2》でも24.8%、《要介護3以上》では22.5%となっており、割合が高くなる《要介護3以上》の中では割合が低い傾向にあります。

【要介護度別】

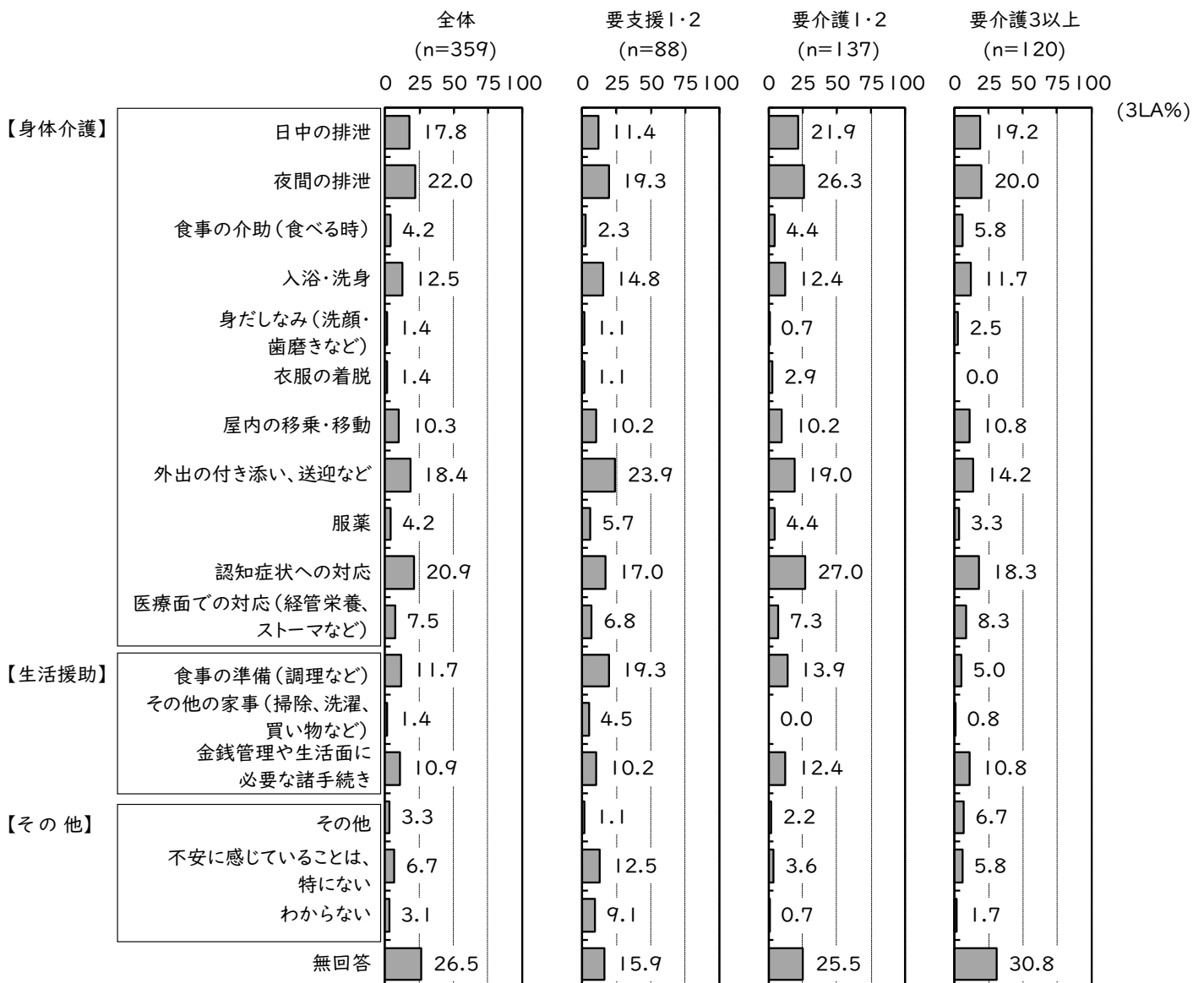


問8. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについて、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

《全体》では、「夜間の排泄」が22.0%と最も高く、次いで、「認知症状への対応」が20.9%、「外出の付き添い、送迎など」が18.4%、「日中の排泄」が17.8%となっています。

要介護度別で見ると、《要支援1・2》では「外出の付き添い、送迎など」（23.9%）や「夜間の排泄」（19.3%）、「食事の準備（調理など）」（19.3%）、《要介護1・2》、《要介護3以上》では、「日中の排泄」（要介護1・2：21.9%、要介護3以上：19.2%）や「夜間の排泄」（要介護1・2：26.3%、要介護3以上：20.0%）、「認知症状への対応」（要介護1・2：27.0%、要介護3以上：18.3%）の割合が上位となっています。

【要介護度別】



問9. ご家族やご親族の中で、あて名の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。

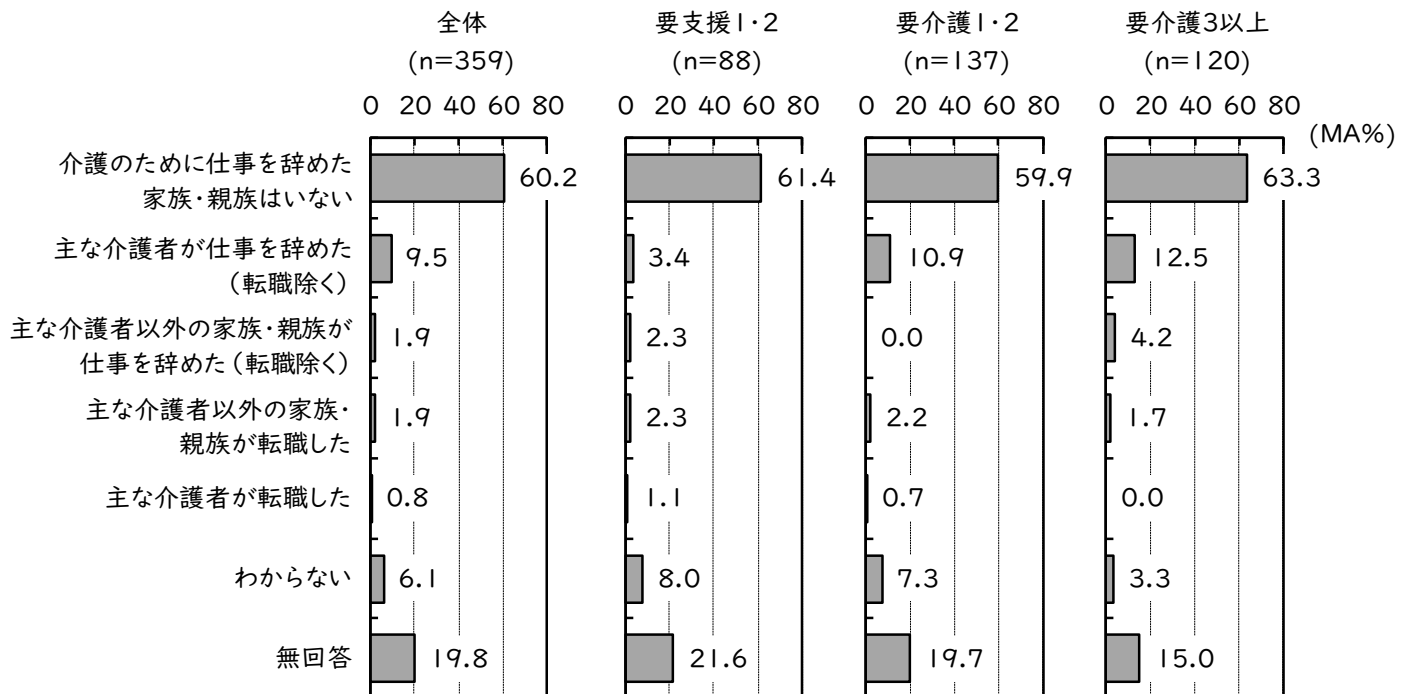
（○はいくつでも）

※ 自営業や農業などの仕事を辞めた方も含みます。

《全体》では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60.2%と最も高く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が9.5%となっています。

要介護度別でも、いずれの区分も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が6割前後となっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合は、要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では数パーセントであるのに対し、《要介護1・2》では10.9%、《要介護3以上》では12.5%となっています。

【要介護度別】

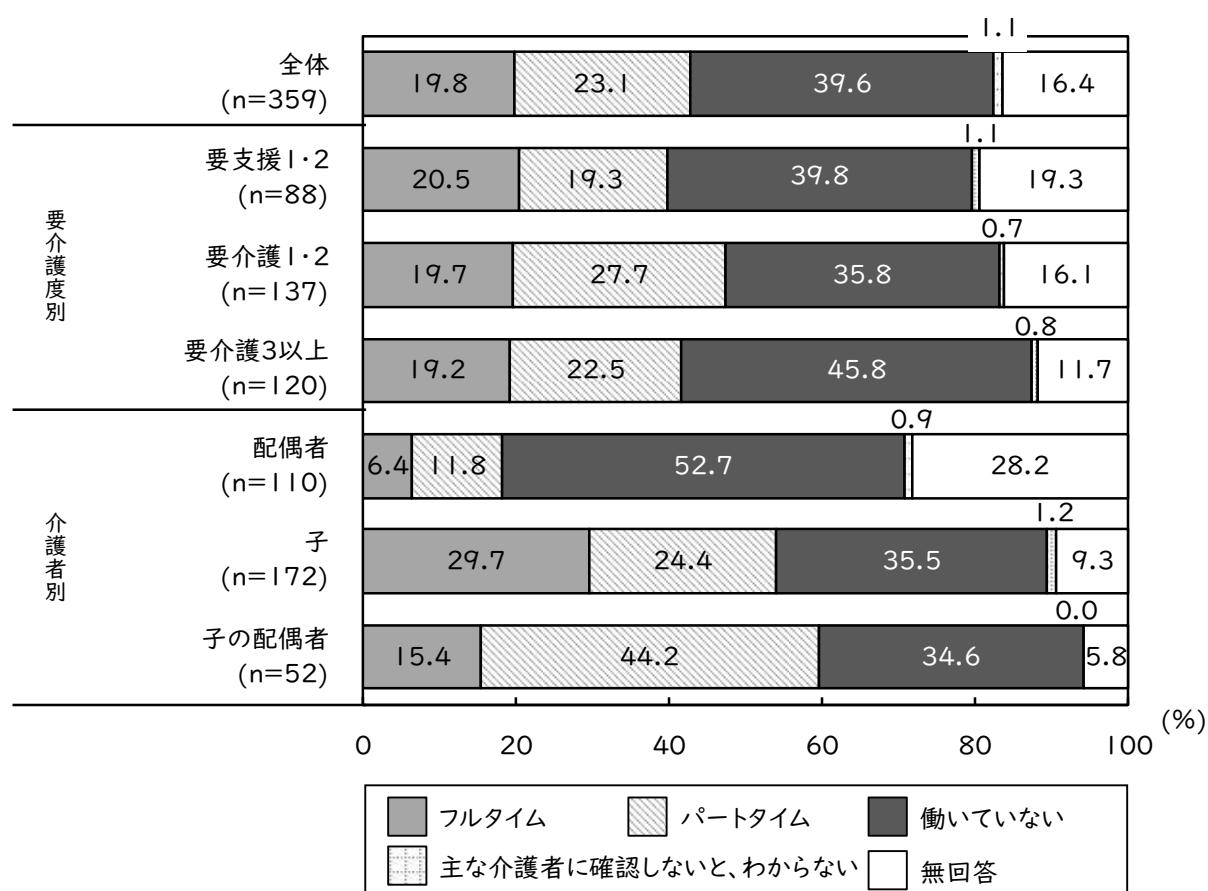


問 10. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つだけ)

《全体》では、「働いていない」が39.6%と最も高く、次いで、「パートタイム」が23.1%、「フルタイム」が19.8%となっており、『働いている』（「フルタイム」＋「パートタイム」）は42.9%となっています。

要介護度別でみると、『働いている』の割合はどの区分も約4割から4割台半ばとなっていますが、《要介護1・2》での割合が最も高く、47.4%となっています。また、《要介護1・2》では「パートタイム」の割合が他の区分に比べて高く、27.7%となっています。一方、「働いていない」の割合は、《要介護3以上》で最も高く、45.8%となっています。

介護者別でみると、「フルタイム」の割合は《子》で最も高く、29.7%となっています。また、《子の配偶者》での「パートタイム」の割合が高く、44.2%となっています。

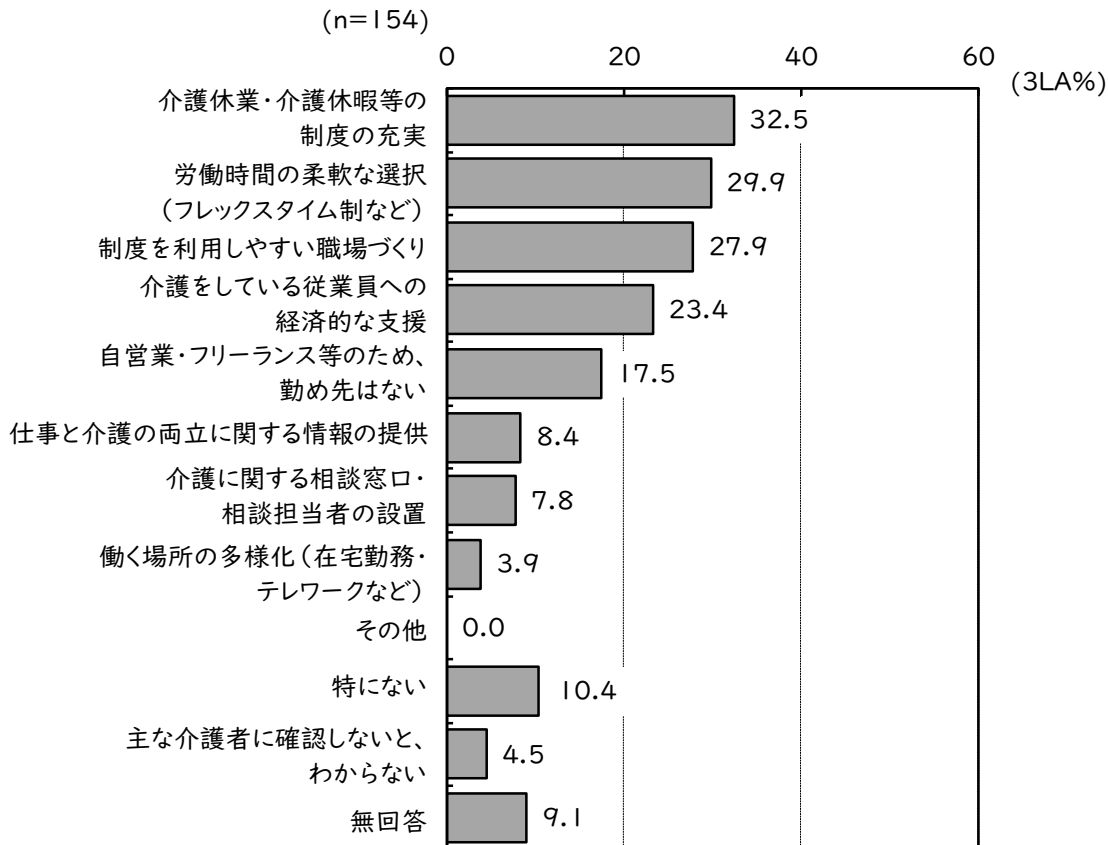




問11. <働いている方のみ>

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

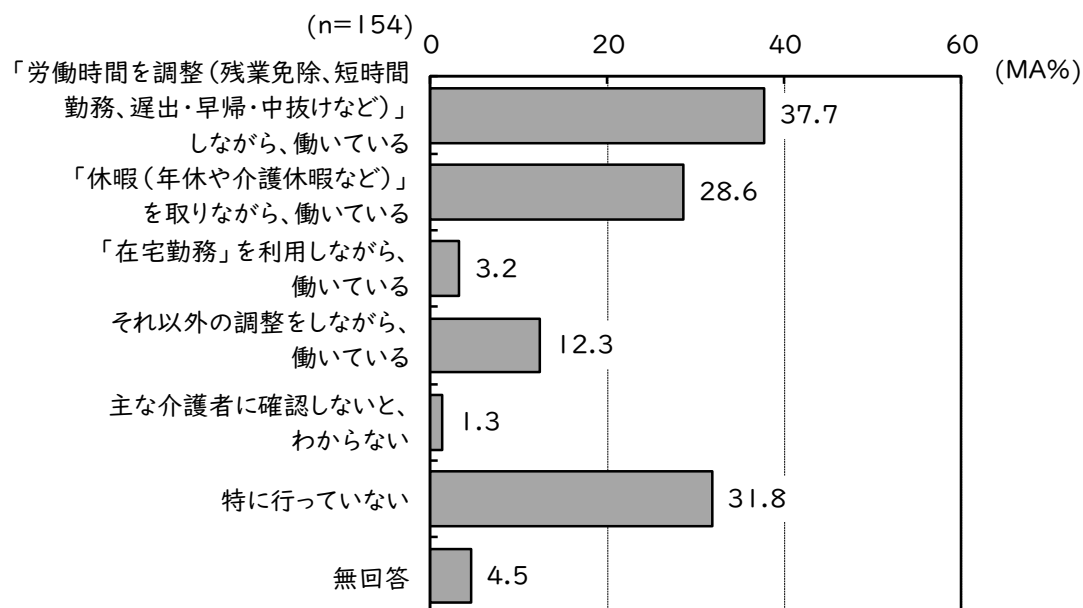
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.5%と最も高く、次いで、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が29.9%、「制度を利用しやすい職場づくり」が27.9%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が23.4%となっています。



問12. <働いている方のみ>

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしていま  
すか。(〇はいくつでも)

「特に行っていない」を除くと、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)しながら、働いている」が37.7%と最も高く、「休暇(年休や介護休暇など)」を取りながら、働いている」が28.6%となっています。「特に行っていない」については、31.8%となっています。



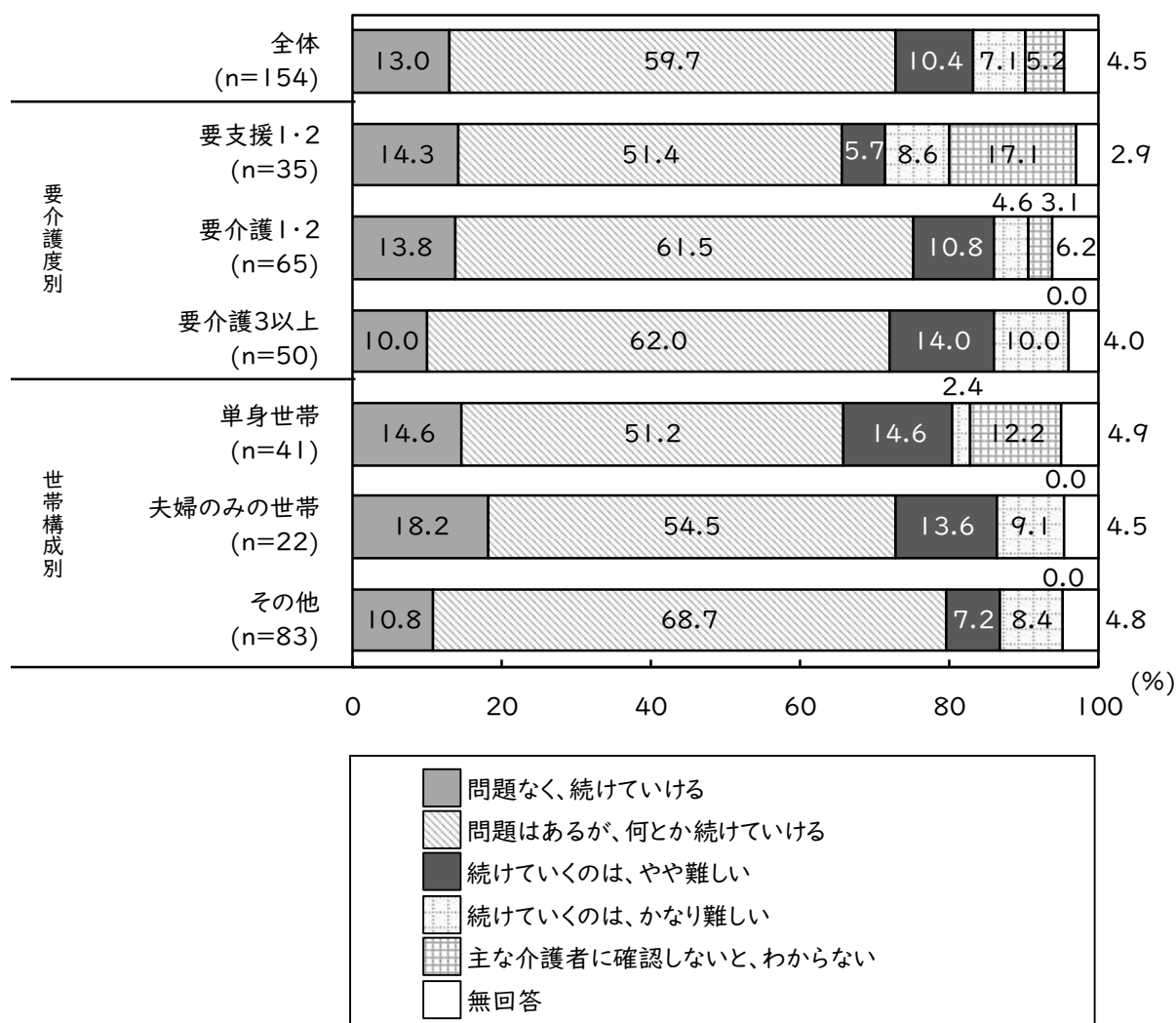
問13. 〈働いている方のみ〉

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「問題はあるが、何とか続けていける」が59.7%と最も高く、次いで、「問題なく、続けていける」が13.0%、「続けていくのは、やや難しい」が10.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.1%となっており、『続けていくのは難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）については、17.5%となっています。

『続けていくのは難しい』の割合は、要介護度が上がるほど高くなり、特に《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけての増加が大きく、《要介護1・2》では15.4%であるのに対し、《要介護3以上》では24.0%となっています。

世帯構成別でみると、『続けていくのは難しい』の割合は《夫婦のみの世帯》で最も高く、22.7%となっています。

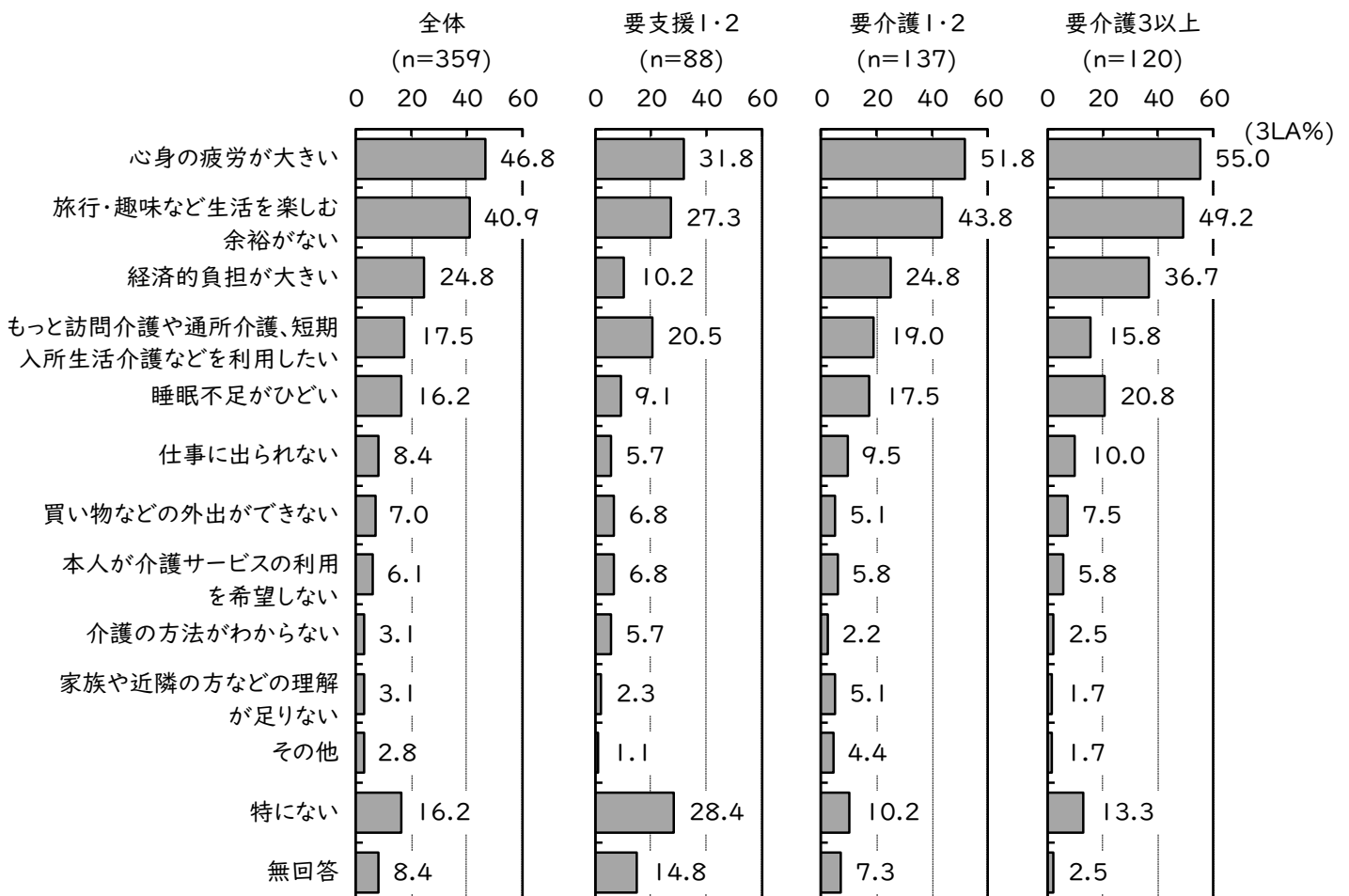


問14. 介護するうえで、どんなことに困っていますか。(〇は3つまで)

《全体》では、「心身の疲労が大きい」が46.8%と最も高く、次いで、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が40.9%、「経済的負担が大きい」が24.8%となっています。

要介護度別でも、どの区分も「心身の疲労が大きい」、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」の順で高く、ともに、要介護度が上がるほど割合が高くなる傾向にあります。「経済的負担が大きい」については、《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけて大きく増加し、《要支援1・2》では10.2%であるのに対し、《要介護1・2》では24.8%、《要介護3以上》では36.7%となっています。また、《要支援1・2》では「もっと訪問介護（ホームヘルパー）や通所介護（デイサービス）、短期入所生活介護（ショートステイ）などを利用したい」（20.5%）の割合も上位となっていますが、要介護度が上がるほど割合が低くなる傾向にあります。

【要介護度別】

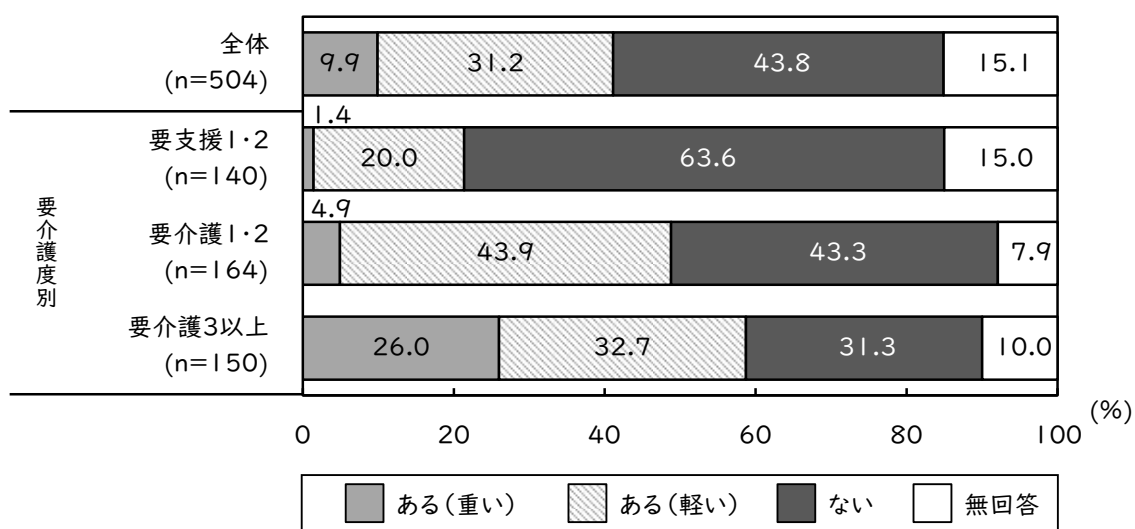


問15. あて名の方には認知症の症状がありますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「ある（重い）」が9.9%、「ある（軽い）」が31.2%、「ない」が43.8%となっており、『ある』（「ある（重い）」+「ある（軽い）」）については、41.1%となっています。

『ある』の割合は、要介護度が上がるほど高くなり、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きく、《要支援1・2》では21.4%であるのに対し、《要介護1・2》では48.8%、《要介護3以上》では58.7%となっています。

「ある（重い）」についても同様の傾向にありますが、《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけて大きく増加し、《要介護3以上》では26.0%となっています。

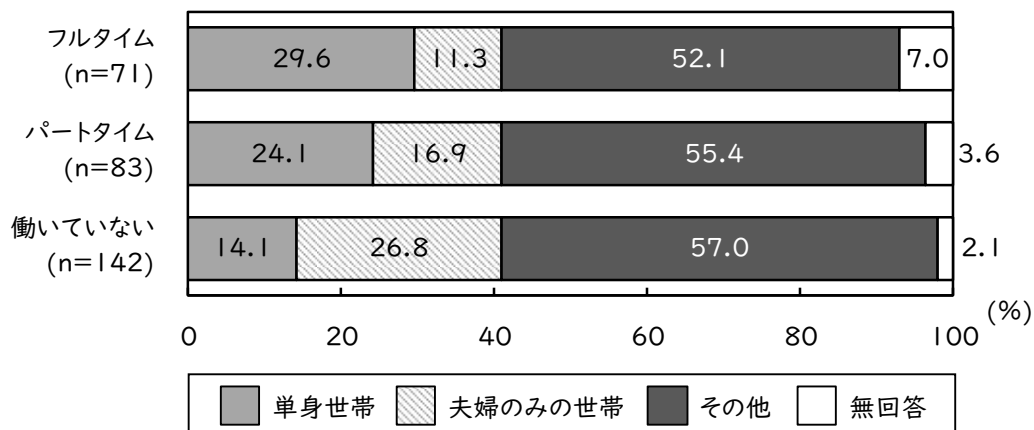


# ク. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

## (1) 介護者・要介護者の属性

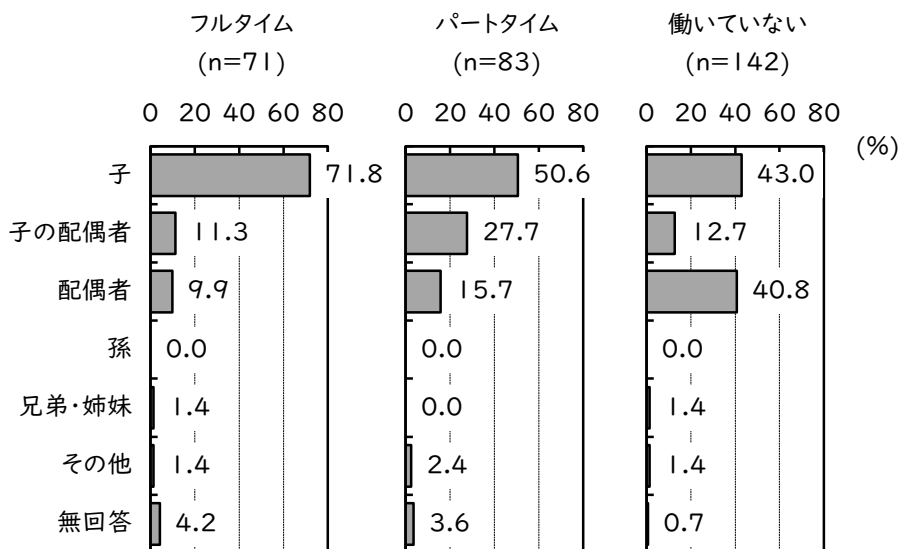
### ①【就労状況別】世帯構成

どの区分も「その他」が最も高く、5割台となっています（フルタイム：52.1%、パートタイム：55.4%、働いていない：57.0%）。



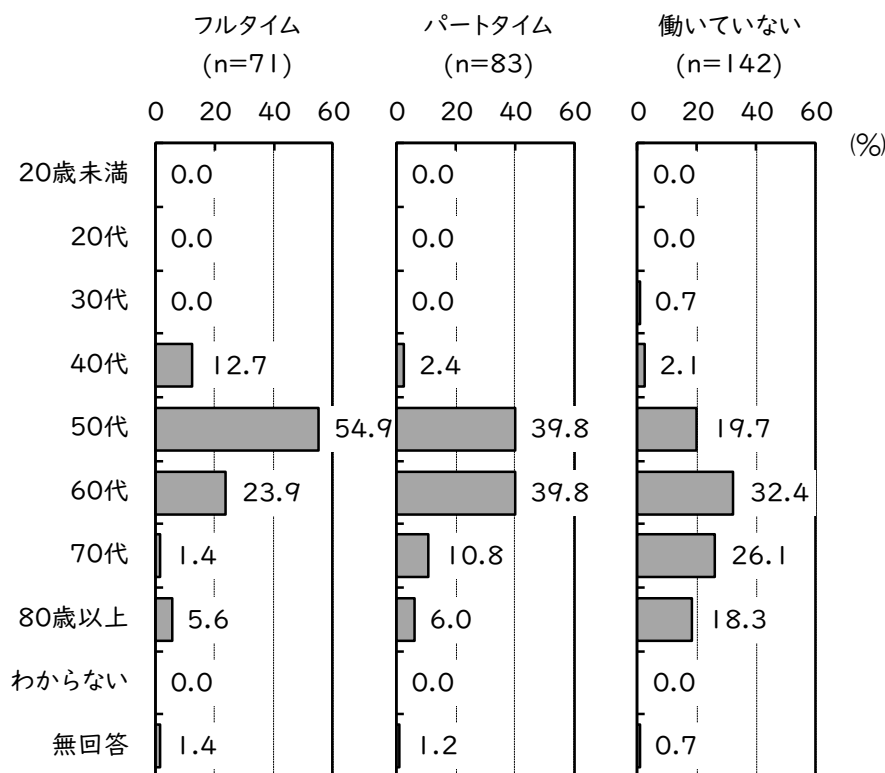
### ②【就労状況別】主な介護者の本人との関係

《フルタイム》、《パートタイム》では「子」と回答する割合が最も高く（フルタイム：71.8%、パートタイム：50.6%）、他との差も大きくなっていますが、《働いていない》では「子」の割合が最も高いものの、「子」と「配偶者」がともに4割台となっています（子：43.0%、配偶者：40.8%）。



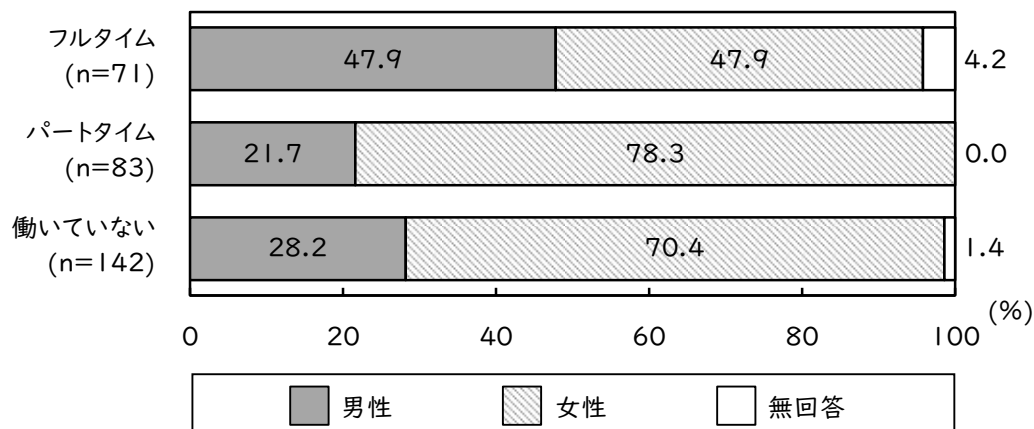
### ③【就労状況別】主な介護者の年齢

《フルタイム》では「50代」が54.9%と最も高く、他との差も大きくなっていますが、《パートタイム》では「50代」と「60代」がともに39.8%で同率となっています。《働いていない》では「60代」が最も高く、32.4%となっています。また、《働いていない》では『70歳以上』が44.4%となっています。



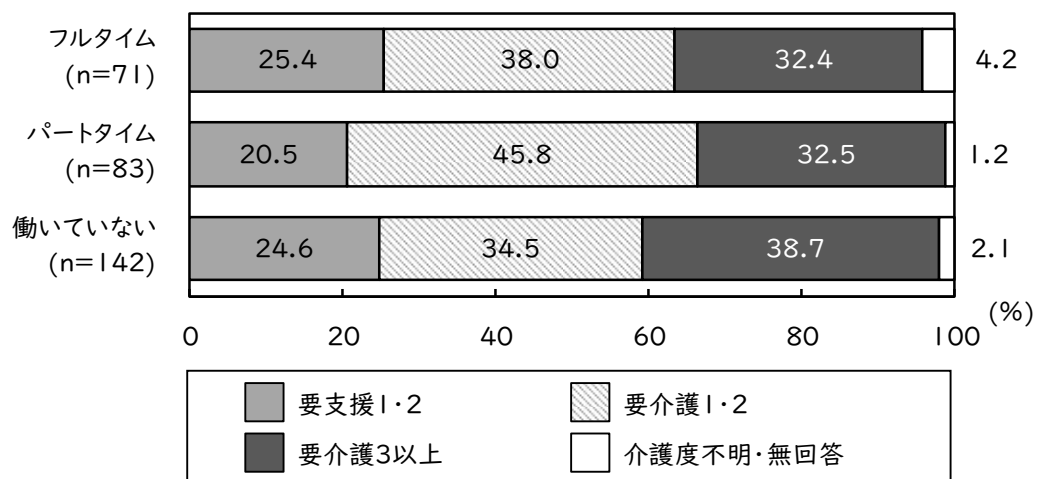
### ④【就労状況別】主な介護者の性別

《フルタイム》では「男性」と「女性」が同率となっています(47.9%)。《パートタイム》、《働いていない》では「女性」の割合の方が高く、7割以上となっています(パートタイム:78.3%、働いていない:70.4%)。



⑤【就労状況別】要介護度

《フルタイム》、《パートタイム》については、「要介護1・2」が最も高いのに対し（フルタイム：38.0%、パートタイム：45.8%）、《働いていない》では「要介護3以上」が最も高くなっています（38.7%）。

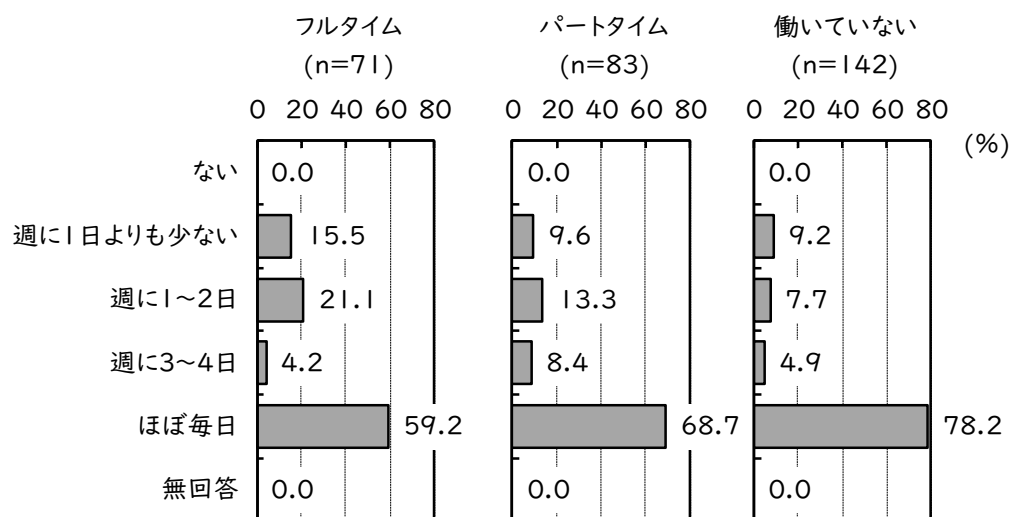




## (2) 主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

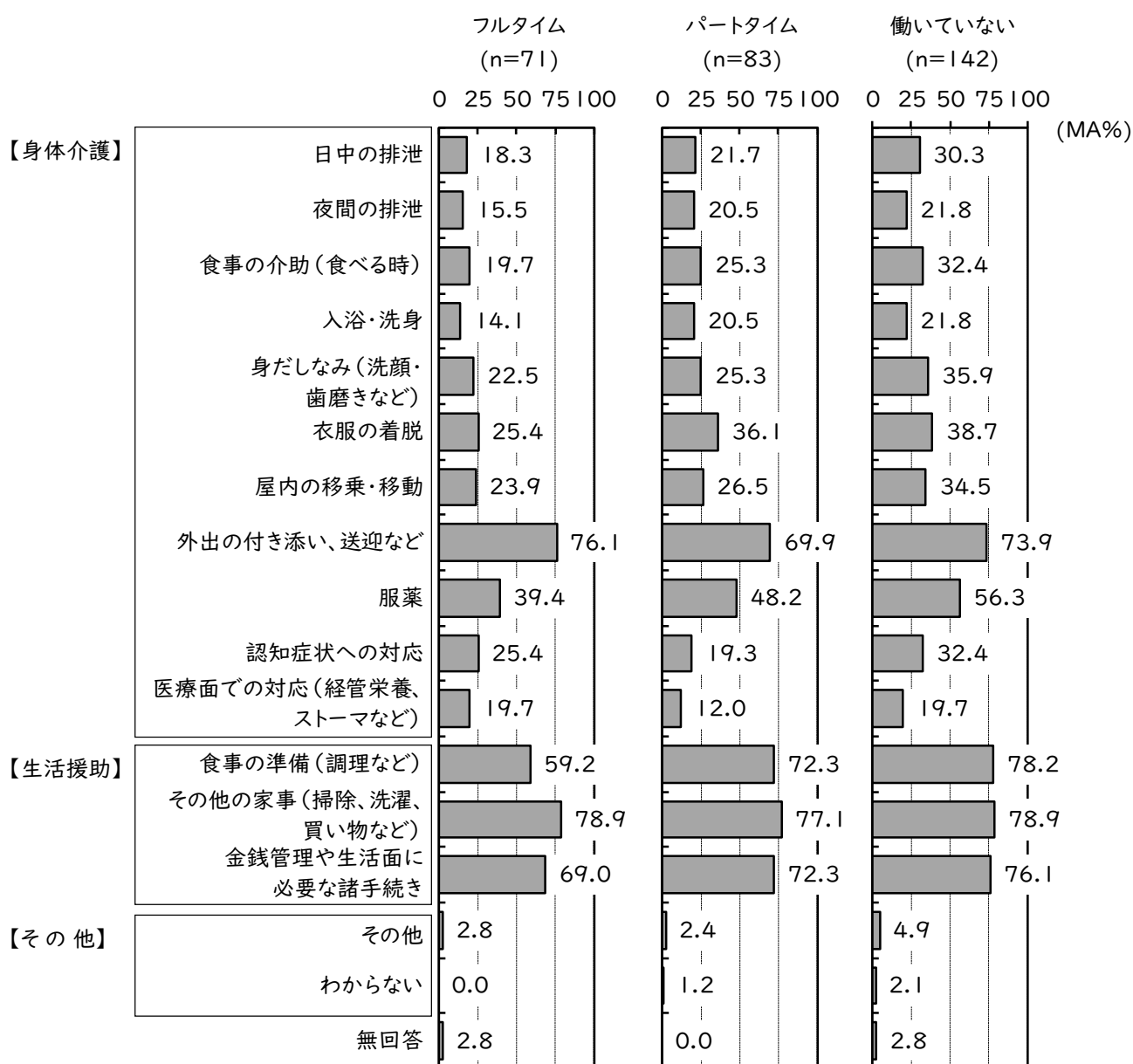
### ①【就労状況別】家族等による介護の頻度

介護者の就労状況別でみると、「ほぼ毎日」の割合は、「働いていない」で最も高く、78.2%となっています。



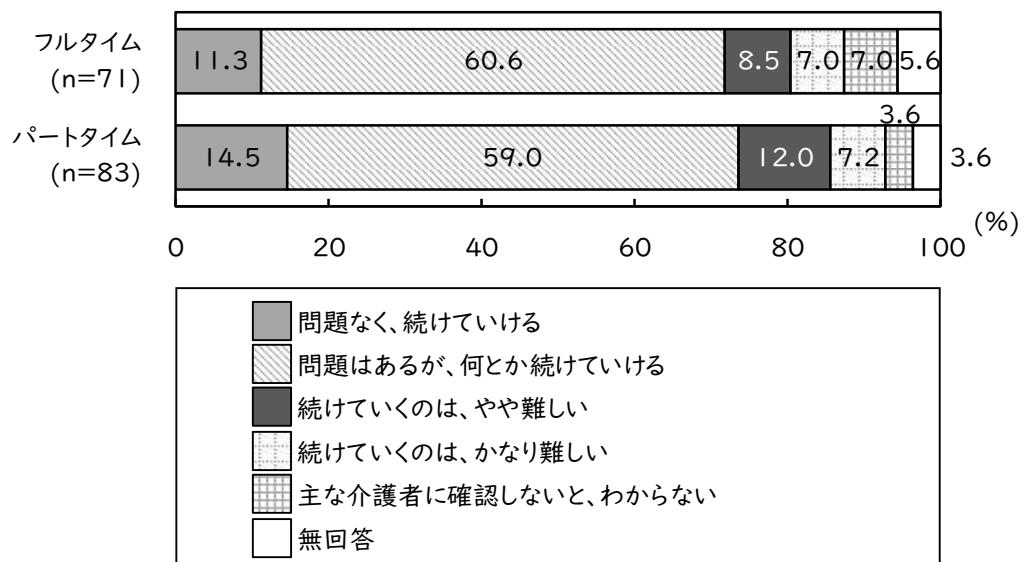
## ②【就労状況別】主な介護者が行っている介護

どの区分においても、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が最も高く、7割台後半となっています（フルタイム：78.9%、パートタイム：77.1%、働いていない：78.9%）。そのほかについては、どの区分も「外出の付き添い、送迎など」や「食事の準備」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっていますが、《フルタイム》では他に比べて「食事の準備」の割合が低い傾向にあります（59.2%）。



### ③【就労状況別】就労継続見込み

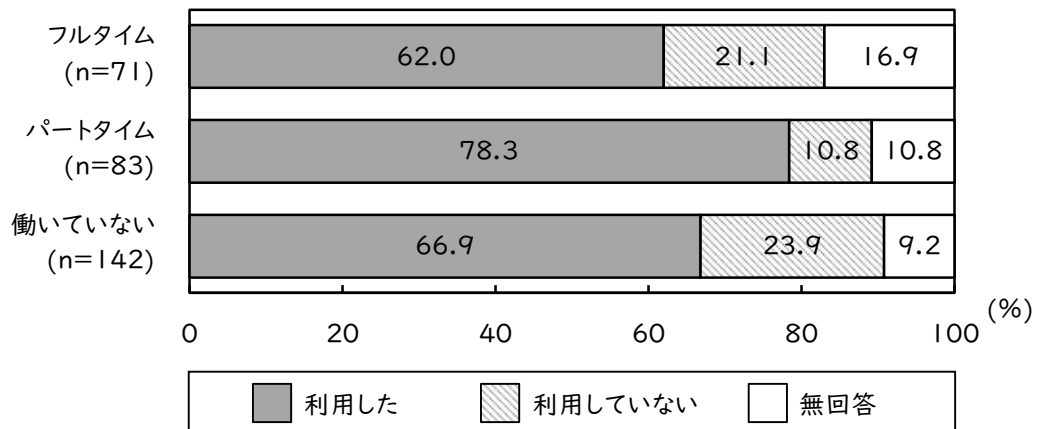
《フルタイム》、《パートタイム》とも、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く、約6割となっています（フルタイム：60.6%、パートタイム：59.0%）。『続けていくのは、難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）については、《フルタイム》が15.5%、《パートタイム》が19.2%と、《パートタイム》での割合の方が高くなっています。



### (3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安を感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

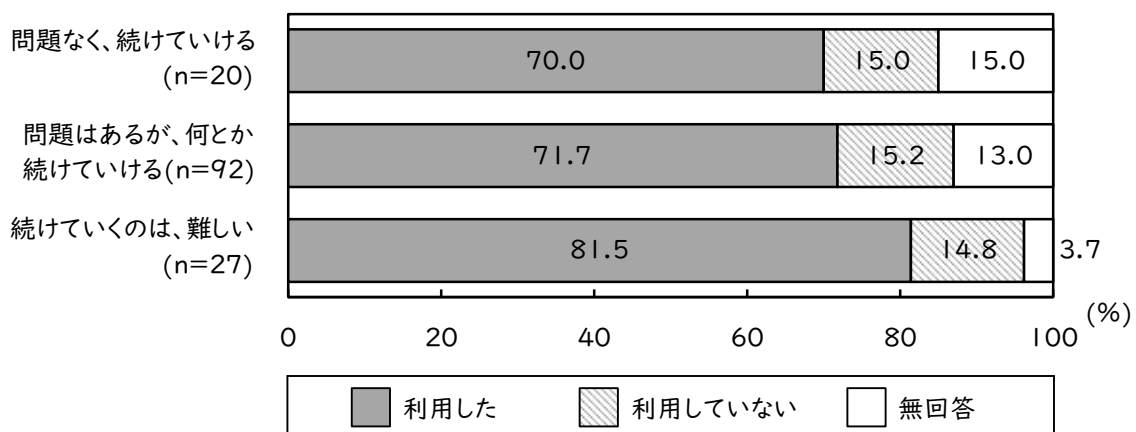
#### ①【就労状況別】介護保険サービス利用の有無

どの区分も「利用した」の割合が高くなっていますが、特に《パートタイム》での割合が高く、78.3%となっています。



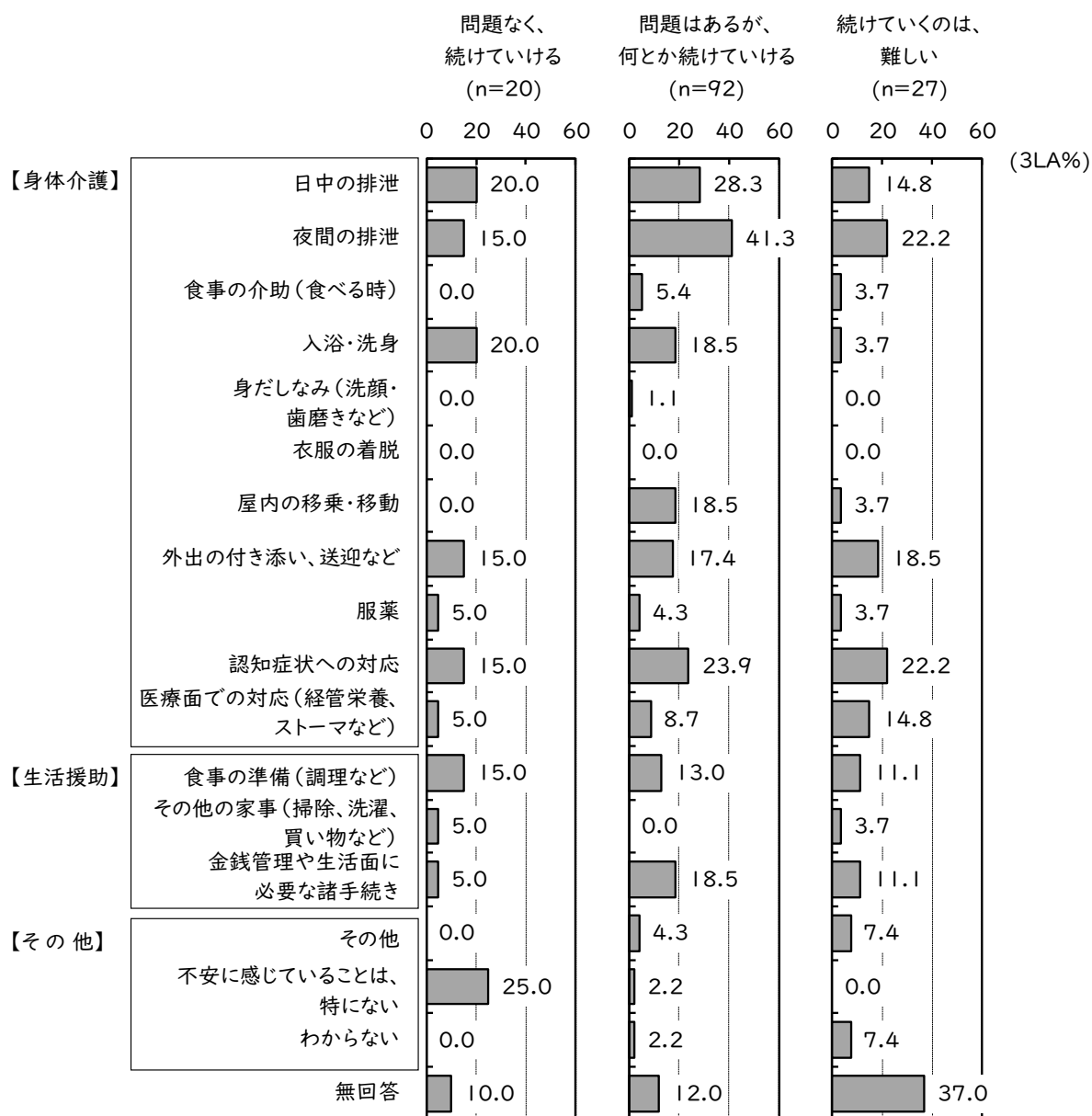
#### ②【就労継続見込み別】介護保険サービス利用の有無

どの区分も「利用した」の割合が高くなっていますが、特に《続けていくのは、難しい》での割合が高く、81.5%となっています。



### ③【就労継続見込み別】介護者が不安に感じる介護

《問題なく、続けていける》では「不安に感じていることは、特にない」が25.0%と最も高く、次いで、「日中の排泄」と「入浴・洗身」がともに20.0%となっています。《問題はあるが、何とか続けていける》では「夜間の排泄」が41.3%と最も高く、4割以上となっており、次いで、「日中の排泄」(28.3%)、「認知症状への対応」(23.9%)が2割台となっています。《続けていくのは、難しい》では、「夜間の排泄」(22.2%)、「外出の付き添い、送迎など」(18.5%)、「認知症状への対応」(22.2%)が約2割となっています。



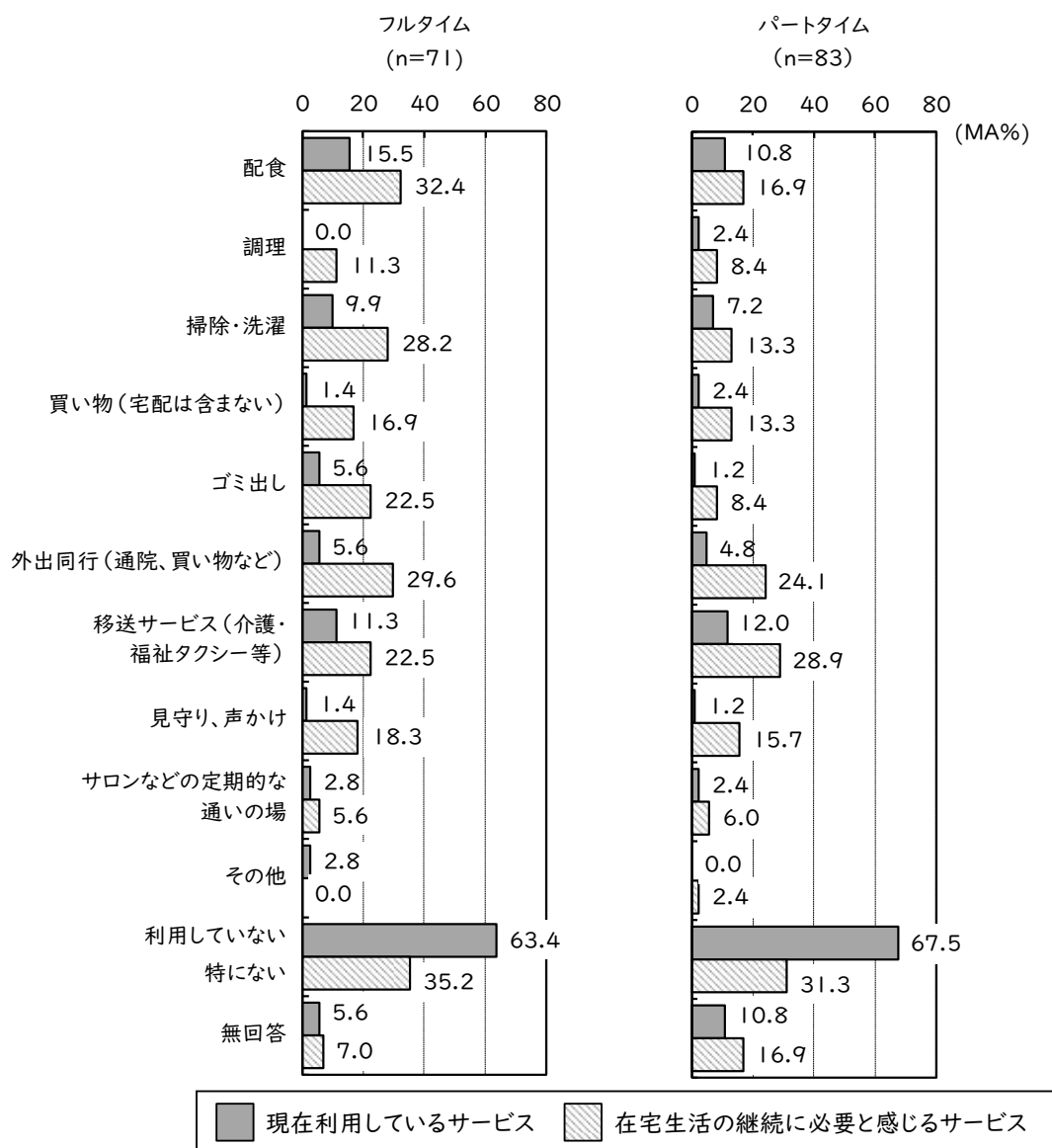
#### (4) 介護保険以外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況

##### ①【就労状況別】現在利用しているサービス・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

現在利用しているサービスは、《フルタイム》、《パートタイム》とも「利用していない」の割合が最も高くなっています。それ以外では《フルタイム》、《パートタイム》ともに、「配食」（フルタイム：15.5%、パートタイム：10.8%）、「掃除・洗濯」（フルタイム：9.9%、パートタイム：7.2%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（フルタイム：11.3%、パートタイム：12.0%）が上位となっています。

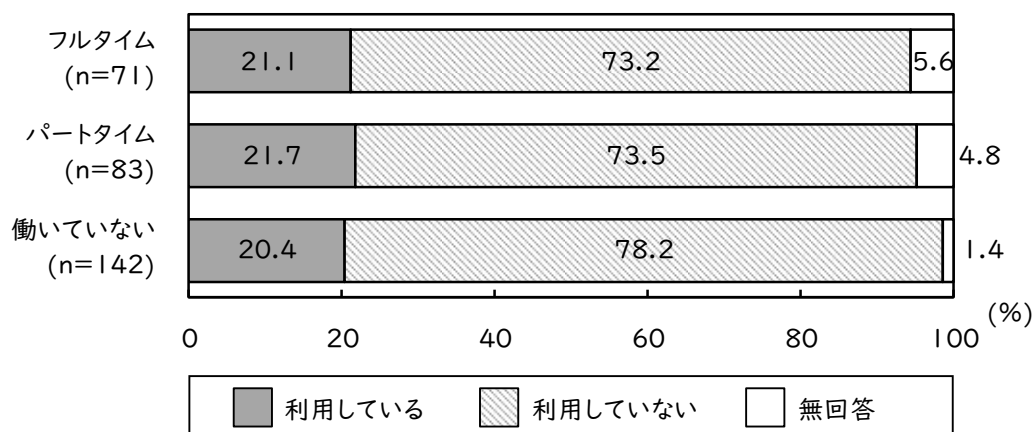
在宅生活の継続に必要と感じるサービスについても、「配食」（フルタイム：32.4%、パートタイム：16.9%）、「掃除・洗濯」（フルタイム：28.2%、パートタイム：13.3%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（フルタイム：22.5%、パートタイム：28.9%）は上位となっていますが、《パートタイム》での「掃除・洗濯」の割合は比較的低くなっています。そのほか、「外出同行（通院、買い物など）」（フルタイム：29.6%、パートタイム：24.1%）、「見守り、声かけ」（フルタイム：18.3%、パートタイム：15.7%）の割合も高い傾向にあります。《フルタイム》については、「ゴミ出し」（22.5%）の割合も高くなっています。

また、在宅生活の継続に必要と感じるサービスについてはどの項目も《フルタイム》での割合が高い傾向にあります。



## ②【就労状況別】訪問診療の利用の有無

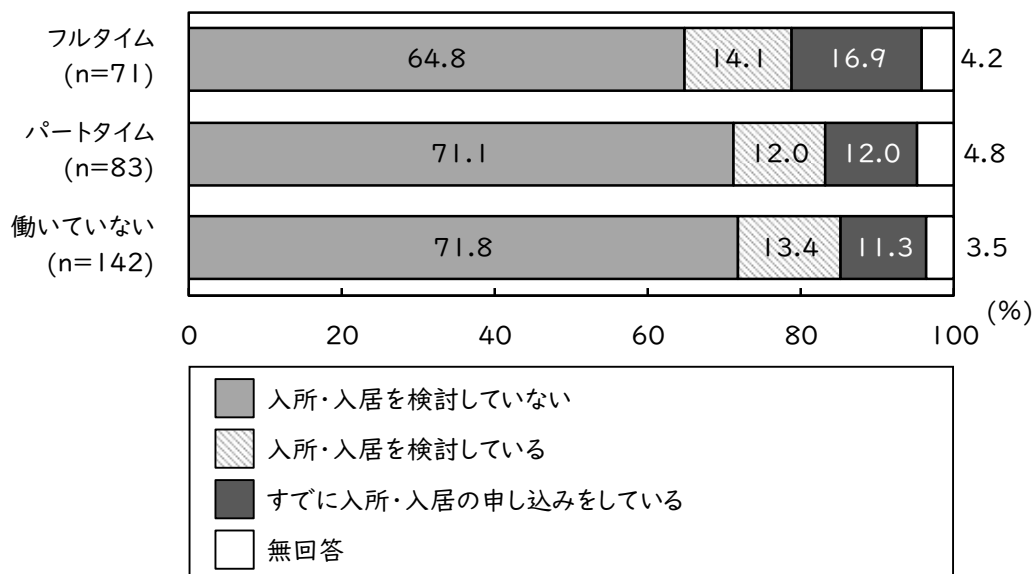
「利用している」の割合はどの区分も2割台となっています（フルタイム：21.1%、パートタイム：21.7%、働いていない：20.4%）。



## ③【就労状況別】施設等検討の状況

どの区分も「入所・入居を検討していない」の割合が最も高く（フルタイム：64.8%、パートタイム：71.1%、働いていない：71.8%）、「入所・入居を検討している」の割合はどの区分も1割台前半となっています（フルタイム：14.1%、パートタイム：12.0%、働いていない：13.4%）。

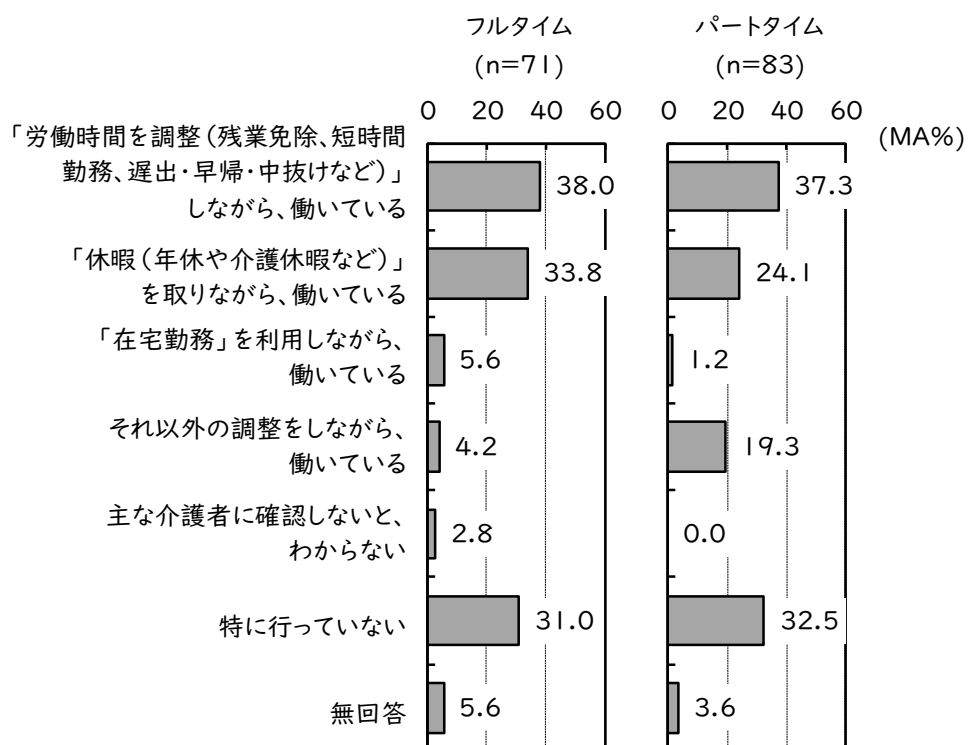
「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせると、《フルタイム》では31.0%、《パートタイム》では24.0%、《働いていない》では24.7%と、《フルタイム》で最も高くなっています。



## (5) 介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

### ①【就労状況別】介護のための働き方の調整

《フルタイム》、《パートタイム》ともに、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」が3割台後半で最も高くなっていますが（フルタイム：38.0%、パートタイム：37.3%）、2番目に割合が高い「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」の割合は《フルタイム》と《パートタイム》での差が大きく、《フルタイム》での割合の方が高くなっています（フルタイム：33.8%、パートタイム：24.1%）。

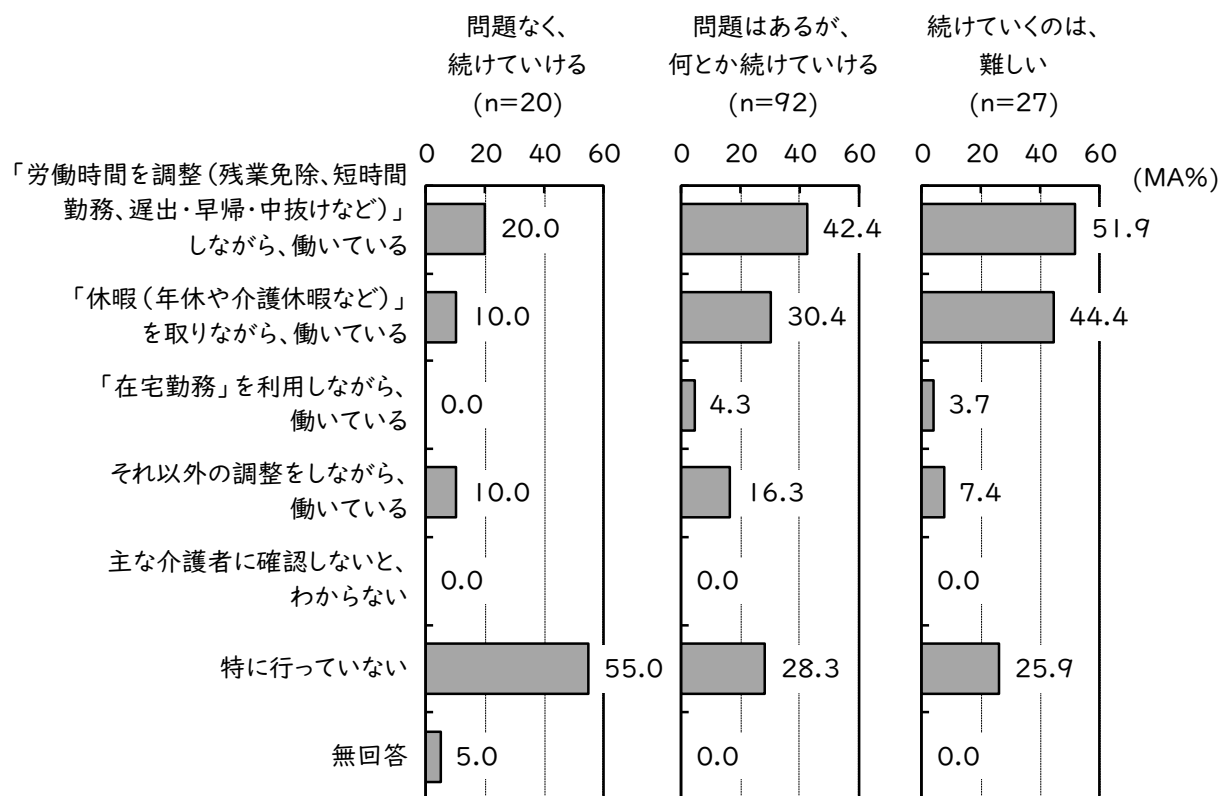


※選択肢の並びは全体でみた場合の割合が高いもの順。



## ②【就労継続見込み別】介護のための働き方の調整

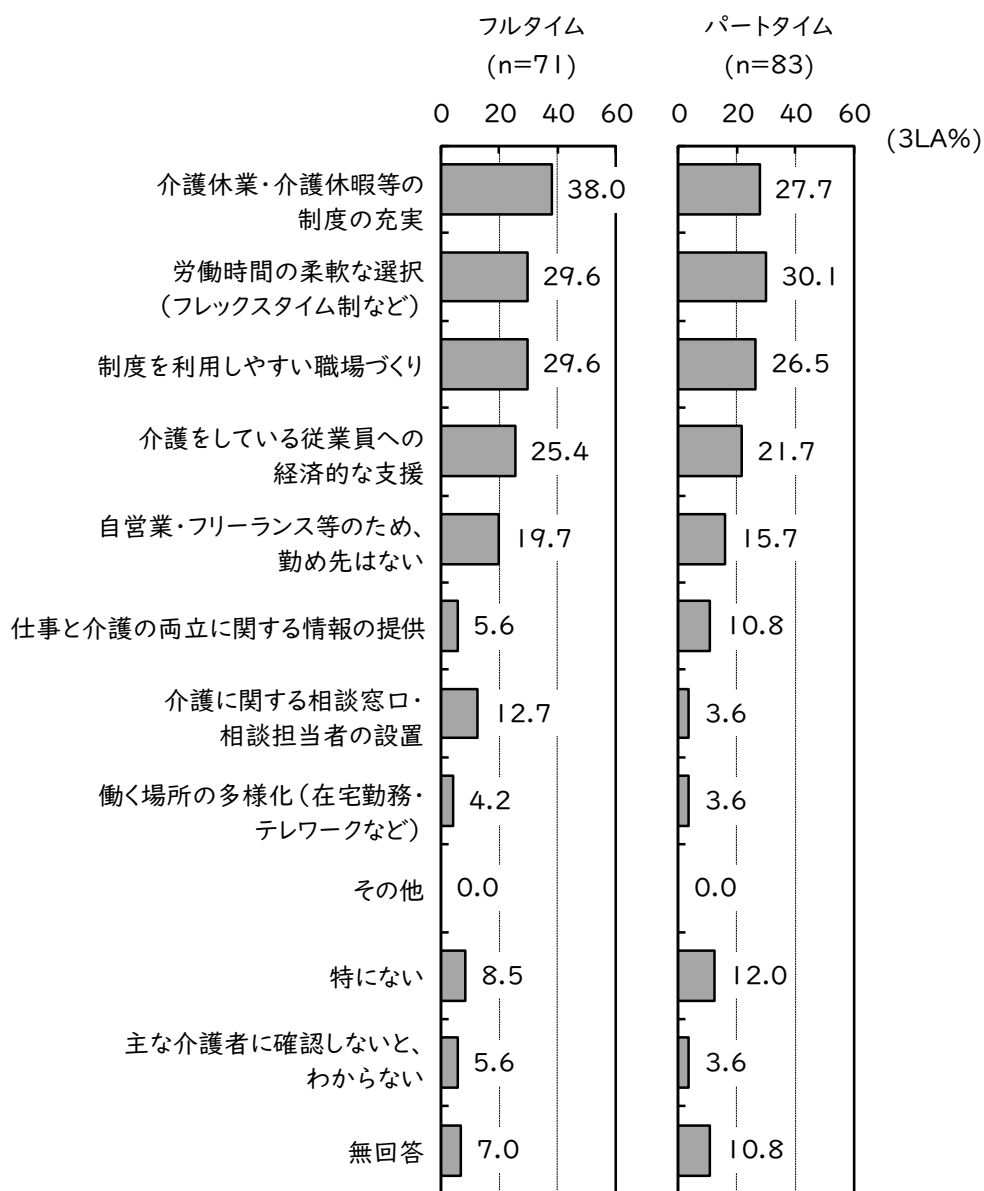
《問題なく、続けていける》では、「特に行っていない」が55.0%で最も高く、《問題はあるが、何とか続けていける》、《続けていくのは、難しい》では「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」（何とか続けていける：42.4%、難しい：51.9%）、「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」（何とか続けていける：30.4%、難しい：44.4%）の順で高くなっていますが、ともに《続けていくのは、難しい》での割合の方が高く、その差も大きくなっています。



※選択肢の並びは全体でみた場合の割合が高いもの順。

### ③【就労状況別】介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

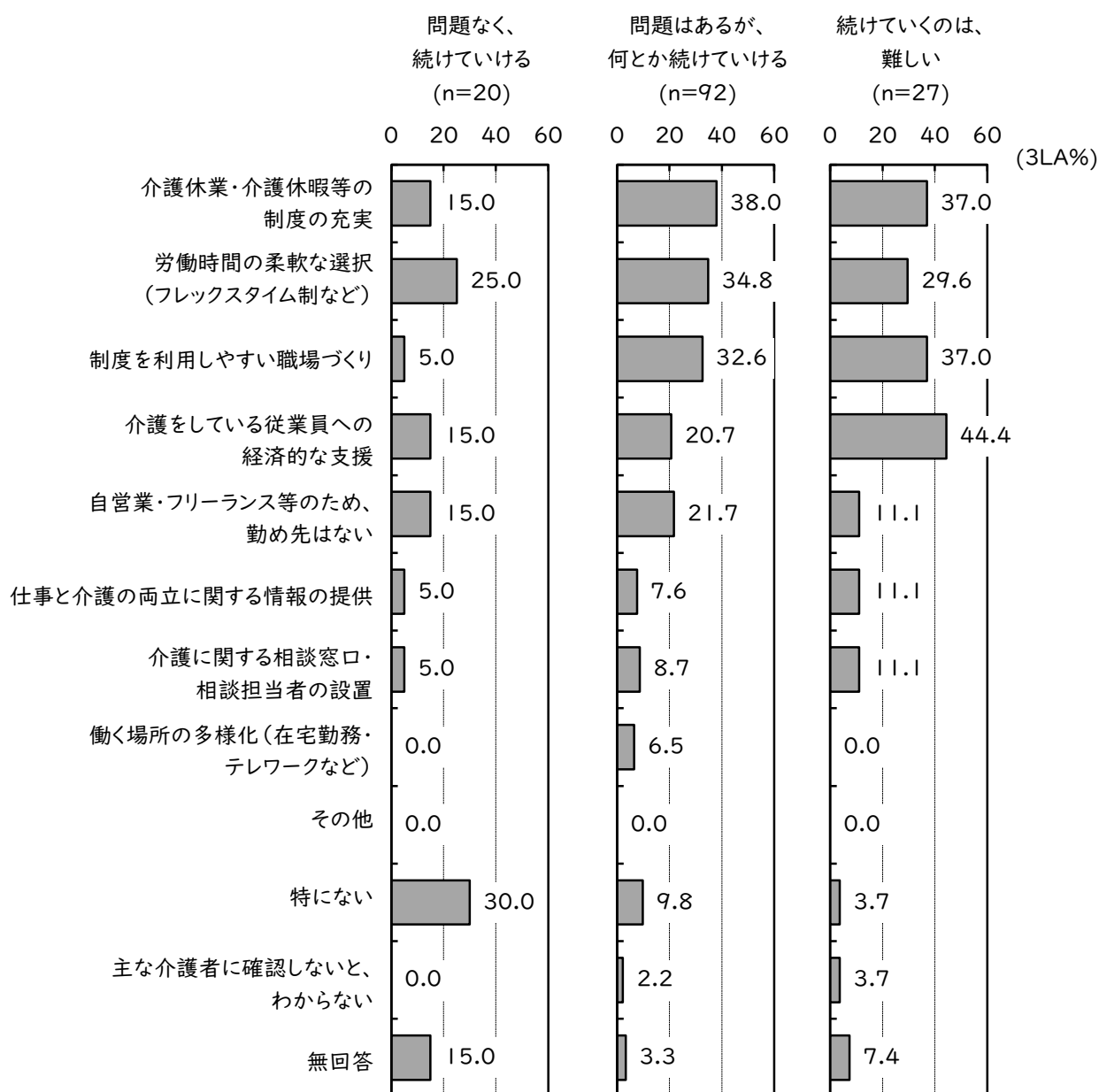
《フルタイム》、《パートタイム》とも、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（フルタイム：38.0%、パートタイム：27.7%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（フルタイム：29.6%、パートタイム：30.1%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（フルタイム：29.6%、パートタイム：26.5%）が上位3位となっていますが、《フルタイム》では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高いのに対し、《パートタイム》では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高くなっています。



※選択肢の並びは全体でみた場合の割合が高いもの順。

#### ④【就労継続見込み別】介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

《問題なく、続けていける》では「特にない」が30.0%と最も高くなっており、そのほかでは「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（25.0%）の割合が高くなっています。《問題はあるが、何とか続けていける》、《続けていくのは、難しい》では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（何とか続けていける：38.0%、難しい：37.0%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（何とか続けていける：34.8%、難しい：29.6%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（何とか続けていける：32.6%、難しい：37.0%）の割合が高い傾向にあります。《続けていくのは、難しい》では「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が44.4%と最も高く、他の区分との差が大きくなっています。



※選択肢の並びは全体でみた場合の割合が高いもの順。



4

調查票

---

# 一宮市 在宅介護アンケート

## ～第8期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けて～

### 調査へのご協力をお願い

日頃は、一宮市行政にご協力いただきましてありがとうございます。

市では、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「第8期一宮市高齢者福祉計画（介護保険事業計画を含む）」の策定を予定しており、その基礎資料とするために、アンケートを実施いたします。

このアンケートは、令和2年1月1日現在の住民基本台帳を基に、在宅で生活をしていて要支援・要介護認定を受けている皆さまの中から抽出した約800名の方をお願いするものです。お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理いたしますので、ご自身の率直な考えをお書きください。

令和2年1月

一宮市

### ご記入の前に

- ◆この調査は封筒のあて名の方が対象となります。
- ◆回答は当てはまる番号を○で囲むなど、各設問の指示にしたがってください。
- ◆令和2年1月1日現在の内容でご記入ください。
- ◆何らかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わって回答していただくようお願いいたします。
- ◆対象の方が、事情により不在等で回答できない場合には、回答を記入しないでそのまま同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。

### 調査票の回収について

- ◆ご記入いただいた調査票は、無記名で同封の返信用封筒に入れ、**2月10日（月）まで**にご投函くださるようお願いいたします。

### 調査についてのお問い合わせ

一宮市役所 介護保険課

TEL : (0586) 28-9018

FAX : (0586) 73-1019

メール : kaigohoken@city.ichinomiya.lg.jp

**ア あなたとご家族について**

**問1. 現在、この調査票にご回答いただいているのは、どなたですか。(○は1つだけ)**

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. その他 ( )

**問2. あなた(あて名の方で、要介護認定を受けている方 以下同じです)の性別はどちらですか。(○は1つだけ)**

- 1. 男性
- 2. 女性

**問3. あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つだけ)**

- 1. 65歳未満
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

**問4. あなたの世帯は次のどれですか。(○は1つだけ)**

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみの世帯
- 3. その他

**問5. あなたは、どちらにお住まいですか。(○は1つだけ)**

- 1. 宮西連区
- 2. 貴船連区
- 3. 神山連区
- 4. 大志連区
- 5. 向山連区
- 6. 富士連区
- 7. 葉栗連区
- 8. 西成連区
- 9. 丹陽町連区
- 10. 浅井町連区
- 11. 北方町連区
- 12. 大和町連区
- 13. 今伊勢町連区
- 14. 奥町連区
- 15. 萩原町連区
- 16. 千秋町連区
- 17. 起連区
- 18. 小信中島連区
- 19. 三条連区
- 20. 大徳連区
- 21. 朝日連区
- 22. 開明連区
- 23. 木曾川町連区
- 24. わからない場合は町名をお書きください ( )

**問6. あなたは近所のつきあいをどの程度していますか。(○は1つだけ)**

- 1. とても親しくつきあっている
- 2. わりと親しくつきあっている
- 3. つきあいはしているがそれほど親しくない
- 4. ほとんどまたは全くつきあっていない

## イ 要介護認定について

問1. あなたの要介護度は、次のどれに該当しますか。(○は1つだけ)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 | 3. 要介護 1 |
| 4. 要介護 2 | 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 |
| 7. 要介護 5 | 8. わからない |          |

問2. 訪問診療(医師の訪問)を利用していますか。(○は1つだけ)

- |           |      |            |
|-----------|------|------------|
| 1. 利用している | ⇒問4へ | 2. 利用していない |
|-----------|------|------------|

問3. <訪問診療を利用していない方のみ>訪問診療を利用していない理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 利用する必要がない
2. 利用する方法がわからない
3. その他 ( )

問4. あなたが、現在抱えている病気はありますか。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)
2. 心疾患 (心臓病)
3. 悪性新生物 (がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患 (透析)
6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病 (パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他 ( )
15. なし
16. わからない







**問4. 現時点での、施設など(特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、グループホーム、介護付有料老人ホームなど)への入所・入居の検討状況についてお聞きます。(○は1つだけ)**

1. 入所・入居を検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

**◆介護施設の説明**

- (1) **特別養護老人ホーム**は、食事や排泄など常時介護が必要で、自宅では介護が困難な方が入所される施設です。
- (2) **老人保健施設**は、病状が安定し、自宅へ戻れるようリハビリに重点をおいたケアが必要な方が入所される施設です。
- (3) **介護医療院**は、日常的な医療管理が必要な重介護者の受入れや看取り・ターミナルケア等の機能と、生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。
- (4) **グループホーム(認知症対応型共同生活介護)**は、認知症の高齢者に対して、共同生活を営む住居において入浴や排泄、食事などの介護、その他日常生活上の世話や機能訓練を行う施設です。
- (5) **介護付有料老人ホーム**は、日常生活上の支援や介護などのサービスを施設のスタッフが提供する有料老人ホームです。

**エ その他のサービスについて**

**問1. 「地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つだけ)**

1. 知っているし、利用したこともある
2. 知ってはいるが、利用したことはない
3. 知らない

◆**地域包括支援センター**とは、保健、介護、福祉という3分野の専門職が連携し、介護保険や認知症、高齢者虐待など地域の高齢者のさまざまな相談に対応する機関です。

**問2. 「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つだけ)**

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った
3. 言葉も内容も今回はじめて知った

◆**成年後見制度**とは、認知症、知的障害、精神障害などで判断能力の不十分な方が、自立して生活できるように、援助してくれる人(後見人など)を家庭裁判所に選んでもらう制度です。これにより、自分一人では困難な不動産や預貯金などの財産の管理や各種契約が安全に行えるようになります。



## **カ** 今後の介護保険サービスについて

**問1. 今後の介護サービスと介護保険料負担のあり方について、あなたの考え方に最も近いのはどれですか。(○は1つだけ)**

1. 保険料が高くなっても、充実したサービスが受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を積極的に進めるべき
2. 保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべき
3. 保険料が高くなるのであれば、在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべきではない
4. 保険料の負担をできるだけ減らすために、介護保険で提供されるサービスを充実させる必要はない
5. わからない

**問2. 今後どこでどのように暮らしたいとお考えですか。(○は1つだけ)**

1. 施設や病院などには入所せず、ずっと自宅で暮らしたい
2. 自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい
3. 要介護度に関わらず、介護保険の施設や病院に入所して暮らしたい
4. 高齢者向けの住宅に入居して、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい
5. わからない
6. その他 ( )

**問3. 人生の最期を迎えたとしたら、どこで迎えたいですか。(○は1つだけ)**

1. 病院などの医療施設
2. 特別養護老人ホームや介護付有料老人ホームなどの介護施設
3. 自宅
4. わからない

**問4. 今後、どのようなサービスを充実していく必要があると考えられますか。(○は3つまで)**

- |                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 訪問サービス（訪問介護や訪問看護など） | 2. 通所サービス（デイサービスやデイケアなど） |
| 3. 短期入所（ショートステイ）       | 4. 小規模多機能型居宅介護           |
| 5. 看護小規模多機能型居宅介護       | 6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護      |
| 7. グループホーム             | 8. 介護付有料老人ホーム            |
| 9. 特別養護老人ホーム           | 10. 老人保健施設               |
| 11. 介護医療院              | 12. その他 ( )              |
| 13. わからない              |                          |

※介護保険サービスの説明は5ページ、介護施設の説明は6ページをご覧ください。

## キ 介護者について

問1. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(○は1つだけ)

1. ない ⇒最終ページ「ク 自由意見」へ
2. 週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日
4. 週に3～4日
5. ほぼ毎日

問2. ご家族の中で、主にあて名の方を介護している方はどなたですか。  
あて名の方からみた関係でお答えください。(○は1つだけ)

- |        |          |            |
|--------|----------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者   |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 ( ) |

問3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つだけ)

- |          |        |          |          |        |
|----------|--------|----------|----------|--------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代   | 4. 40代   | 5. 50代 |
| 6. 60代   | 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |        |

問5. 主な介護者の方は要介護認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問6. ご家族の中で、補助的な介護者はおられますか。(○は1つだけ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問7. 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、ご回答ください。(○はいくつでも)

〔身体介護〕

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 日中の排泄                     | 2. 夜間の排泄        |
| 3. 食事の介助(食べる時)               | 4. 入浴・洗身        |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨きなど)           | 6. 衣服の着脱        |
| 7. 屋内の移乗・移動                  | 8. 外出の付き添い、送迎など |
| 9. 服薬                        | 10. 認知症状への対応    |
| 11. 医療面での対応<br>(経管栄養、ストーマなど) |                 |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理など)      | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物など) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 15. その他 ( ) | 16. わからない |
|-------------|-----------|

**問8. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護などについて、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(○は3つまで)**

〔身体介護〕

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 日中の排泄                     | 2. 夜間の排泄        |
| 3. 食事の介助(食べる時)               | 4. 入浴・洗身        |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨きなど)           | 6. 衣服の着脱        |
| 7. 屋内の移乗・移動                  | 8. 外出の付き添い、送迎など |
| 9. 服薬                        | 10. 認知症状への対応    |
| 11. 医療面での対応<br>(経管栄養、ストーマなど) |                 |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理など)      | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物など) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| 15. その他 ( ) | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. わからない   |                      |

**問9. ご家族やご親族の中で、あて名の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(○はいくつでも)  
※ 自営業や農業などの仕事を辞めた方も含みます。**

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

**問 10. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つだけ)**

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない ⇒問 14 へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒問 14 へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。









---

一宮市 在宅介護アンケート  
～第8期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けて～  
【調査結果報告書】

発行年月 : 令和2年3月

発行・編集 : 一宮市福祉部介護保険課

〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号

TEL : (0586) 28-9018

FAX : (0586) 73-1019

E-mail : kaigohoken@city.ichinomiya.lg.jp

---